



機動戦士ガンダム00 メカニック-lst

CONTENTS

第1章

004 MS Preview

006 ガンダムエクシア ガンダムデュナメス

008 ガンダムキュリオス

010 プトレマイオス GNアームズ Oガンダム

ガンダムスローネアイン 012 ツウァイ ドライ

ティエレン 016 GN-X アルヴァアロン

第2章

018 WORLD

020 WORLO OF A.0.2318

022 ユニオン Union of Solar Energy and Free Nations

024 経済特区日本

AEU Advanced European Union

028 人類革新連盟 Human Reform League

030 その他エリア

設定解説

西暦におけるモビルスーツの成り立ち

032 Chapter1 軌道エレベーターと太陽光発電

034 Chapter2 ワークローダーから機動兵器へ

O36 相反するモビルスーツ開発コンセプト

O38 モビルスーツを凌駕するガンダムの出現

040 KEY WOROS

041 MECHANICS

059 **CBS-70**

068 GN-000

GNR-001E D GNZ-AZTYPI

SVMS-01X

VMS_√15

09 AEU-09Y812

062

クトスタルビー 042 GN-00 046 GN-002

₀₅₂ GN-003

GN-005 GN-004

076 SVMS-01

080 SVMS-01E

082 SVMS-010

AEU -

ユニオン

088 AEU-09

092 AEU-09Y812 096 AEU-005

人類革新連盟

その他

100 MSJ-06II-A

104 MSJ-06II-E 108 MSJ-06II-C 112 MSER-04

106 MSJ-06II-ET

114 GNMA-XGVI

122 池谷浩臣

124 海老川兼武

132 鷲尾直広 138 福地仁

MSJ-06II-LC 110 MSJ-06II-SP

GNMS-XCVI 118 GNX-603T

140 寺開貿司 144 中省

GNW-001

GNW 002

GNW-003

074 ガンダンスロー

86 ユニオン輸送機

122 INTERVIEWS メカニックデザイナー

128 枫瀬敬之





要に触れてみる。



フル装備時では、実 体剣、ビームサーベ ルなどを含めた合計 7本の斬撃武器を搭 載。GNソードはラ イフルとしても使え るが、けん制に用い られる場合が多い。







MECHANIC

武装。GN粒子をコ ▼エクシアのメイン

長イ

当初は5本の剣で暫定的 に運用されていたが、AEU モラリア合同軍事演習へ の介入時にセブンソード へ。以降はトランザムの 発動、GNアームズ投入 などの強化が行われた。





長距離射撃用のGN スナイパーライフル がメイン武装。また GNビームピストル など、他の武装の装 備により、射撃支援 以外でも高いポテン シャルを発揮する。











GNビームサブマシ ンガンを基本として、 ミッションによって テールユニットを換 GNビームサブマシンガン 裝。またGNシール ドに格闘用武器が装 備されているのも本 継の特徴である。



▶先端部が展開 してクロー状に なり、中央部に

■連射性に優れ る2連装ビーム 兵器。変形時で も使用可能。



MECHANIC HISTORY

人革連の鹵獲作戦でGN シールドの機能が発動。 またテールユニットは適 宜装備され、最終決戦で は追加武装とブースター を兼ね備えたテールブー スターで出撃した。







標準装備となる2基 のGNキャノン、メ イン武装のGNバズ - カが基本。GNキ ャノンと脚部には、 GNフィールド発生 用のGN粒子増幅装 置を備えている。

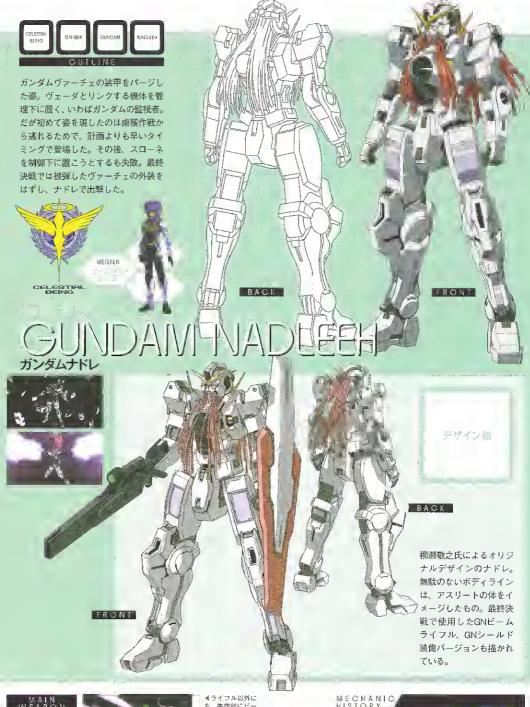


▲GNドライヴに直結することで、高威 力のバーストモードでの攻撃が可能。





太防御フィ



ヴェーダとリンクする 機体を制御するトラ イアルシステムが最 大の武器。だが国連 GNビームライフル 軍との戦闘では攻撃 力が必要となり、GN ビームライフルとGN シールドを装備した。



▶膝部分に格 納されている。 ヴァーチェで

先端部にビー ム刃を発生させる ことが可能。

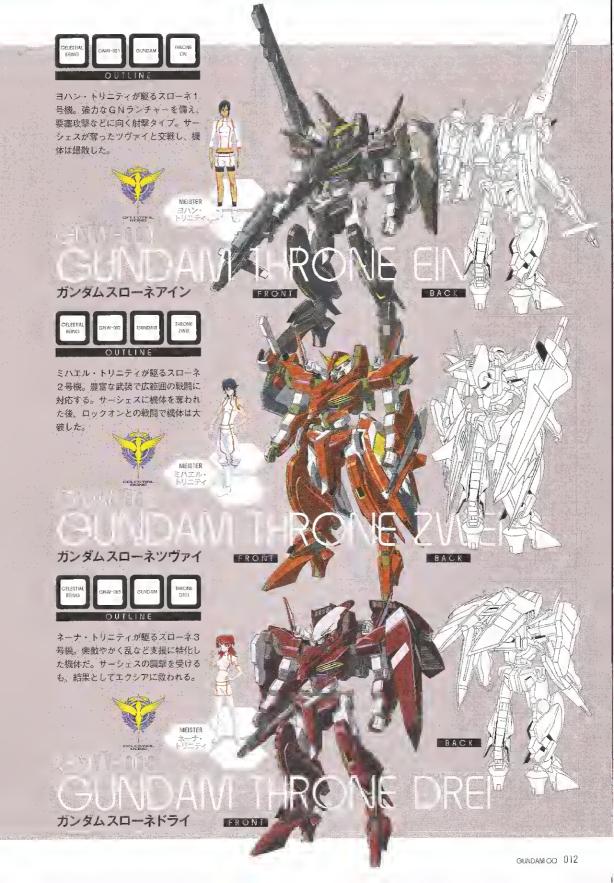


MECHANIC

特殊な形態のため、目立 った強化は行われていな い。だが最終決戦時はナ ドレで戦うことになり。 武装の追加とトランザム システムの発動という、 大きな変化が訪れている。









MAIN WEAPON

他のスローネ2機からGN粒子の 供給を受け、高出力のGNメガラ ンチャー、GNハイメガランチャ ーが使用可能。スローネ共通装 備としてGNビームサーベルを備 えるが接近戦には向かない。



禁力を増幅できる。 の供給で、攻



はパーツの一 ガランチャー 一部に、時期に、

MAINWEAPON

トリニディでは、前衛的な位置 づけで戦闘の中心を担う役目。 巨大な格闘武器GNバスターゾー ドと、無線誘導兵器GNファング がメイン武装。特に接近戦から 中距離戦で真価を発揮する。



▼内部にGN粒子を 減められる巨大な実



サーベルも発生可能。

▼無線武誘導兵器



ミッション中はサポート的な役 割が中心のため、あまり攻撃を 行うことはない。GNハンドガン も武器として使用するよりは、 アインへGN粒子を供給するため に使うケースが多いようだ。



デザイン稿

鷲尾直広氏によ るガンダムスロ ーネドライのデ ザイン稿。特徴 的な背面のユニ ットは、よりシャープな印象で

描かれる。

イと共通の装備。



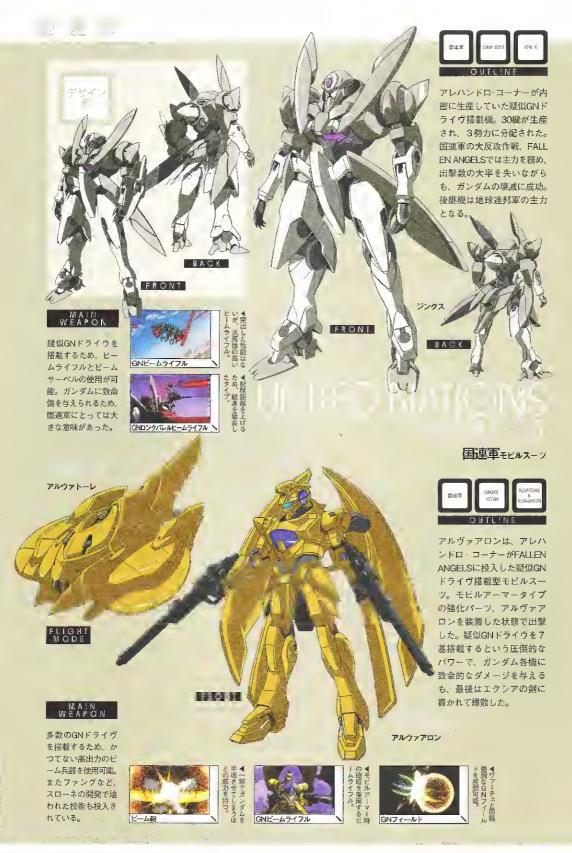


→ルドを展開可能。













INTRODUCTION

西暦2307年。

人類は太陽光発電システムの本格的稼働で、かつでなりは繁栄の時代を迎えていた。一方で世界は3つの勢力に分裂。水画下では大国の意を受けた小国たちの代理戦争が繰り戻すられ、太陽光発電の恩恵を受けられなかった国は、貧困と暴力に喘く。

そんな世界に変革の楔が打ち込まれる。イブリア・シャールグが創設した私設武装集団ンレスタルビーイングと、機動兵器ガンダムである。彼らの目的は、すべての紛争行為に対する武力による介入。その対象は領王・宗教・エネルギーなど理由は問わない。この世から戦争を根絶する。それが彼らの持るぎない存在理由だった。

西暦2008年。

加速する原油価格高騰はエネルギーショックを引き起こし、それは食糧危機をも誘発した。一方、終わりなき民族紛争は復讐の 連鎖を生み、悲劇が繰り返されていく。

たとえば、西暦2008年8月に勃発したグルジアとロシアによる 南オセチア紛争。欧米寄りの路線を取りたいグルジアと、そうし た状況に歯止めをかけたいロシアの関係はついに死者2000人と いう惨事に発展した。

だとえば、ソマリアというアフリカの国。15年以上続く内戦の中、ある少年兵は暫定政府軍に銃口を向け、ある少年兵は貧困から暫定政府軍の制服に袖を通した。

「機動戦士ガンダムOO」という作品が登場する以前、どれ程の人が現在の世界情勢を知っていたのであろうか。私たちはここ日本という国で平和を享受している。だがそれは限られた一面でしかなく、実際の世界とは様々な紛争や問題などを抱えた多面的なものである。たとえば、沙慈のように愛する人がテロ行為に巻き込まれる可能性もある。そう考えると、現在の世界は『機動戦士ガンダムOO』のプロローグに思えてならない。

物語で描かれる西暦2307年の世界観も、刹那たちガンダムマイスダーたちの活躍を切り取ったほんの一面に過ぎない。だがイナリア、シュヘンベルグが何を憂い、ガンダムによる紛争根絶を 割画したのか、その理由を考えてみると我々の住むこの世界の多 様性が浮かび上がってはこないだろうか?

そう、私たちの生きる世界も、『機動戦士ガンダム00』の世界 もまた、同じ西暦という時代なのだ。

ロュニオン軌道エレベーター タワー

端 = ユニオン 種 = AEU 級 = 人至連

旅客機

上はユニオンの旅客機で、国運でも使用された。下はマリナが搭乗したAEU の旅客機。



生 活

軌道エレベーターの発電機 能は3陣営とも稼働し、生 活インフラは目覚ましい発 展を遂げている。高機能情 **製端末は個人レベルにまで** 普及しており、街に設置され ていることも珍しくはない。 また様々な機器の電化が進 んでいることも特徴である。 たとえば車。化石燃料の衰 退後、一時的に水素エンジ ン車が普及したようだが、 現在ではほぼ電気自動車へ の切り替えが完了しつつあ る。また車関連では、右側 通行が全世界の統一規格と なったため、日本で走って いる重は左ハンドルへ移行 している。

活



▲経済運合ユニオンを素徴するエリアが経済特 区日本だろう。高い技術力と機能的な海外資本の 滝入によって目覚ましい成長を遂げ、世界の中で ももっとも発展した国のひとつとなっている。



▲建設費用の負担ができない国家や、そもそも計画に否定的な国家は、太陽が定電中心の世界では 少級であった。時代に取り残されるとわかって いても、それぞれの理由で参加できなかった。

世界概況

慢性的なエネルギー危機を 打開するため、世界各国は 軌道エレベーター建設を目 的に統廃合を重ねた。その 結果、アメリカを中心とし たユニオン、EUから発展 したAEU、中国、ロシア、 インドが結びついた人類藁 新連盟という3陣営が誕生。 エネルギー危機を解消した 3陣営は、それまで停滞し ていた経済や技術分野での 成長を加速していった。 一方、そうした繁栄とは裏 腹に、軌道エレベーター建 設に参加しなかった国々や、 3陣営に属さない勢力では、 いまだに多数の問題を抱え ている。

WORLD OF A.D.2307



▲旧スリランカ領、セイロン島におけるタミ ル人とシンハラ人の民族紛争は、20世紀より 断続的に発生。その背後には人革連の思惑が 複雑に絡んでおり、紛争を悪化させていた。



▲宇宙進出とモビルスーツ開発は、新たなテ ロの図式を生んだ。モビルスーツを使ったテロ、 宇宙でのテロは、もう珍しい時代ではない。 各陣営とも対策には苦慮しているはずた。

国連によって制定された石 油輸出規制は、中東諸国の 経済に大ダメージを与えた。 それは、後に20年以上に も及ぶ太陽光紛争の引き金 となっている。

一方でアフリカ諸国は AEUと支援関係にあるも のの、国境付近で小規模な 小競り合いが絶えない。各 地で起こる紛争は3陣営の 代理戦争的な側面もあり、 世界情勢の安定にはほど遠 い状況にある。

また、宇宙開発が進んだこ とで新たな軍事覇権の争い が生まれつつある。宇宙で の紛争ももはや珍しくない 時代なのである。

電気自動車

公共機関だけでは なく、自家用車に 至るまで急速に普 及。化石燃料車は ほぼ駆逐された。



携帯電話の高性能化 のほか、街中には公 共の端末パネルが設 定されている。

1 タリビア

リビアがアメリカのエネル ギー支配に異を唱え、ユニオン い脱退を表明。その行為が紛 争幇助に当たるとして、 スタルビーイングが武力介入。 タリビアはアメリカに救援を 求め、最終的に和解する。



2 タリビア

紛争の要因は武器だけとは限 らない。実施されたのは、犯 罪を助長する麻薬農園を焼き 払うというミッション。ナバ ームを搭載したキュリオスが 出撃し、麻薬農園の97%を焼き払うことに成功する。

Misslon



3 南米

ソレスタルビーイングの活動 に対し、世界同時無差別テロ という行為を行ったラ・イデ ンラ。その行為に対してユニ オン領の南米に介入。テロを 僧むロックオンによって、完 虐無きまで叩き潰された。

Mission



4 MSWAD基地 `

草事基地、という点が紛争の 要因と捉えられたためか、ガ ンダムスローネの介入を受け る。だが本当の介入要因は、 GNドライヴの秘密に迫りつ つあるレイフ・エイフマン教 授の口封じにあった。



5 アイオワ

フラッグのリニアライフルを 製造するアイリス社の工場へ トリニティが介入。兵器を生 産しているとはいえ、工場で 働く人々の多くは民間人。世 界の怒りは、ソレスタルビー イングに向けられる。

通信機

ホロスクリーンを探 用した最新鋭の通信 機。バー全体がアン テナとなっている。

グラハムやカタギリ が使用する電子機器 類。軍から支給され る装備だけあって、 機能性が高く携行性 に優れている。

ノートPC

収納時は筒状になるコンパ クトなPC。モニター、 ーボードとも巻き取り式。

中心となったためだろう。そう 連合」を名乗る通り、

金と豊富な技術力がある国家が けて実用化を行った軌道エレベ 合へと成長した。 国以上にも及び、 心に構成された勢力。参加国は、 クボーンにあるのは他国に先駆 南アメリカ大陸、日本など50カ アメリカ、カナダ、オセアニア、 「太陽エネルギーと自由国家の ターにある。これも潤沢な資 強力な経済連 そのバッ

武力介入が行われたケースは比そのため、領域内でガンダムの 立った紛争は発生していない。 という思惑があるからだ。 は他勢力に先んじてガンダムを 的に調査する姿勢である。これ の派兵を行い、ガンダムを積極 較的少ない。 の格差はあるが、基本的には目 むしろユニオン側から海外 その技術を獲得しよう

保っている。 ツ開発という分野ではリードを につながっており、 した国家構成は技術力の底上げ モビルスー

強力な経済連合世界をリードする

ップを背景に、旧西側諸国を中

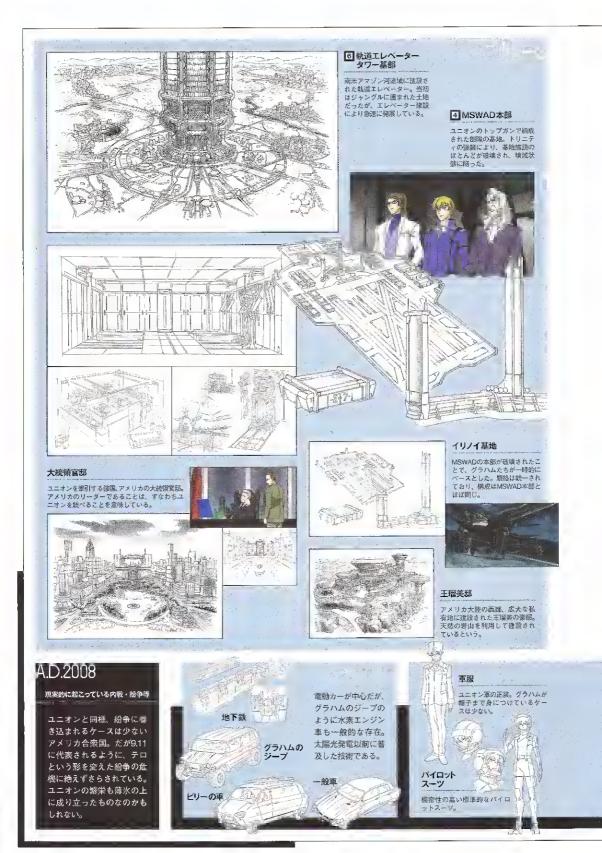
を支配しているために勢力内で

アメリカがエネルギー分配権

3

アメリカの強力なリーダーシ





経済発展のため 槓極的な交流が行われる 経済特区とは、経済発展のた

長させるという意図があった可 力を海外資本によってさらに成 だろう。また、日本の高い技術 ない積極的な交流を狙ったため 日本がユニオンにとって唯一の アジアの領土であり、 れた特別地域。 めに外資や技術の導入が認めら 日本が経済特区となったのは 国を問わ

地理的に近いという背景から両 るわけではないと考えられるが、 連とは積極的な交流を行ってい なっているのだろう。また人革 の最先端技術を学ぶ貴重な場と や人革連にとっては、ユニオン やはり技術力の高さで、AEU る。最大のアピールポイントは らの留学生の受入れを行ってい 比較的自由で、積極的に海外か そうした背景もあり、渡航は

国をつなぐ窓口的存在となって いたと考えられる。

紛争という点に関しては、

都市自体は多麿構造になっており、 さらなる発展を選げている。ただし 緑化などにも配慮されており、都市 の規模から考えると緑地は多いようだ。 巨大な塔は最新の東京タワーで、現在のタワーの数倍の大きさを誇る という。

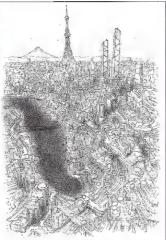


起こしたテロのターゲットとな がかかり、ラ・イデンラが巻き にわかに世界情勢の混乱に拍車 ルビーイングの活動によって、 の地域であった。だがソレスタ 土的な背景や治安面からも無縁

ってしまった。

この事件は日本の平和が薄氷の

て思い知らされることになった。 上に成り立っていることを、改め



ノートPC

絹江が仕事で使用するPG。 カバーを開くとモニターが ブォログラフで表示される。

オン領だが、地 特殊な日本は、 の技術が確立してい

携帯電話

沙慈が使用。ボタンを押す とカバーがスライド。フォ ログラフモニターが表示。

Union of Salar Energy and Free Nations



Area Special Economic Zone



市街地 繁華街

首都の中心街。近代的な建築物に 囲ぎれており、日本が再び経済成 長を謳歌している様子がうかがえ



沙慈のマンション

沙慈と網江が暮らすマンション。間取りは 2LDKで、姉弟が暮らすにはちょうと良い 広さ。



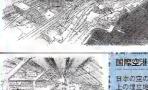




ハイスクール

沙慈とルイスが通うハイスクール。 規模は 大きいようで、ルイズのような外国人留学 生を多く受け入れている。





日本の空の玄関。洋上の埋立地に建設されており、他国とのさかんな文法を証明するかのように多数 の旅客機が発着して いる。







JNN本社

網江が務める報道機関の本社ビル。屋上に は取材用のヘリポートを設けている。



A.D.2008

現実的に起こっている内戦・紛争等

多くの人々が、国際テロの ターゲットは欧米諸国だと 考えている日本。実際、国 際テロに関しては目立った 事件は発生していない。だ が今後の対応次第では、沙 慈が巻き込まれた事件のよ うに、いつ標的となっても おかしくない状況にある。





1 中央アフリカ

新型機イナクトの破壊だけで はなく、条約で規定されてい る以上の機体を軌道エレベー ターに常駐させていたため、 ソレスタルビーイングの武力 介入を受ける。このミッショ ンがガンダムの初陣であった。





2 モラリア

モラロア電との電車流響。と いう名目で行われたAEUの軍 事派遣。カンダム4機が投入 され、AEUとモラリアは、20 機以上の機体を失う。だが AFIIの国民機情は軍備地資路 線へ傾くことになる。



3 スコットランド沖

世界同時テロを巻き起こした ・イデンラ。ソレスタルビ -インクの追跡を逃れるため。 海上へ脱出したが、スコットランド沖でエクシアと遺谣。 水中用モビルアーマーで対抗 するもせん混された。



4 イタリア

トリニティが駆るスローネ3 機がイタリアの軍事基地に襲 楽。トリニティは紛争地域と いうより、軍事基地や軍関連 施設を中心に攻撃する傾向に ある。これがトリニティにと って7度目の武力介入となる。



アフリカ大陸



継能重視のユニオン 更のスーツと異なり、 凝ったデザインを取 り入れている。

AEU軍が制式採用し た拳銃。口径9mm× 19で、弾倉は16発。

銃

術的に近い関係にあ る。そのため、様々 な機器がユニオン製 のものと酷似する傾 向にあるようだ

AEUとユニオンは技

通信機

バータイプのアンテナをも つ形状はユニオンに近い。 前面タッチバネル式。

明確なリーダーが不在だったた また早くから協議制を導入し、

人革連との

下で激しい攻防を繰り広げて モスクワや旧ソ連所属国のAE ズに移行したと考えられる。 加入を巡り、 ロシアから独立した 人革連とは水面 協力態勢を築く。 ようやくユニオン、 クラマカン砂漠での合同作戦で

生む要因となってしまった。 士の意見の不一致が目立ち、 ジを受けた。 ける結果となり、 事演習ではガンダムの介入を受 を打ち出せず、 つではないかと考えられる。 たないことも、 国領内に軌道エレベーターを持 ガ ンダムへの対応も明確な策 その後は加盟国同 モラリアとの軍 多大なダメー タ

があったためか、 盤を作り上げた。 国以上の国家が参加してその基

そうした背景

して発展した勢力。 旧 E U

欧州の30

(欧州連合) を母体と

落ち着くまでは、

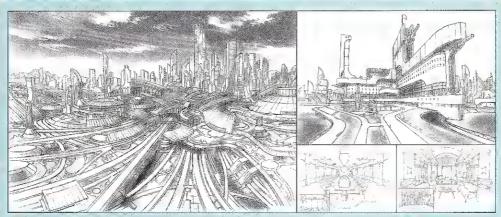
比較的スム 現在の形態に

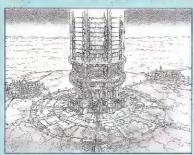
> 建設の遅延は、 が発生するケースも多々見受け プロジェクトの進行に弊害 特に軌道エレベーター 他国との格差を 遅延要因のひと 自

計画の遅延を誘発する各国の対等な関係が









5 軌道エレベーター ラ・トゥール基部

中央アフリカに建設されたラ・トゥールの地上部 分。まだエレベーターとして完全稼働していない ため、他国と比較して発展していない。



AEU参加各国の首脳が集まり、協 議を重ねる中央議会。すべての加 盟国代表が集まるというわけでは なく、参加国内でも微妙な格差が 生まれているようだ。



6 ラ・トゥール周辺 軍事演習場

軌道エレベーター建設現場を防衛 する意味合いで、アフリカ中央部 に建設された軍事施設。イナクト のお披露目が行われたが、これが ガンダムを招く→因となった。



外人部隊基地

ゲーリー・ピアッジ少尉こと、 アリー・アル・サーシェス がタクラマカン砂漠での極 私在窓を経領した其地。



空軍基地

タクラマカン砂漠での合同漢習に際し、AEU東の集合場所となった基地。カティ・マネキシ大佐が指揮官として配属された。



2 モラリア

2284年に建国された欧州南部の小国。300万人 を超える外国人労働者が居住。民間企業の2割 が軍事企業、PMCトラストの関連会社。



現実的に起こっている内戦・紛争等

欧州最大の紛争地域は、旧 ユーゴスラビア領が大半を 占めるバルカン半島だろう。 欧州の火薬庫と呼ばれ、コ ソポ紛争など多数の問題が 発生した。特に民族紛争時間 が経過したとしても解決で きるとは言い切れない。



3大国家が連携

に向けた統廃合が最も激しい地 モスクワが独立するなど、 が参加する一方、 アジア国家やユーラシアの小国 インドが手を結び、 れに対抗するためにユーラシア 界の再編が進みつつある中、 大陸の3大国家 主義国家群を形成した。 こうした動きに呼応し、 ユニオン、 AEUと急速に世 中国 ロシアからは 強大な社会 ロシア、 、再編

を数存在するとも特徴を数争が絶えまなく継続していることも特徴をある。そうした紛争の背後にはAEUやユニオンが暗躍している可能性もあり、大国同士の代理戦争が勃発している地域が代理戦争が勃発している地域が

家がそれぞれ徹底した役割分担いる可能性もあり、大国同士のと背景には、主導権を握る国せた背景には、主導権を握る国は、主導権を握る国

1 セイロン島

シンハラ人とタミル人の民族 紛争に関与する人革連。タミ ル人に肩入れする理由は、太 陽光ケーブルの安全確保。 がそのために紛争が強化し、 ガンタムたちの介入対象に。



先端分野ではユニオンに遅れを

独自の開発路線

モビルスーツ技術をはじめ

やすい停滞を回避した。

協議制の国家が陥り

から批判が集中している。を無視した技術開発には、

でこれに追随する。とっているが、独名

その一方で

人機関の問題をはじめ、

はインドと、

国

軍事はロシア、

科学技術

を行ったからであろう。

政治は

3 マーシャル諸島

世界同時テロを発生したラ・ イデンラの活動拠点が森林地 帯に。ヴァーチェが出撃し、 壊滅させた。人革連政府はま ったく無関係。



4 タクラマカン砂漠

漂縮ウラン埋設基地へのテロを防ぐためソレスタルビーイングが介入。だが、源接地ではユニオン、AEU、人革達の合同軍事演習が実施され、質であることは明白だった。



2 セイロン島

セイロン島にある人革連第7 駐屯地にエクシアが武力介入。 セルゲイがティエレン高級動 型で迎撃に出るも駐屯地は場 滅的ダメージを受けてしまう。



7 広州

広州の人革連本部。基地を攻撃する傾向にあるトリニティのガンダムスローネが強緩。 だがGN-Xの反撃にあい、ミッションは失敗に終わる。

4 5

| |7|

バックバック

宇宙空間での作業は 用いられる。小型フロベラントを装備。 拳銃

人革連軍の正式 採用**巻**統。 ユニオンやAEUと比、 較して、強自路線を 行く人革連。無骨な デザインが多い傾向 にある。 1 2

3 8

インカム

小型軽量で、作戦指揮などに用いられる。

サブマシンガン

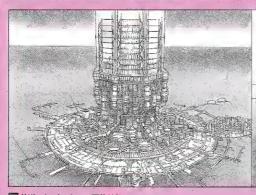
人革連軍が使用するサブマシンガン。

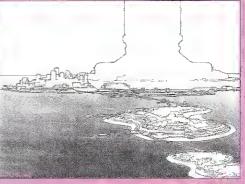
ノートPC

軍用小型PC。カメ ラのような箇所は指 紋スキャナー。 Human Reform League



Human Reform League Area





8 軌道エレベーター 天柱基部

ソロモン諸島に建設された天柱。海上に 建造されたため、土台は人工物。数本の ハイウェイで近隣と結ばれている。





国家主席官邸 人革連を統べる国家主席 の官邸、政治の中枢は中 国が掘っているため、中 国エリアにあるものと考

えられる。

6 タクラマカン砂漠

タクラマカン砂漠にある駐屯基地。 多数のモビルスーツハンガーを備





人草連の総司令本部。軍事の中枢であり、軍関係を 司るロシア領内にあると推測される。

7 広州軍管区基地本部

トリニティの襲撃を受けた人革連の軍 事基地。かなり大規模な基地で、多数 のモビルスーツハンガーを備えている。





セイロン島の駐屯基地。マイクロウェーブアン テナを備える。倉庫のような建物はモビルス-



5 濃縮ウラン施設

タクラマカン砂漠の濃縮ウラン埋 設基地。テロリストの襲撃を受け るという情報だったが、ガンダム をおびき寄せる罠だった。

A.D.2008

現実的に起こっている内臓・紛争等

中国の民族問題や旧ソ連所 属国とロシアの関係など、 多数の問題を抱える。欧米 寄りのグルジアとロシアの 紛争などは、その代表的な 例だろう。欧米とロシアの 対立は新たな冷戦構造の可 能性を秘め、人革連のよう な統一には高い壁がある。









1 南アフリカ

鉱物資源の採掘権を発端とし た内戦へ、ソレスタルビーイ ングによる武力干渉が行われ おもな戦力として多数の 武装ワークローダーが展開し ていたが、デュナメスにとっ ては敵にすらならなかった。

IVIISSION



2 南アフリカ

南アフリカの国境付近で発生 していた紛争へ、エクシアと デュナメスが投入された。紛 争に使用されていたのはアン フ。旧式モビルスーツが相手 なだけあって、短時間でミッ ションは完遂された。



③ アザディスタン王国

改革派と保守派の間で内戦勃 発の緊張が続く中、保守派の 要人マスード・ラフマディー が誘拐されるという事件が発 生。内戦の阻止とマスードの 奪還を目的に、エクシアとデ ュナメスが投入される。



4 北アフリカ

セルゲイ窓いる国連電部隊が GN-Xによる反攻を開始。ト リニティの基地施設があるア フリカ北西部が襲撃される。 本来は知られるはずのない基 地の場所が特定されたことで、 トリニティは基地を放棄。



5 ドウル

中東の国家で、アザディスタ ンの隣国。国連軍の追撃を振 リ切るため、トリニティが一 時的に潜伏していた。だが結 局、セルゲイらGN-X部隊に 発見され、この地も迫われる ことになってしまう。

Mission

双眼鏡

ロックオンのライフル

マスードを奪還する際に口 ックオンが使用。本物の統 の腕も確かであった。

旧式ライフル

クルジスとアザディスタン の戦争時、少年兵の刹那が 使用していたライフル。

世界各国で普及して いる双眼鏡。録画 録音、各種スキャン 総能を内蔵



中東で使用されたア イテムを中心に、3 陣営に属さない他勢 力が使用する機器を 取り上げる。

マリナの通信端末

マリナゼフランスで外交中 アザディスタンにいるシ リンとの通信に使用。

石油輸出規制だろう。 に衰退した。 陽光発電を警戒、 しからは、 太陽光発電はエネル

務付けるこの規制によって、 出・消費に同量のCO。 を見送ったと考えられる。 けではなかった。特に中東諸国は、 東諸国は経済的に困窮。 石油需要を根本から抑制する太 を解消する画期的な新技術であ 太陽光発電が本格的に稼働し 誰もが賛同していたわ 中東諸国は加速度的 その最大の要因が 計画 石油の 『回収を義 一への参加

隣国 な代償を支払わされている。 を渋っており、同国への派遣は定な国へ技術者を派遣すること 陽光発電受信アンデナの設置と 根本的な解決には至らなかった。 タン王国は、 いう解決方法に至っている。 めて特殊な例だろう。 ただ、 のクル 参加しなかった国は 国連の仲介のもとに、 通常は各勢力とも不安 中東諸国は今、 ジスへ侵攻したが、 地域安定のために 太陽光 国に 太

ル返す中、 しす要因になったどいう。 返す中、新興国のアザディス中東エリアが衰退と統合を繰 争という大規模紛争を巻き

ギー問題



Other A



3 クルジス共和国

クルジスの中でも辺境に位置する村。 荒廃が進んでおり、経済的に困窮して いることがうかがえる。



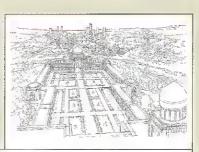


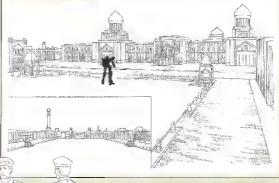
国連議会場

国連により、3陣営の軍事同 盟締結が宣言された議会場。 21世紀の国連総本部はニューヨークにあるが、西層 2038年の所在場所は定かで

3 アザディスタン王宮

中東の伝統的な王宮とアザデ ィスタンの首都。わずかに高 層ビルのような建築物も確認 できるが、繁栄していた時代 の名残なのだろうか。













アザディスタン兵士

A.D.2008

現実的に起こっている内戦・紛争等

パレスチナ、アフガニスタン、 イラクなど、第二次世界大 戦以降は紛争の中心地とな っている中東。多くのケー スは民族紛争や復讐の連鎖 といった複雑な問題を抱え る。おそらく数世紀という 時間がたっても解決に至ら ぬほど根深いものだろう。





AEU軌道 エレベーター ラ・トゥール

AEUがアフリカ 大陸に建設。ま だ建設中で、エレ ベーターの機能は 完全ではない。

ユニオン軌道 エレベーター タワー

南米に建設され た。最も早く実 用化に成功した





1

人革連軌道 エレベータ-天柱

ソロモン諸島付 近の海洋上に建 設されたため、 基部は人工物と なっている。

設定解

西暦におけるモビルスーツの成り立ち

物語の舞台となる西暦2307年では、モビルスーツが 主力兵器として運用されていた。はたしてモビルスー ツは24世紀に至るまで、どのような経緯で誕生し、発 展を遂げていったのだろうか。劇中に散りばめられた 様々なファクターから、その過程を検証してみよう。

Chapter 1

軌道エレベーターと

太陽光発電



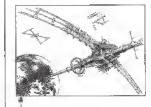
① 高軌道部



団リニアトレイン

回オービタルリング





⑤低軌道部

動道エレベーター

ユニオン、AEU、人革達の軌道エレベ させ、安定を図っている。 - ターが建設されているのはいずれも赤 道上空である。これは軌道エレベーター が設けられており、商業施設や軍事施設、 の建設が比較的容易であり、さらに構造 実験棟などが設けられている。また、軌 物への負担を軽減できるためである。3 道エレベーターの概念として、遠心力が 本のエレベーターは、地球から約1万 重力を上回るように最先端部にはバラス km付近の低軌道部と、約4万kmの高軌 道部のオービタルリングに連結している。 内部に磁性流体を流すことで張力を発生

低軌道部と高軌道部にはステーション ト(アンカー)を配置しバランスを取っ ている。各エレベーターの先端部に複数 設置されている。

⑥ オービタルリング

軌道 エレベーター 簡略図

地上基部

きっかけとなった。

モビルスーツは西暦という時代において、兵器体系の頂点に君臨する機動いて、兵器体系の頂点に君臨する機動いて、兵器体系の頂点に君臨する機動いて、兵器体系を持力は人型兵器であるモビルスーツが担っている。 が担っている。

ずだった軌道エレベーター建設だが

でもないだろう。

様々な要因から一気に建設の機運が高

まることになる。

ったことは記憶に新しい。いまやモビったことは記憶に新しい。いまやモビルスーツの性能=世界の抑止力であることは常識となった。 ことは常識となった。

を知る必要があるだろう。 西暦2100年前後、世界は21世紀 から続いている慢性的なエネルギー危 機への打開策をいまだに解消できてい 機への打開策をいまだに解消できてい を加る必要があるだろう。

それがどのような状況であったかは それがどのような状況であったかは 明言されていないが、21世紀初頭でも 物相場の高騰など、資源インフレが加物は、おのずと厳しい状況が想像できれば、おのずと厳しい状況が想像できれば、おのずと厳しい状況が想像できるのではないだろうか。

西暦2090年、イオリアは30歳の西暦2090年、イオリアは30歳実現することはは当時の技術では到底実現することはは当時の技術では到底実現することはなどなかった。

ひとつは世界的な核ヒステリーだ。 一説には中東の核関連施設が紛争に巻き込まれ、放射能漏れ事故を起こした ことが引き金だとも言われる。これに 終わることのない石油危機が加わって、 世界を未曾有のエネルギーパニックが 世界を未曾有のエネルギーパニックが

クリアし、急速に普及。コストダウンされたが、素材自体が大量生産の問題もされたが、素材自体が大量生産には向かず実験レベルにとどまっている。こうした要素も軌道エレベーター建設を足止めした要素も軌道エレベーター建設をだがEカーボンは大量生産には向がといる。

にはある程度の時間を要しただろうが

味でも大きな効力があったのはいうま味でも大きな効力があったのはいうまがっていた停滞感を打破するという意動道エレベーター建設には、世界に広ることになったと考えられる。また、ることになったと考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と考えられ、これまで主流だった素材と

需要の拡大によってそれも解消できた

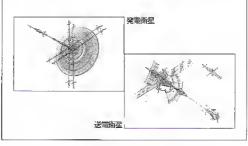
本格化した軌道エレベーター建設は、本格化した軌道エレベーターという巨大な設備の建設エレベーターという巨大な設備の建設要は、とても一国の予算や工業規模できれな国家の本力が必要であると考えられていた。慢性的なエネルギー危機は国家の体力低下を招いており、こうした国家間の低下を招いており、こうした国家間の本に同体への移行、発展も自然の流れであったと考えられる。

世界的な気運、技術的困難の解消、世界的な気運、技術的困難の解消、連盟も産声を上げる。一方でロシア、旧西側諸国を中心とした経事中国の旧共産圏を中心とした人類革新中国の旧共産圏を中心とした人類革新中国の旧共産圏を中心とした人類革新

器として急速に発展していった。 経済的問題の解決。すべての障害をクリアした軌道エレベーター建設開発用に考案されてから、実に1世紀以上。その間、軌道エレベーター建設開発用に考案された作業機械は、モビルスーツという兵経済的問題の解決。すべての障害をク

太陽光発電

太陽光発電システムの要である発電衛星の本体は、円形アンテナのような形状で直径は約1000kmにもなる。これが2体1組となり、高軌道部のオービタルリング上に無数に設置されている。太陽光エネルギーを集電する際には太陽の動きに合わせて発電素子面を移動させ、効率よくエネルギーを発生させる構造となっている。発電衛星の最大の難敵となるのが宇宙を漂うデブリだが、これに対しては衛星本体を挟み込むように電磁ネットを設置して、発電素子面を破壊しないように細心の注意が図られている。また、発電したエネルギーは軌道エレベーターを介している。また、発電したエネルギーは軌道エレベーターを介している。また、発電したエネルギーは軌道エレベーターを介している。また、発電したエネルギーは軌道エレベーターを介している。また、発電したエネルギーは軌道エレベーターを介している。また、発電したエネルギーは軌道エレベーターを介して



リニアトレイン

執道エレベーターが完成すると、その内部を高速で移動するリニアトレインが就航。これにより宇宙船などを用いずに、数日で地上と高軌道部までを移動することが可能となった。軌道エレベーターには太陽光発電以外に、宇宙開発の加速という側面ももたされており、リニアトレインはその一環であると考えられる。リニアトレインは、ロケットでは不可能だった、人員や資源を少ないリスクで大量に宇宙へ輸送することを実現し、宇宙開発の促進に大きな影響を与えている。すでに少数のスペースコニーの建設にも成功して、人の居住も行われている。人口が爆発的に増加していないため、本格的な移住は考えられていない。



Chapter 2

ワークローダ**ー**から 機動兵器へ

モビルアーマー



人革連が製造した水中用モビルアーマー。これもテロ組織の手に渡って使用されている。西暦2307年におけるモビルアーマーの定義は、人型ではない戦闘兵器(広義に旧世代の戦闘車両や戦闘機なども含まれている)のことを指す。アルヴ



ァトーレなども、人型を模していないため、大型モビルアーマーに分類される。

ワークローダー

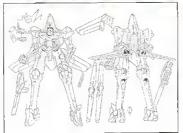




西暦2308年でも、純粋な作業機械としてワークローダーは存在していた。これは地上用ワークローダーで、機能はかなり簡略化されていると思われる。また一部のモビルスーツが用意できないテロ組織では、ワークローダーを武装化して兵器化するケースもあったようだ。

西暦2300年代付近のモビルスーツ





初期のモビルスーツ





ではないかと考えられる。ファントンの輸出型であるアンフは、いまだ紛争地域で現役として使用されている。

おそらくワークローダーは作業機械然 械が大量に生産され、建設現場へと投 としたスタイルであったのだろう。 人されていった。建設が始まった当初 軌道エレベーター建設が本格化する ワークローダーと呼ばれる作業機

を遂げていったはずだ。 みを超え、汎用性のある機械へと進化 くうち、いつしか作業機械という枠組 富んだ苛酷な環境への対応を図ってい だが地上から宇宙空間まで、変化に

していないが、後のモビルスーツがイ のである。この時点では名称すら存在 に軌道エレベーター建設がマシンの発 概念すらも提唱。計画の段階で、すで 設作業と守備作業を行う人型マシンの 2090年の軌道エレベーター基礎理 ア・シュヘンベルグである。西暦 は言うまでもない。 オリアの計画にあるマシンということ 告が行われることすらも予見していた 展を促すこと、さらには建設作業に妨 論の発表とともに、イオリアはその建 設開始以前に予見していたのがイオリ こうした流れを軌道エレベーター建

をこなすために、人の手に近い動きの スーツの基礎を築いたのである。 う。そうした進化が、いつしかモビル ーダーにEカーボンも採用されただろ できるマニュピレーターになっただろ ダーの作業用アームはより精密な作業 環境の変化にあわせて、ワークロー 機体強度を増すため、ワークロ

> 失う石油産出国や石油関連企業だ。 のは太陽光発電の成功によって利権を 強い反発意見が残っていた。代表的な 軌道エレベーターの防衛目的であった。 太陽光発電に関する計画には一部に根

以外でも使用されるようになる。モビ らで、ここから進化してエレベーター 防衛もワークローダーが最適だったか に合わせたワークローダーだからこそ はエレベーターのサイズ(通路など) の武装化で対抗を図っていった。これ かは定かではないが、危険をもたらす ルスーツの登場だ。 存在に対し、各国はワークローダーへ そうした国家、組織が中心となった

年代後半に発生した太陽光紛争が大き たマシンが登場したのは、西暦2200 な要因だったと考えられる。 現代的なモビルスーツ的構成を持つ

もとれる厳しい規制であった。 参加しなかった石油産出国への制裁と 的に輸出は不可能。太陽光発電計画に 化炭素回収義務が発生するため、実質 下では、石油を輸出すれば同量の二酸 規制が始まったためである。この規制 現実味を帯び、世界規模での石油輸出 のは、軌道エレベーターによる発電が この大規模紛争のきっかけとなった

が内紛と貧困にあえいでいる。 アザディスタン王国をはじめ様々な国 その問題は解消されたわけではなく 以上が経過した西暦2307年でも、 辺各国との戦闘を開始。発生から20年 この規制に反発した中東の諸国は周

西暦2307年にも通じる近代的な王 ツを兵器として洗練させていった。そ 皮肉にもこうした状況はモビルスー 太陽光紛争が本格化していくと、

一方、武装化への引き金となったのは、

役になったのか、それは機動性が極め モビルスーツに対抗するにはモビルス 機動性の高いモビルスーツの敵ではな の兵器で対抗することが不可能となっ Eカーボン装甲を持ったことで、 既存 が常識となったのだ。 ーツでなければならない、という図式 くなってしまう。こうしてこの時代では ったが、大型化により機動性が失われ して大口径砲を搭載することも可能だ たからである。戦車や戦闘機を大型化 て高い大型兵器であるモビルスーツが ビルスーツが数多く登場したのである。 ではなぜ、モビルスーツが戦場の主

モビルスーツありきという図式へと戦 また地上用に特化したモビルスーツが 場は様変わりしたと考えられる。 いれば戦車は不要だった。戦況によっ てしまえば、戦闘機は不要であった。 て兵器が選択されるのではなく、まず モビルスーツに空戦の能力をもたせ

場は、時代の要請といえるものだった えない作業を担うモビルアーマーの登 型化して誕生したモビルスーツでは行 をサポートするためにモビルアーマー も生まれた。武装ワークローダーを大 人型機では埋められない部分

動兵器に近づいたことを感じさせるも もつフォルムはイオリアが提唱した機 ツのスタイルと変わりはない。明確な 発生した電力によって各関節を可動さ として使用していたモビルスーツはフ 頭部こそ持たなかったものの、四肢を せるという構造は、のちのモビルスー 使用した内燃機関が用いられていたが アントンだった。動力には化石燃料を 2290年代当時、 人革連が主力機

普及していくモビルスーツたち

ことになった。民間軍事会社に始まり、はてはテロ組織ま モビルスーツは、 した兵器といえる存在かもしれない。 を受け入れた国とそれ以外で大きく広がっていたのだろう。 そう考えれば、 -ツの導入に多大な軍事費を投入しなくて済むPMCという存在は意外と需要 たと考えられる。



投入していたのは確実だろう。 る。また、モビルスーツ開発で先行し なモビルスエツのレベルに近づいてい システムを採用するなど、ほぼ現代的 リオンイニティウムは、革新的な変形 のであった。 ているユニオンも、すでにリアルドを 初期型となるイニティウムを投入。へ 可変型モビルスーツの登場だ。西暦 2292年には、AEUがヘリオンの ような、航空機としての能力をもった 注目すべきはリアルドやヘリオンの

> 間軍事会社PMCなどに納入されるケ 国への輸出という名目で、同盟国の民 スーツ開発国は旧型機を諸外国へ輸出 し始めた。表向きは各連合体参加加盟

ースも珍しくはなかった。

問題なのは武装テロ集団の手にモビ

西暦2300年代に入ると、モビル

の図式と言えよう。

なっている。これもモビルスーツの普 及によってもたらされた、新たな戦争 では考えられない大規模テロの温床と に日常化しており、これまでのレベル モビルスーツを使った紛争行為はすで ルスーツが渡ることであった。しかも

035 GUNDAM OO

反





の方向性は

なコンセプトの違いがある。 勢力と人革連のモビルスーツには明確 えて差しさわりはない。だが、その2 とAEUは、同一コンセプトとして考 的に交流もあると推察されるユニオン セプトが存在する。関係が良好で技術 その設計思想は勢力ごとに様々なコン ひと言でモビルスーツといっても

せたユニオン、AEUとはまったく異 白で、モビルスーツに飛行能力を持た そのルーツが陸戦兵器であることは明 たファントンから発展した機体である。 レンは太陽光発電紛争時に主力であっ なるコンセプトで開発されたことがう 人革連の主力モビルスーツ、ティエ

うに、2世紀初頭でもロシアと欧米路 のだ。人革連の誕生は想像以上に困難 説だが、人革連のモビルスーツは隣国 根深い軋轢が生じているからだ。たと 線に協調する旧ソビエト所属国家には ルジアとロシアの紛争に代表されるよ ツとなったのだろうか? あくまで仮 を現わしているのかもしれない。 であったことは間違いない。それはグ していったのではないかと考えられる への武力侵攻や紛争解決のために発展 ことも、ロシアとの冷え切った関係性 えばモスクワが人革連を離脱している ではなぜ、人革連は陸戦兵器がルー

術的なハードルが高かったこともあっ てか、人革連に空を意識したモビルス -ツは確認されておらず、空戦には既 ともあれ、ファントンの時代には技

> は水められなかったのだろう。 側の人革連側では、それほど飛行能力 機体を進化させる必要があるが、防衛 という立地であり、侵攻する側は飛行 ベーター天柱は海上に建設されている 考えられる。また、人革連の軌道エレ 存の航空兵力で十分対応できていたと

れない。 つつあることを現わしているのかもし わりにユニオンやAEUの脅威が迫り がいったんの落ち着きを見せ、そのか した背景には、この10年で国内の情勢 れるなど変化が見え始めている。こう いるティエレンには高機動型が開発さ

外派兵を行っていた。

ユニオンの航空輸送機や空母が、モ

中心という事情を考えると積極的な海

ンは世界の警察を自負し、アメリカが 力外での運用にも有効だった。ユニオ う広大な範囲をカバーするのが可変飛 らば凌駕することは、たやすかったか

という目的で飛行能力がもたされたの 定どおり軌道エレベーターを防衛する のためか両勢力のモビルスーツは、想 近隣諸国の不安要素は少なかった。そ 連合を形成しており、人革連のように が存在し、AEUは20世紀からすでに ニオンはアメリカという明確な主導者 統合が比較的にスムーズに進んだ。ユ

型を開発したとしても不思議ではない

に反応して人革連がティエレン高機動

特にここ10年でユニオンが海外への

生したという。 者を統廃合して可変型のヘリオンが誕 型のAEU +Qが存在していたが、両 代以前には陸戦型のAEU -OSと空戦 その経緯を紐解くと、西暦2290年 AEUのモビルスーツ開発の歴史と だろう。

ツ開発は、ユニオンの著名な技術者ビ しても不思議ではない。 ユニオンリアルドを参考にしていたと リー・カタギリの言葉にもあるように、 猿マネ」が基本であったと考えられ、 言うまでもなくAEUのモビルスー 統廃合に至った経緯は定かではない

本格的な軍事衝突があったか定かで

だがその後、10年前から運用されて

行型の特性と考えられるが、一方で勢

もしれない。また本来、地上と空とい はないが、ファントンクラスの機体な

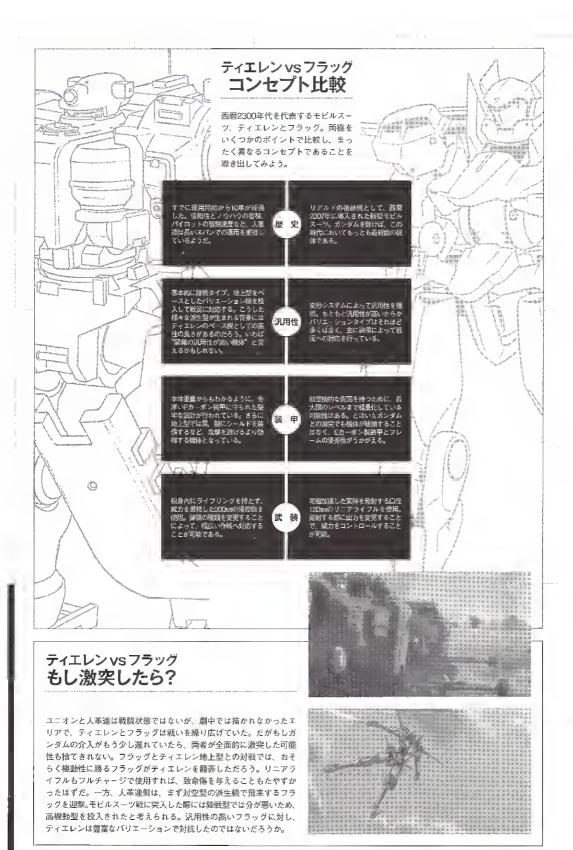
一方、ユニオンとAEUの両勢力は 派兵を活発化していたなら、その状況 たことを示しているといえるだろう。 自国外での運用が積極的に行われてい ビルスーツ運用に特化していることは、

ダムの登場と、 2308年にソレスタルビーイングと GNドライヴ [T] であった。西暦 のはモビルスーツの概念を覆したガン だろう。 こうした冷戦状態に終止符を打った 各勢力にもたらされた

るモビルスーツもGNドライヴ [T] | 邦平和維持軍へ||元化され、使用され 世界328カ国の参加する地球連邦へ の戦闘が終結したあと、3つの勢力が 搭載型を中心としたものに随時統一さ 発展すると各国の軍備は解体。地球連

のは、ほんの20年程度の間だったのだ。 の特色溢れるモビルスーツが存在した 歴史を振り返ってみれば、勢力ごと

空戦型にも陸戦型程度のパフォーマン が、モビルスーツ技術の研究により スを持たせることが可能となったのだ





ダ

ソレスタルビーイングと機動兵器ガン けん制し合う世界に、一石が投じられた。 のちにGNドライヴという革新的な 西暦2307年、水面下で3勢力が

の動力源となるGNドライヴは、半永 るのがGNドライヴだろう。ガンダム 存在であったのである。 を発生し続けている。 久機関であり、絶え間なくエネルギー ガンダム最大の特徴として挙げられ

ダムは既存のモビルスーツを凌駕する モビルスーツが誕生したように、ガン ワークローダーという枠組みを超えて 覆すエボックな存在であった。かつて ダムは、モビルスーツという枠組みを 動力機関を持つことが確認されたガン

となっている。また、余剰エネルギー を有効利用できる点も既存のモビルス ダムが圧倒的な存在である要素の1つ もないエネルギー発生量であり、ガン ビルスーツクラスとして考えれば途方 め、現実的には不可能だ。それでもモ 電力をまかなうには消費量が上回るた ーツにはない要素だ。 力は一定である。たとえば地球全土の 半永久機関といっても発生できる出

キャパシタを配置。コンデンサー内に 部などにGNコンデンサーと呼ばれる きく異なるのは、エネルギーを蓄積で 源供給型モビルスーツとガンダムが大 余刺エネルギーをたえず蓄積している。 きることにある。ガンダムは腕部、 エネルギーを消費し続けるだけの雷

> な側面だけではなく、GN粒子という ルギーを解放した可能性も考えられる。 的にGNコンデンサーに蓄積したエネ 切るシチュエーションなどでは、瞬間 発生することが可能なのだ。たとえば、 を解放することで、圧倒的なパワーを ダムは状況によって蓄えたエネルギー タに蓄積、蓄えた電力を加速時に使用 でも採用される予定のシステム。ブレ 用され、Fーなどのモータースポーツ できるというもの。それと同様にガン ムのようなものかもしれない。回生ブ つばぜり合いでガンダムが敵機を押し ーキング時に発生した電力をキャパシ GNドライヴは、こうしたパワー的 ーキとは、電車などでは一般的に使

GNドライヴ稼働時に生成されるGN もうひとつの大きな機能を備えていた。 には重量軽減効果もあり、既存のモビ な要素を生み出した。また、GN粒子 能と、ガンダムの特殊性を支える様々 粒子は、レーダーシステムの無効化、 を実現した。 ルスーツでは不可能な重装甲、重武装 ヒーム兵器やスラスターへの転用が可

ダムヴァーチェだろう。この機体は通 までもないだろう。 ら他のガンダムならば、既存のモビル 武装と重装甲を両立しながらも、 常のモビルスーツでは考えられない重 スーツとの差が圧倒的になるのは言う り合っている。さらに軽量なエクシア 性の高いモビルス1ツと互角以上に渡 この恩恵を最も受けているのはガン

至った。わずか数機で世界を震撼させ ヴによって圧倒的な性能を獲得するに このように、ガンダムはGNドライ

たとえるなら回生ブレーキのシステ 考えられる。

当然必要とされた。 えうるフレームやパーツ類で 圧倒的な性能をもつGNドライヴに耐 ンダムの完成に直結したわけではない。

GNドライヴといっても、それはT

23世紀も終盤にさしかかろうという時 初のガンダムがロールアウトするのは、 は難しく、こうした問題を解消して最 クが途方もないものであった。強度的 ている機体であり、要求されるスペッ 代であった。 な問題を含め、想定した性能を得るの もともと少数での武力介入を想定し

ガンダムが採用しているのは分子レベ スーツとなんら変わりはない。実は素 とはいえ、それだけでは既存のモビル ツと同様、近年でもっとも優れた素材 高い防御力を実現した。 及しているEカーボンよりもはるがに れた素材である。そのため、 ルでスピンも統一された、より洗練さ 材こそEカーボン製ではあるものの、 であるEカーボンが採用されている。 ム材質については、多くのモビルスー 機体の主要部分である装甲やフレー 発のために木星圏へ旅立った可能性も 持ち、一説には他惑星の常設基地建設 年以降、イオリアは宇宙開発に興味を 間を必要としたという。 西暦2101 され、それでも完成には百年単位の時 などに代表される高重力環境が必要と GNドライヴのコアの製造には、木星 いような時間と手間を要した。中でも 通常の兵器開発の過程では考えられな に尽力したというが、GNドライヴ開 たのも、納得せざるを得ない。 無論、ガンダムという兵器の成立には

一方、動力機関の完成がそのままガ 補器類も GNドライヴ〔H〕と、それを搭載す を経て完成したガンダムであったが、 が提供されることになる。 るモビルスーツGN-X (ジンクス) ロ・コーナーによって、3つの勢力に 西暦2308年になるとソレスタルビ (タウ) と呼ばれるもので、TDプラン - イングの監視者の一人、アレハンド

こうした常識では考えられない工程

な違いがあった。また最大の特徴とし ケットを採用していないという決定的

兵器用に高圧縮したGN粒子には、 ばれる所以となっている。 に制限があり、それが疑似太陽炉と呼 が必要であること。そのため活動時間 てはGNドライヴの生成には電力供給 トも存在していたのである。 体の細胞を変質させるというデメリッ 異なる問題点が残されていた。ビーム またGN粒子には、オリジナルとは

リットは存在する。それは生産性である。 の生産性があったからなのは言うまで ナーが用意できたのも、こうした【工 のGNドライヴをアレハンドロ・コー は短時間で製造できるようだ。33基も を必要としていたが、GNドライヴ[丁] オリジナルのGNドライヴは木星環境 とはいえ、GNドライヴ[十]にもメ

ガンダムの特徴

クラビカルアンテナ

GN粒子の制御に使用される 特殊アンテナ。

GN粒子供給コード

機体各所にGN粒子を供給す るためのコード。強度は確保 されている。

GNドライヴ

太陽炉と呼ばれる半永久機関。 TDブランケットを採用した オリジナルタイプは5基しか 存在しない。

GNコンデンサー

余剰のエネルギーを蓄積する コンデンサー。蓄積したエネ ルギーは任意に使用できる。

装甲

素材自体はEカーボン。だが より洗練された素材を使用し ているため、通常のモビルス ーツよりも高い防御力を備え ている。

防御装備



Eカーボン製のシールドに. GN粒子の特殊フィールドを 形成。ガンダム各機が装備 するシールドには、同様の 特殊処理が施されている。

ビーム兵器



GN粒子を応用し、ビーム兵 器の開発に成功している。西 暦2307年の段階で実用化に 成功しているのは、ソレスタ ルビーイングのみ。

平和維持軍でも引き続きGN・Xが採 われている。 後 国連から発展した地球

かもしれない。

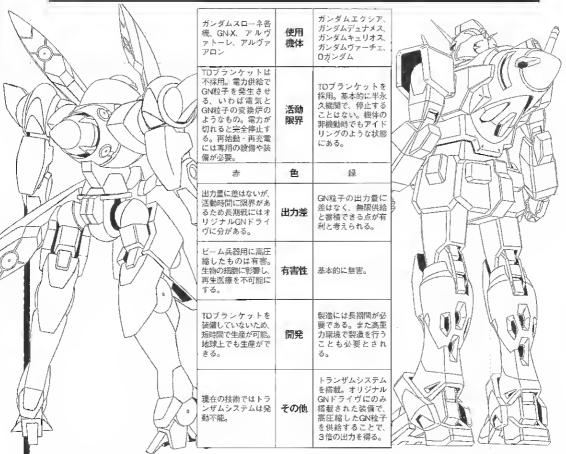
ガンダムであっ

GNドライヴ搭載機であり、 ンダムによる戦闘が展開した。 国連軍の2機のGN・Xと、 / ダム同士の戦いと呼べるものだと言 ・レスタルビーイングとの決戦では 戦闘に参加した機体はすべて いわばガ 機の ガ のものを提唱したのがイオリアである。 ていた機動兵器は ンダムだが、 でにその時点でイオリアが理想とし

この

ヴ搭載機=モビルスーツ、 用されるなど、 になりつつある可能性も秘めている。 モビルスーツという存在を覆したガ そもそも人型機動兵器そ 将来的にはGNドライ

(T) GNドライヴ とGNドライヴ



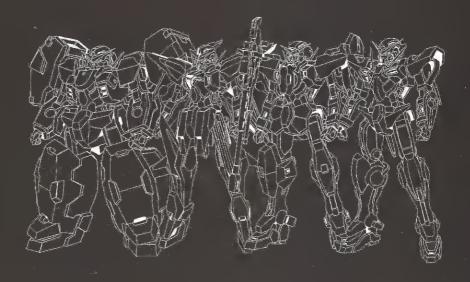
KEY WORDS

AEU	IBEUから発展した連合体。欧州諸国のほか、モスクワなども参加。エレベーター建設では遅れをとっている。
Eカーボン	軌道エレベーター建設に用いられた特殊素材。軽量・強固でモビルスーツの装甲材質にも使われている。
GNドライヴ	通称、太陽炉。ガンダムに搭載される半永久機関で、GN粒子という特殊粒子を発生させる。
GNドライヴ(T)	通称、疑似太陽炉。基本的性能はGNドライヴと同等だが、活動期間に制限がある。
GN粒子	GNドライヴから発生される特殊粒子。ステルス効果、ビーム兵器、スラスター推力などに応用できる。
KPSA	西暦2301年あたりに存在したクルジス共和国のゲリラ組織。リーダーはアリー・アル・サーシェス。
MSWAD(エムスワッド)	ユニオンの精鋭モビルスーツ部隊でガンダム調査隊を擁する。オーバーフラッグを使用する。
PMCトラスト	モラリアに本拠地を置く民間軍事会社。兵士の派遣だけではなく、兵器改良なども行う企業である。
アイリス社	ユニオン領アメリカのアイオワにある民間の兵器関連企業。オーバーフラッグのリニアライフルを生産していた。
アザディスタン王国	中東の石油産出国。石油規制の影響で貧困にあえいでいる。マリナ・イスマイールを皇女に擁立し、諸外 国との関係修復に奔走する。
ヴェーダ	イオリア、シュヘンベルグの理念を遂行する、量子演算処理システム系コンピューター。本体は月に設置されている。
エージェント	ソレスタルビーイングの行動をサポートする。政財界のトップクラスに通じている人物も多い。
オートマトン	モビルスーツを必要としない対人戦などに用いられる兵器。基本的にバイロットは搭乗せず、自動制御で 運用される。
オペレーション・ドーン	AEUとモラリア共和国で行われた共同軍事演習。その実態は、AEU軍のモラリアへの軍隊派遣だった。
監視者	イオリアの計画を監視する役目をもつ人々。合議制でヴェーダの決定を拒否できる権限を持つ。
ガンダム	ソレスタルビーイングが開発した機動兵器。GNドライヴにより、各勢力では実現できない性能を発揮する。
ガンダムマイスター	ソレスタルビーイングのガンダムパイロットを指す。その選定はヴェーダによって行われる。
軌道エレベーター	太陽光発電を実現するために建設された巨大なエレベーター。赤道上空に 3 基のエレベーターが建設されている。
クルジス共和国	アザディスタンの隣国。西暦2300年初頭にアザディスタンからの侵攻を受けて崩壊した。刹那の母国である。
国連軍	ガンダムに対抗するため、ユニオン、AEU、人革連の協力のもとに発足。国連の管轄で運用される。
人類革新連盟	連称は人革連。中国、ロシア、インドが中心となって誕生。政治は中国、軍備はロシア、技術はインドが 担当。
スペースコロニー	宇宙空間に建造された人工の居住空間。宇宙開発の最先端として、各国とも研究を行っている。
ソレスタルビーイング	イオリア・シュヘンベルグが創設した私設武装集団。世界に対し、武力による紛争介入を宣言した。
太陽光受信アンテナ	おもに太陽光発電エネルギーのケーブルの未整備地域に建設されるもので、マイクロウェーブの照射によって供給が行われる。
太陽光紛争	石油輸出規制に中東諸国が反発。この規制を発端とした諸外国で発生したテロ行為や紛争などを指す。
地球連邦政府	ソレスタルビーイングの脅威が去った西暦2311年に発足。3勢力ほか300以上の国々が参加する。
超人機関	人革連の超兵研究機関。人為的に強化したパイロットを生み出すために設立された。
超兵	超人機関が生み出した強化パイロット。ナノマシンによる身体強化や脳神経の強化も行われている。
デザインベビー	ある目的のために、人工的な遺伝子操作によって生まれた子供。能力や容姿すらもコントロールできる。
デブリ	スペースデブリ。宇宙に浮かぶゴミ。地球の衛星軌道上を高速で周回しており、衝突による事故が問題視 されている。
トライアルシステム	ガンダムナドレに搭載されたシステム。ヴェーダとリンクしている機体を管理下に置くことが可能である。
トランザム	オリジナルのGNドライヴにのみ搭載。圧縮したGN粒子を一気に解放することで、一定時間3倍以上のパワーを発揮する。
トリニティ	ソレスタルビーイングのセカンドチームの名称。 3人網成による三位一体の運用から名付けられたと考えられる。
ナノマシン	0.1~100nmという極小サイズのマシン。医療用や工業用として、様々な分野で使用されている。
ハロ	独立型Aitを搭載した小型ロボット。ガンダムの操縦サポートのほか、機体のメンテナンスにも携わる。
ビーム兵器	各国とも研究を続けている最先端兵器。GN粒子を発生できるガンダムのみが使用できる。
モビルスーツ	人型兵器の総称。ワークローダーから発展して徐々に兵器化への道をたどった。勢力ごとに様々なタイプが存在。
ユニオン	アメリカが中心となり、日本やオーストラリア、南米地域が参加した経済連合。世界のリーダーを自認している。
リニアトレイン	軌道エレベーター内で運用されており、地上と宇宙を結ぶ。運用はリニアトレイン公社が行っている。
ワークローダー	軌道エレベーター開発に用いられた作業用マシン。後にモビルスーツのベースとなっていく。

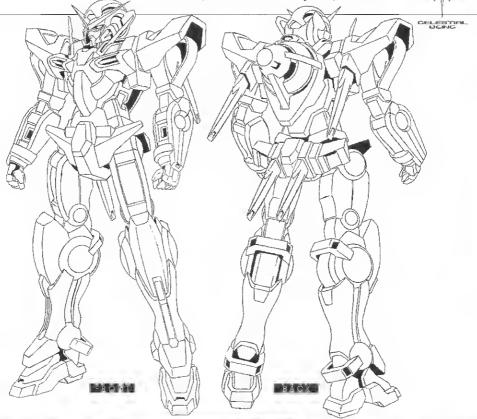
第3章

Chapter 3 MECHANIC

西暦2307年、突如飛来した機動兵器ガンダムに世界は 震撼した。その存在は、モビルスーツという概念を根底 打ち破るものであった。ガンダムとガンダムに対抗した モビルスーツたちの、進化の道程を探る。











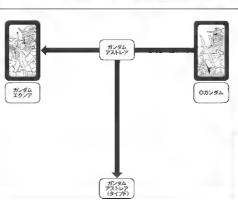
ルカンのみを装備する。小型のビームライフルとバーが器は剣に特化しており、

ほどの成力を秘めている。 ビルスーツを一刀両断する

近接戦闘において真価を発揮する格闘 型ガンダム。GNドライヴの恩恵を、接 近戦に活かした機体である。開発コー ド「セブンソード」の名前どおり、計 7本もの斬撃武器を装備する。うち4 本は世界的にも稀有なビーム兵器。残 り3本は実刃の剣だが、これはGNフィ ールドを持つ機体、つまりガンダムへ の抑止力として採用されている。

ガンダムエクシア 系統図

ソレスタルビーイングが 開発した最初のガンダム、 後に第一世代と呼ばれる Oガンダムの系譜を受け 継ぐ。オリジナルGNド ライヴを継承する4機の ガンダムのうちの1機。 第二世代のガンダムアス トレアでGNソードをは じめとする各種兵装のテ ストが行われたのち、第 三世代のエクシアで正式 採用されたという。



SPEC

- ●頻原高/18.3m ●本体重量/57.2t ●パイロット/刹那・F・セイエイ ●武後/GNソード、GNシールド、GNロングブレイド、GNショト・プレイド、GNビームサーベル、GNビームダガー

GUNDAM EXIA

AEU

PMC

人類革新連盟

国連軍

MECHANIC VIEW

1 クラビカルアンテナ

襟元に接続されたアンテナはガンダム共 通の装備で、GN粒子制御に使用される。

2 GN粒子供給コード

GN粒子を機体全体に行き減らせる。

3 GNドライヴ

5基だけ現存するオリジナルの太陽炉を. 機体中央部に搭載している。

4 ハードポイント

腕部に設けられた兵装マウント。GNソー ドとGNシールドを装備する。

5 GN粒子コンデンサ

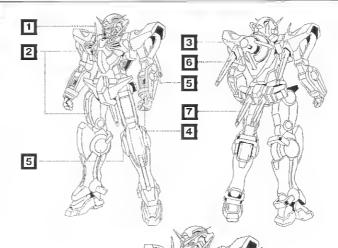
生成されるGN粒子を蓄積できる。 蓄えた 粒子は任意で使用することが可能だ。

⑥ GNビームサーベル

肩部後方に備えられた格制武器。引き抜 くとサーベル状のビームを形成する。

⑦ GNビームダガー

腰部に装備された格闘武器。サーベルよ リ短く、投てきするケースもある。



GNロング ブレイド・ GNショート ブレイド装備







▲イオリアが懸念したGNドライウ搭 載機同士の対決。勝敗を決したのは GNフィールドを破れる力だったか。

ナメスにも対ガンダム用の対策 がまだ未解明である。 もしれない。イオリアの計画も う考えると、キュリオス、デュ 同じ対ガンダム対策である。 含め、ガンダムの謎はその多く システムは、いわばエクシアと 施されている可能性もある たとえばナドレのトライアル

策を組み込んでいるようだ。

かなり用心深い人物だったよう

イオリア・シュヘンベルグは どんな些細な計画にも安全

えることが可能だった。 体剣なら、物理的ダメージを与

エクシアだけではない?対ガンダムの安全策は 革新的なビー ムサーベルを装

の実体剣を装備する。これは万 備しながらも、エクシアは3本

一、ガンダムが敵対した場合

お

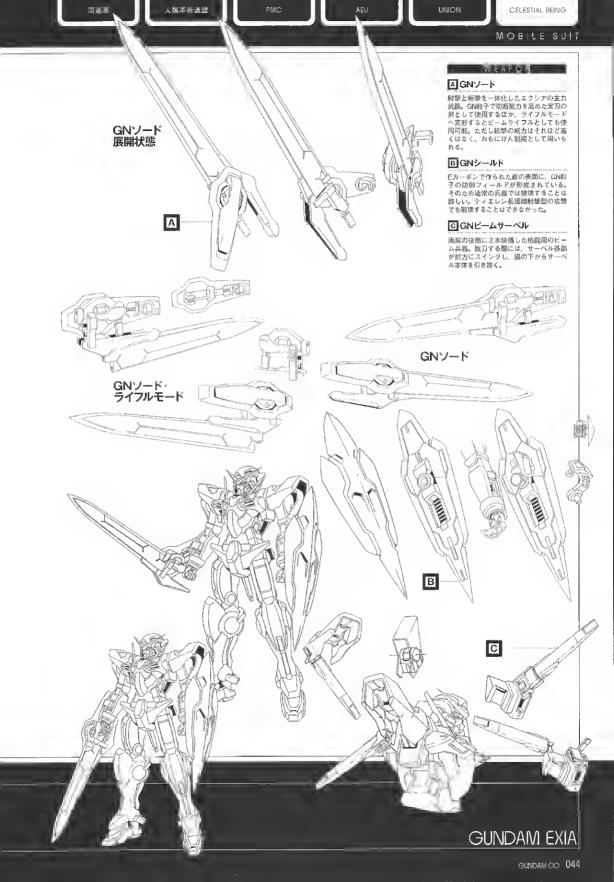
そらく同じGN粒子で構成され

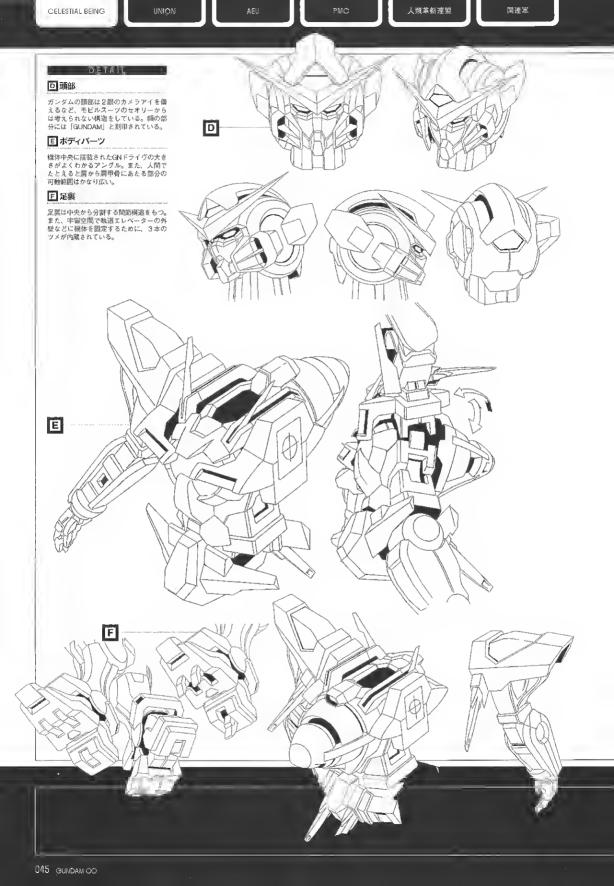
たビームサーベルではGNフィ を想定しての措置だという。

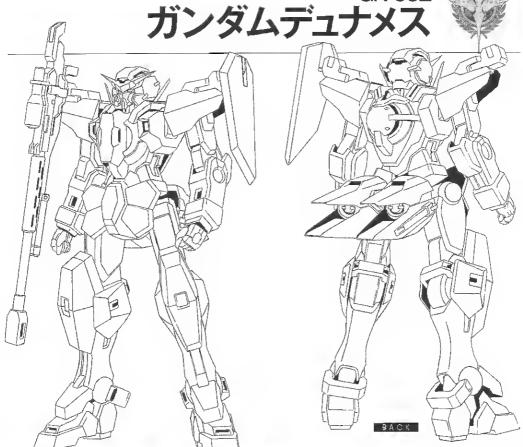
う。一見時代遅れとも取れる実

ルドの干渉を受けるためだろ

043 GUNDAM ÓO









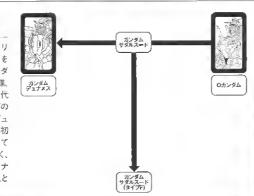
パフルシールドを腰路して威 射撃能力のみではなく



長距離射撃に特化したガンダム。専用の スナイバーライフル、ガンカメラ、コク ビット内の精密射撃スコープなど、狙 撃能力を極限にまで突き詰めた機体で ある。高高度射撃用装備では、高度数 万kmに浮かぶ物体すら狙い撃つことが 可能。またGNビームピストルなど豊富 なオプションが存在し、装備の選択に よっては長距離射撃から制圧戦まで、 幅広い戦况に対応できる。

ガンダム デュナメス系統図

5基しか存在しないオリ ジナルのGNドライヴを 採用した第三世代ガンダ ム。他のガンダムと同様、 Oガンダムから第二世代 ガンダムサダルスードの 開発を経て、現在のデュ ナメスが完成した。当初 から長距離射撃型として 開発されたわけではなく、 このコンセプトはデュナ メスから盛り込まれたと 言われている。

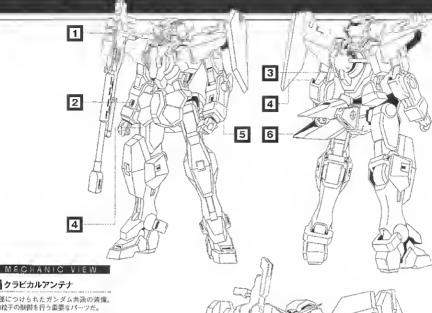


●頭頂高/18.2m ●本体更量/59.1t

●パイロット/ロックオン、ストラトス ●武装/GNスナイパーライフル、GNビームピストル、 GNビームサーベル、GNシールド&GNフルシールド

GUNDAM DYNAMES

UNION



1 クラビカルアンテナ

胸部につけられたガンダム共通の装備。 GN粒子の制御を行う重要なパーツだ。

2 ハードポイント

シールドや武装などを取り付ける箇所。肩 腕、脚にそれぞれ用意されている。

3 GNドライヴ

ガンダムの動力源。機体のコンセプトか らか、前面は装甲に覆われている。

4 GN粒子供給コード

機体全域にGN粒子を送るコード。機体に よっては、装甲で隠れている場合もある。

I GN粒子コンデンサ

半永久機関であるGNドライヴから放出さ れる余刹エネルギーを一時的に蓄積する。

⑥ リアユニット

GNビームサーベル、GNバーニアを搭載 したリアユニットを腰部に装備。



デュナメスの消部はシールドやラ アュアメスの周部はシールドやフィイフルなどを接備できるハードやイントとなっている。ソレスタルビーイングの活動初期、デュナメスは左肩にのみ、GNシールドを被備して出撃していたが、本来は使から顕錦まで、前面すべてを覆り フルシールドが装着される予定だ った。開発は遅れたものの、AEU モラリア合同油智の介入時より実 戦投入されている。

ガンダムデュナメスの 運用



GNビームサーベルを使用した接近 戦にも対応。だが本領発揮は長距離

軌道上からのミッションも考慮 考えられ、将来的には静止衛星 されていたのかもしれない。 上への射撃に応用する可能性も 高高度射撃を宇宙空間から地

よかったはずだ。 功率や秘匿性の意味でも都合が に徹したほうがミッションの成 は一概に言い切れないが、め、長距離に特化したタイ 装によって汎用性が拡大するた が中心である。デュナメスは武 となり、 戦闘は基本的にエクシアが中心 デュナメス・エクシア組の場合 長距離に特化したタイプと デュナメスは援護射撃

宇宙からの狙撃か究極的な運用は 4 機のガンダムは、

だろう。一方のキュリオスとヴ 射撃用の用途分担が明確だから むケースが多いのは、

・ーチェの編成も同様にお互

圧倒的にエクシアとチームを組 いるようだ。デュナメスの場合、 機編成でミッションを遂行して

格闘用と

の特性をカバーできる。

WEAPON

A GNスナイバーライフル

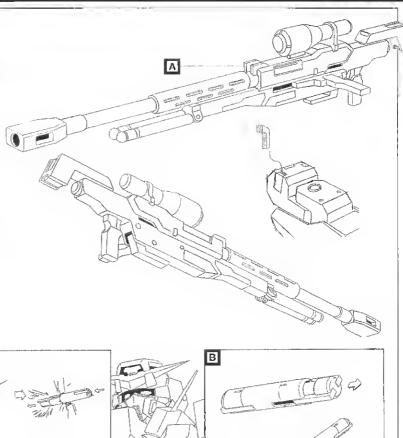
デュナメスのメイン武装。 遠距離射撃用 に特化したスナイパーライフル。 達射性 は低いが、圧縮率を高めた61粒年のビー ムと強力なセンサー、ロックオンの射撃 技術が相まって、超長距離からの狙撃を 実現する。

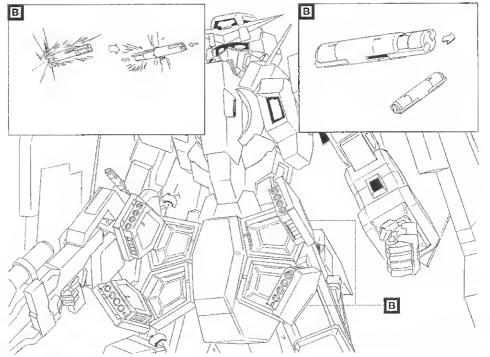
B GNミサイル

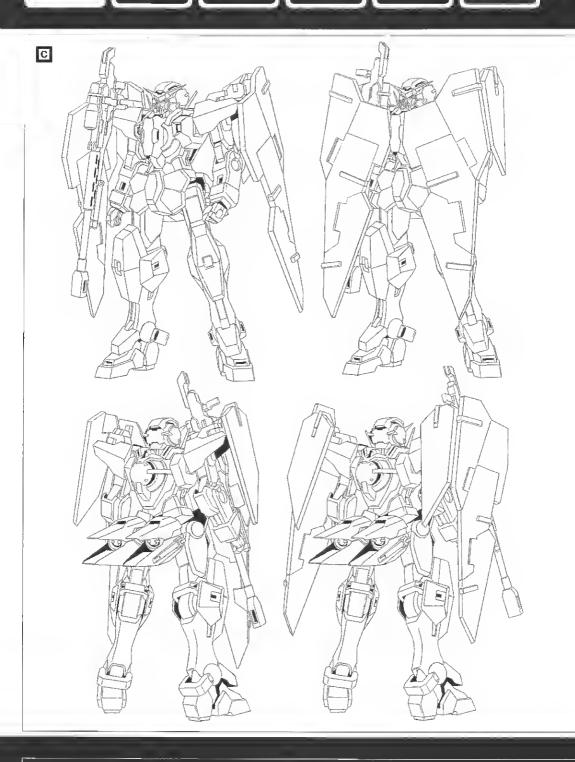
腰部アーマーに装備された小型ミサイル。 正確に狙う武器というよりは、大多数の 敵に対するけん制に用いられる。命中す るとGNシリンダーからGN粒子を噴出し 内部から破壊する。

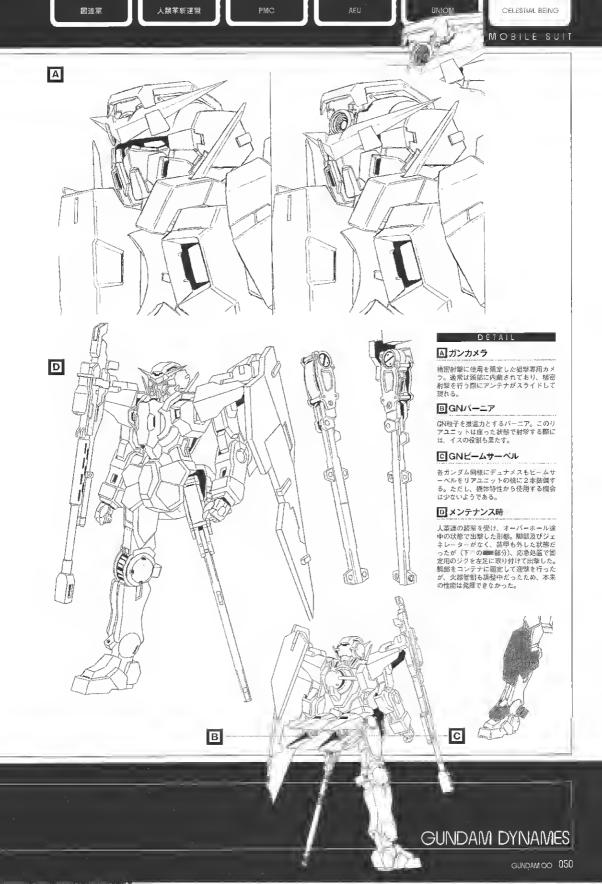
C GNフルシールド装備

大型のGNシールドを装備したデュナメス の完成形。その意図は精密射動時の防却 用や充力側になど、デュナメスのミッションを考慮したもの。前面をすべて覆う ことで、GNドライヴや関節などを守るこ とができる。また防御形態でも腕の可動 部が分割して展開するため、守りつつ攻 撃するという行動も可能である。





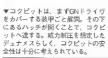


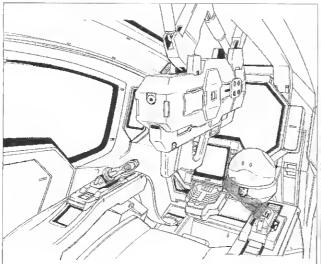


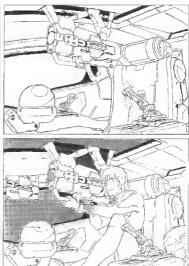
UNIÓN

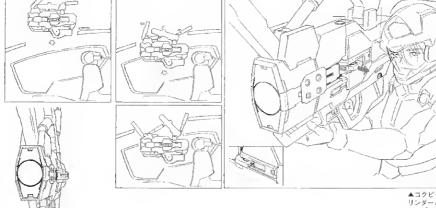
COCKPIT

デュナメスが射撃に特化した機体であることを最強するのが、コクピットの構造だ。コクピットの構造だ。コクピットの構造が、カントロール・スティックとは異なる正確な射撃を可能にする。また、精密射撃時にはデュナメスのコントロールが不可能となるため、サポート用の人揺奪撃のようト、ハロが機体制御を担当する。このハロを搭載するスペースがある点も、他のガンダムとは大きく異なるデイントだろう。





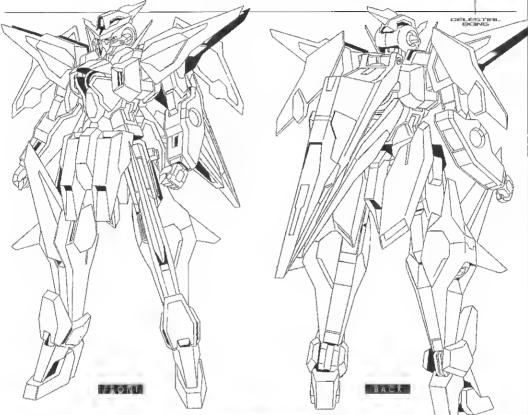




▲コクビット内の天井が開き、シ リンダーとアームで固定されたス コープが現れる。スコープ専用の モニターには、デュナメスのライ フルに運動した映像が表示される。

GN-003 ガンダムキュリオス





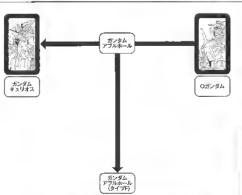




高速戦闘を重視し、変形能力を搭載し たガンダム。飛行形態への変形によって、 比類なき機動性を獲得した。そのため 若干攻撃力は低下したが、オプション のテールユニットを搭載することで、 様々なミッションに対応できる。国連 軍との最終決戦では攻撃力と機動性を 両立したテールブースターを搭載し、 その能力をいかんなく発揮した。

ガンダムキュリオス 系統図

もっとも初期に開発され た第一世代の機体、Oガ ンダムを源流にもつ。第 二世代のアブルホールで はおもに変形システムの テストが行われたといわ れ、その後第三世代のキ ュリオスで正式に変形シ ステムを採用した機体と なった。おそらくシンプ ルでもっとも効果の高い 変形システムが検討され たと思われる。



SPEC

- ●頭頂高: 18.9m ●本体重量: 54.8t
- ●パイロット:アレルヤ・ハプティズム ●GNビームサブマシンガン、GNビームサーベル、 GNシールド、テールユニット

GUNDAM KYRIOS

MECHANIC VIEW

1 クラビカルアンテナ

ガンダムの共通装備のひとつ。GN粒子制 御用に装備された特殊なアンテナ。

② GNドライヴ

変形後の機首部が被さるため、コーンの 形が薄い形態。

3 ハードボイント

腺部に装備されたマウント。GNビームサ ブマシンガンやGNシールドを装備する。

4 GN粒子コンデンサ

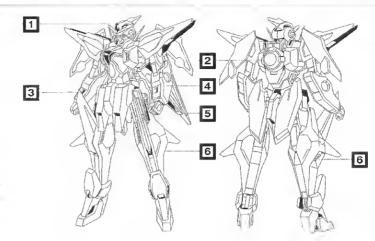
プトレマイオスのガンダムの共通装備。 - 時的にGN粒子を薔積できる。

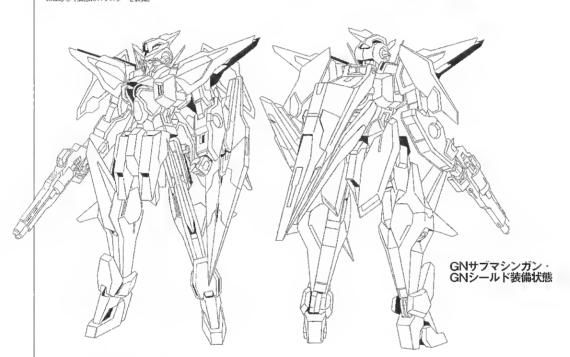
国 スタビライザー&機首ユニット

変形時の機種とスタビライザーは. 背面 へ大胆に折りたたまれる構造。

⑥ メインスラスター

変形時の機動力向上のためか、ガンダム には珍しく脚部にスラスターを装備。





ガンダムキュリオスの 運用



▲ただ高速型というだけではなく、 他機体との連携やコンテナの搭載に より、汎用性は飛躍的に向上する。

撃型」的な連携も有効であった。

間にヴァー を補正できたからだろう。 動性のある敵に翻弄されるヴァ ュリオスと、攻撃力はあるが機 ッションではしばしば両機のコ リオスが敵を引き付け、 ビネーションが見られた。 エとの相性が良いようで、 わりに攻撃力で一歩ゆずるキ こうした特性は、実はヴァ また飛行能力を活かして、 これは機動性がある うまくお互いの弱点 チェが後方より一掃 その 37 +

高い汎用性を獲得 連携やオプションで

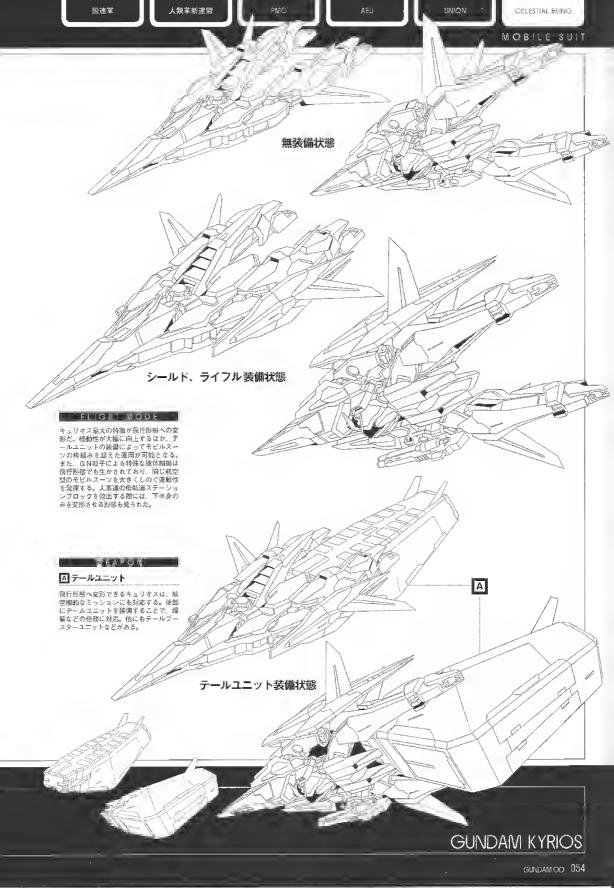
のガンダムの中ではエクシアと

ガンダムキュリオスは、

撃離脱が必要とされるシーンで が求められるミッションや、 攻撃力が求められているわけ 機体である。だがそこに純粋な 同じ前衛ポジションに相当する

他機体よりも早い行動

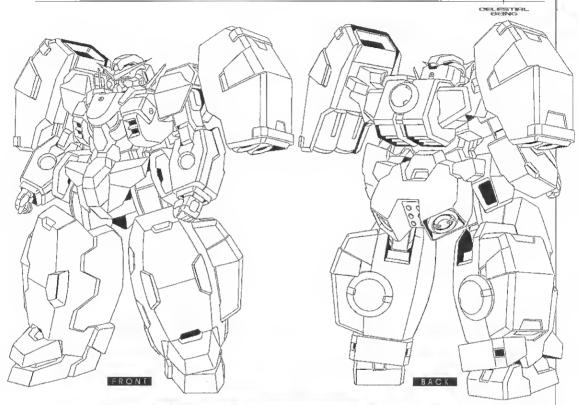
い効果を発揮している。





GN-005 ガンダムヴァーチュ







(直系ではない)



ロボンダム

重武装・重装甲に特化したガンダム。 要塞攻略に適した機体であり、攻撃力 を重視した重火器を搭載している。重 装甲のため機体は大型サイズとなった が、GN粒子の重量軽減効果でサイズと 比較して機体重量は軽いものとなった。 それでも他のガンダムよりは機動性が 低いため、強固な防御バリア、GNフィ ールドを展開。また、装甲をパージす るとガンダムナドレへ変化する。

ガンダム ヴァーチェ系統図

他のガンダムと同様、O ガンダムを母体とする第 三世代のガンダム。第二 世代のガンダムプルトー ネではGNフィールド発 生装置の試験が行われた といわれており、それが ヴァーチェに引き継がれ ている。機体自体の関連 性があるのはナドレだが、 これも直系の機体ではな く、開発の背景はまだ不 明である。



SPEC

●頭頂高/18.4m ●本体重量/66.7t

●パイロット/ティエリア・アーデ ●武装/GNパズーカ、GNキャノン、GNビームサー

GUNDAM VIRTUE

MECHANIC VIEW

UNION:

1 クラビカルアンテナ

GN粒子を制御する特殊なアンテナ。カンダム共通の装備となっている。

② GNドライヴ

GNVベズーカ・バーストモード時には、胸のカバーが展開し武器に直結される。

③ GNキャノン

背面から保持される強力な2連装ビーム 砲。フレキシブルに可動する。

4 GN粒子コンデンサ

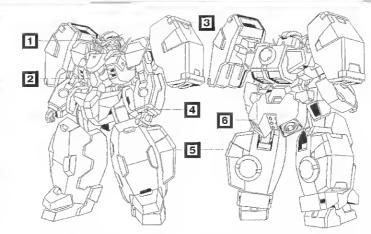
GNドライヴから絶え間なく生成される GN粒子を、一時的に蓄積できる。

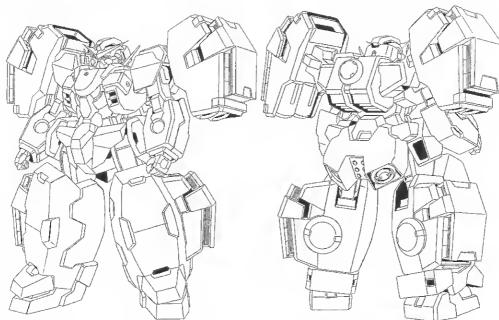
⑤ GNフィールド発生装置

GNキャノンと脚部に搭載。展開すること でGNフィールドを形成できる。

⑥ バックバック

GNキャノンのアームを支えるバックパック。





GNフィールド発生装置展開状態

めの措置だろう。

少数編成では

こうした弱点を露見させないた

スは多々ある。

が優れたマッチングを示すケー相反するコンセプト同士のほう

ュリオスと行動するケースが多

後衛に徹することで

ることも珍しくはなくなった。

ヴァーチェが機動性重視のキ

ノタオツー

などに弱点を突かれ

GNキャノンと、胸部にあるGNフィールド発生装置。圧縮した高濃度のGN 松子を用いたパリア、GNフィールドを形成できる。粒子圧縮率を調節する ことで、特性を変化させることが可能である。圧縮率特性に合わせた攻撃を 受けた場合、ビーム兵器で背通されるケースもある。

撃力の代償として機動性は大き

ェは武装そのものが肥大化、

攻

攻撃力をつきつめたヴァ

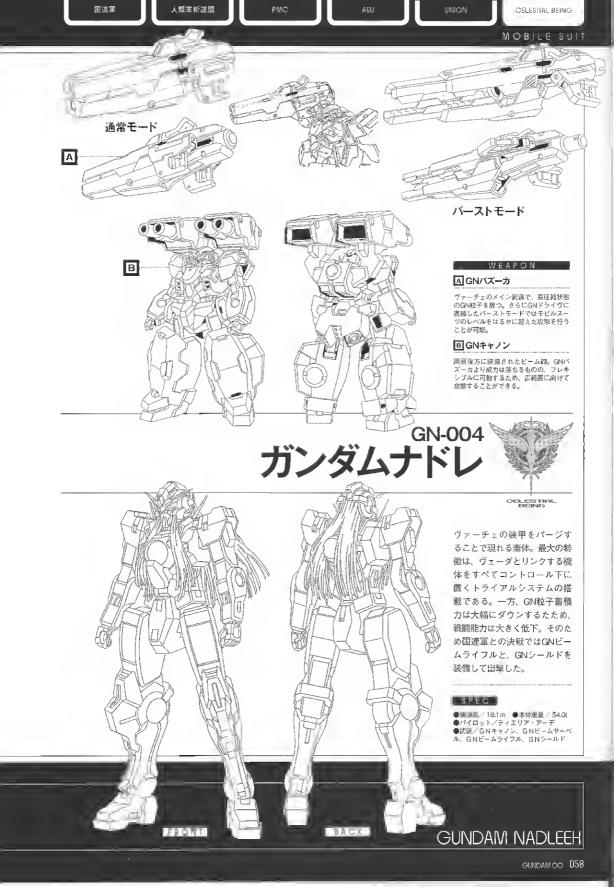
く低下した。そのためティエレ

ガンダムヴァーチェの 運用

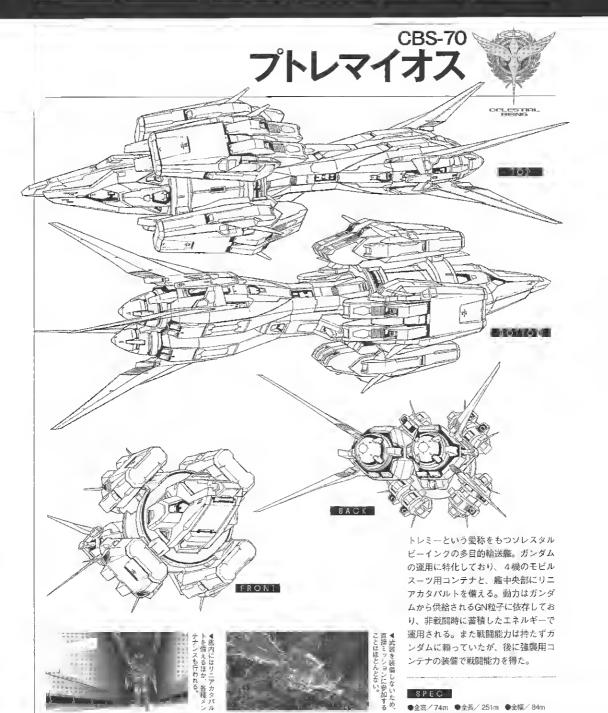


▲人革連の鹵獲作戦では、機動性が 低いという弱点を突かれ、苦手な接 近戦へと持ち込まれてしまった。

っなは都合がよかったのだろう。 密を隠すには、ヴァーチェといっての能力を装備したのと同様、なんらかの障害が発生した場合、ガンダの障害が発生した場合、ガンダの障害が発生した場合、ガンダのできが発生した場合、ガンダのできが発生した場合、ガンダのできがある。これにはエクシアが実体剣でいる。 ヴァーチェとナドー







PTOLEMAIOS

DETAIL

A カタバルト

職の中央に備えられた収納式のリニアカ タバルト。コンテナと直結しており、コ ンテナをカタバルト直上に移動させることで、射出位置へ移動できる。

③ モビルスーツ用ハンガー

プトレマイオスのコンテナ内にあるガン ダム用ハンガー。着艦したガンダムはGN ドライヴのGN粒子を鑑内へ供給するため、 接続用のアームに連結される。

○ ヴァーチェ格納時

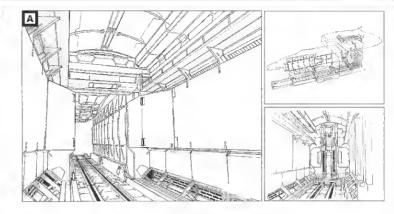
もっとも巨大なヴァーチェだが、統一規格のコンテナに格納できる。GNキャノン を展開しても格納は可能。その際、ヴァ ーチェは若干前屈した姿勢になっている。

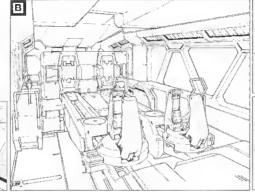
回 キュリオス格納時

キュリオスは飛行形態で格納されている。 モビルスーツ用のハンカーは各カンダム に合わせて変形して使用する。脚部固定 用の台座が機体の下面へ移動する。

亘 武器用ハンガー

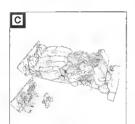
デュナメスのスナイバーライフルやエク シアのソード類など、おもに長尺物の装 備を収納するハンガー。スライド式で監 内スペースの有効利用が行われている。



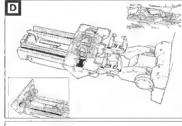


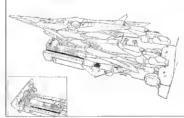




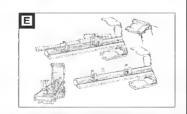


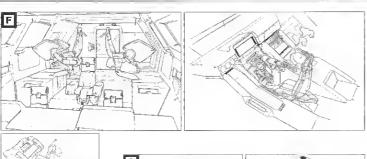








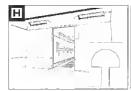
















国 ブリッシ

ミッションの指揮を行う艦の中枢。前方 に操舵士のシート、左右にオペレーター シート、中央にキャプテンシートを装備。 また後部には収納式のシートを備える。

G 医務室

プトレマイオスには医療クルーのモレノ も乗艦しており、医療体制は万全。集中 治療用のカプセルが用意されており、負 傷したロックオンの治療が行われた。

H 展望室

外の風景を見ることができる展望室で、 クルーたちの憩いの場となっている。ブ トレマイオス艦内には、こうした展望室 がいくつか用意されているようだ。

□ ブリーフィングルーム

マイスターたちにミッションの説明を行う会議室。床面にメインスクリーンと、 周囲もモニターで囲まれる。また室内に は2つの操作端末を備えている。

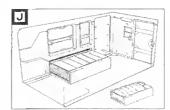
J 個室

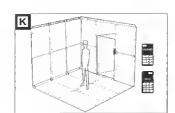
マイスターら、クルーに割り当てられた 個室。シンブルな作りで引き出し式のペ ッド備える。就寝時には、ベッドにエア ーを入れて使用する。

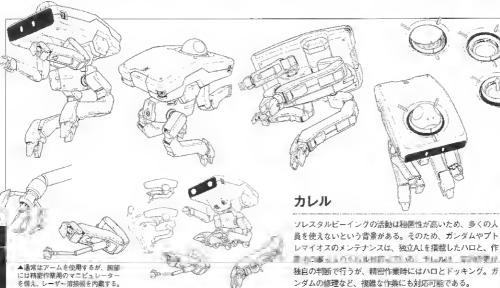
K 独房

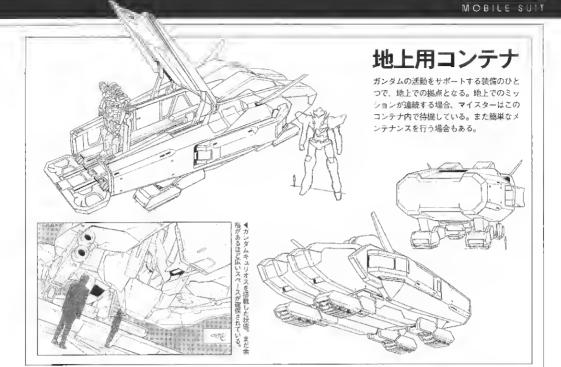
独自の判断で、人革達の低軌道ステーションを救ったアレルヤが護備のために入れられた。全面にクッションが敷きつめられているのは、宇宙船ならではの装備。

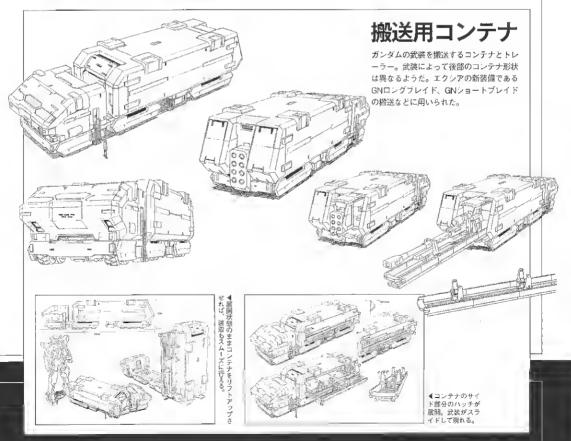


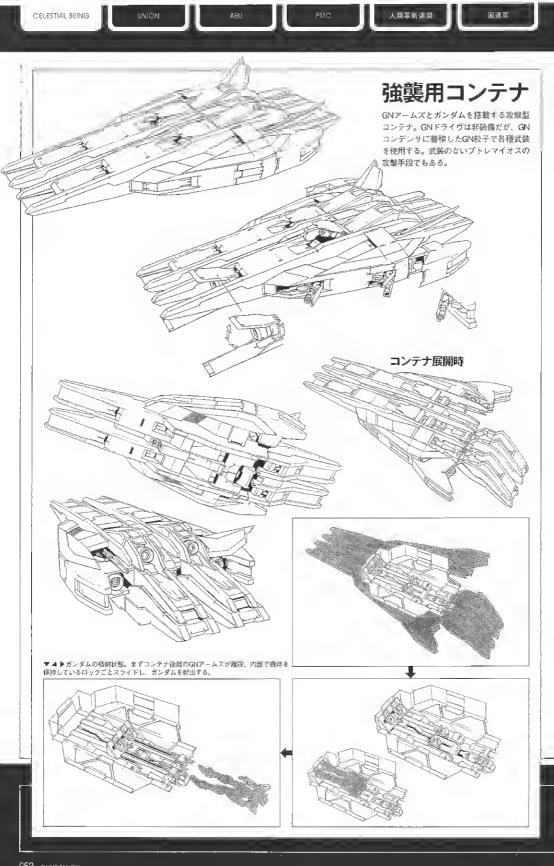
















BOTTOM

ーションが存在するようだ。 検部の装備で様々なバリエ





ガンダムの強化用に開発された支援用 サポートメカ。通常は強襲用コンテナ の後部に接続されており、分離してガ ンダムと合体した形態はGNアーマーと 呼ばれる。GNドライヴを搭載していな いため、動力源はガンダムに依存する。 だがGNコンデンサーにエネルギーを蓄 積しておけば、ある程度の活動は可能。 タイプEはエクシア用の装備で、格闘 重視の装備を搭載する。

GNアームズと強襲用コンテナの関連性

強襲用コンテナは、いままでのコンテナに代 わってプトレマイオスに装備される予定だっ た。内部にガンダムを搭載できるだけではな

く、それぞれ後部にGNアームズを搭載。出 撃時はGNアームズが分離し、コンテナ内に 搭載されていたガンダムが出撃する。

強襲用コンテナ

GNアームズ

SPEC

GN ARIVIS TYPE-E

5



1 大型GNビームキャノン

大口径のビーム砲。モビルスーツクラス とは比較にならないほどの攻撃力をもつ。

2 大型GNソード

腕部にあたる部分に装備した実刃の剣。 GNフィールドを貫通することすら可能。

3 GNビームガン

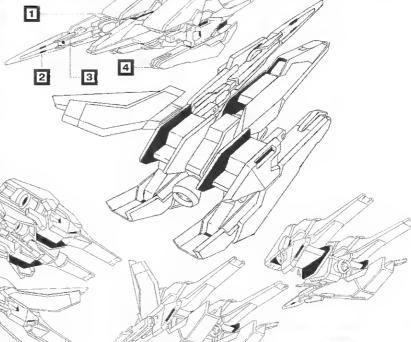
両腕部の内側に備えたGN粒子使用のビームガン。GNアームズ時でも使用できる。

4 クロー

脚部にあたる部分に装備した格闘用のツメ。下方向からの攻撃に対応する。

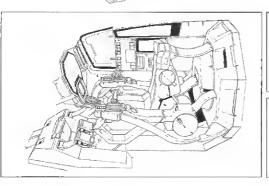
⑤ クラビカルアンテナ

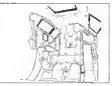
後部のウイング部分は、GN粒子制御用の クラヒカルアンテナとして機能する。



COCK PIT

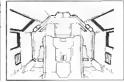
GNアームズにも独立したコクピットが設けられており、単独での運用が可能となっている。











GNアームズの運用

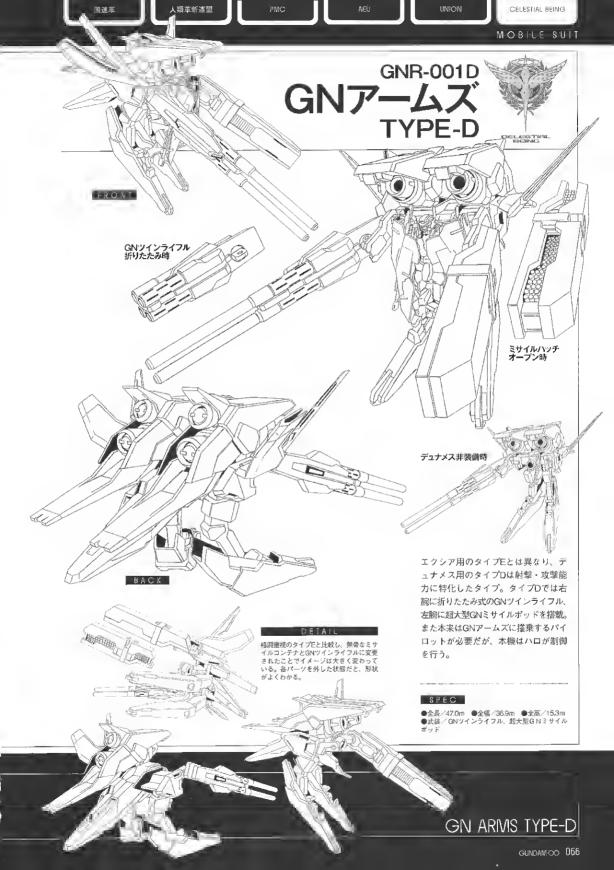


▲強襲コンテナ+ガンダム+GNア ームズによる運用が、計画の第二段 階で必要とされるのだろうか。

ワーアップするかもしれない。 で高機動型のキュリオスへとバルールではなく、特長を伸ば を補うのではなく、特長を伸ば でいたがもしれない。GN ではなく、特長を伸ば でいたがもしれない。GN ではなく、特長を伸ば でいたがもしれない。GN ではなく、特長を伸ば でいたがもしれない。GN ではなく、特長を伸ば でいたがもしれない。GN ではなく、特長を伸ば でいたがもしれない。

デュナメス用の2機のみだが

GZアームズが投入された時 サポートメカ 新たな局面を切り開く











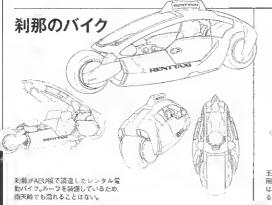


内部

アナログメーターやマニュア ル式ミッションなど、この時 代では珍しい装備。動力はガ ソリンエンジン。 ロックオンの愛車。イタリアの自動車メーカー、ランチアが1980年代に世界ラリー選手権に向けて開発したラリーカー。西暦2307年ではクラシックカーどころの騒ぎではないが、内装を含めてオリジナルの状態を保っているようだ。カラーリングは、ロックオンのパーソナルカラーであるグリーンと、ホワイトのツートーンカラー。

SPEC

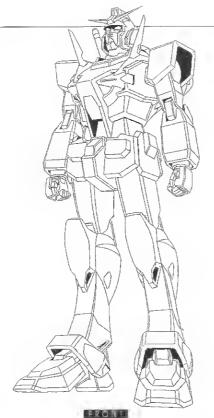
●全長/8915mm ●全幅/1850mm ●全高/1245 mm ●車両重量/1170kg ●エンジン/水冷値列4 気筒 DOHC スーパーチャージャー 2.0 ℓ (グループ B仕掛)





GN-000 Oガンダム





BACK

最初期のガンダム現在でも衰えない

瞬時にアンフをせん減している。

とアザディスタンの戦闘に介入

西暦2301年にはクルジス

への予備的テストのためという

た背景には、来るべき紛争介入 」の時代に第一世代機が起動し

▲いくら最古のガンダムとはいえ、 ンフ程度なら敵にもならなかった。



▲GNドライヴのコントロール系が第 三世代機とは違うのか、大量の粒子を



▲GNドライヴは他機体で運用された が、機体自体は保存されていた。

なかったという。 めの素材の進化も待たねばなら たりにはすでにロールアウトし の第二世代機は、2290年あ 代は定かではないが、ガンダム GNドライヴの出力に耐えるた GNドライヴの誕生はもとより、 えられている。その開発には 20年以上前に完成した機体と考 たと言われており、少なくとも である0ガンダム。その開発年 記念すべきガンダムの1号機

ヴが搭載されることになった。 暦2312年に新型機ダブルオ 移された。機体自体もフェレシ はサポートチームのフェレシテ 説が有力だ。 ーガンダムへ本機のGNドライ テによって保管されている。西 が使用する第2世代ガンダムに その後、 〇ガンダムの太陽炉

ソレスタルビーイングが開発した最古 のガンダム。第一世代と呼ばれ、後に 続くガンダムたちの原型となった。機 体中央部に搭載されたGNドライヴやビ ム兵器、クラビカルアンテナなど、 現在に続くガンダムの基本形態がすで に完成している。GNドライヴ関連の補 器類がまだ小型化されていないため、 背中のコーン部はエクシアなど第三世 代型に比べると大型である。

- ●頭頂高/不明 ●本体重量/不明
- ●パイロット/不明 ●武綾/G Nビームライフル、GNビームサーベル、 GNシールド

O GUNDAM

MECHANIC VIEW

■GNビームサーベル

初期段階からすでに実用化されていたサ ーベル。層部に1本のみ装飾されている。

2 クラビカルアンテナ

GN粒子の制御に用いられるパーツ。ガン ダムの代表的な意匠のひとつである。

3 GNドライヴ

機体中央部に搭載されるGNドライヴ。こ の方式は第三世代まで継承される。

PEAPON

4 GNビームライフル

機体サイズから見れば小ぶりなライフル。 だが性能は現在でも通用するレベル。

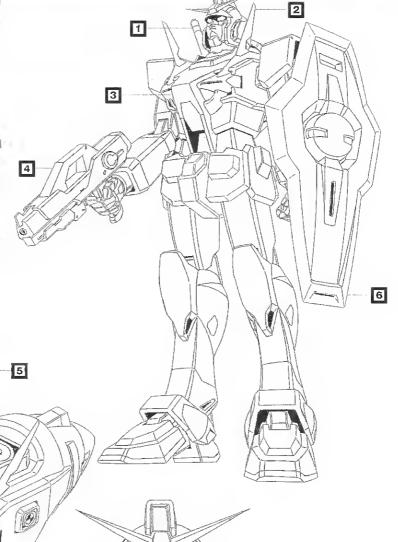
■ GNビームサーベル

ボディバーツ

右背面に1本のみ装備されている。背中 に装備するのはOガンダムのみ。

⑥ GNシールド

ハードポイントで接続するのではなく、 手で保持するタイプ。時代を懲じさせる。



頭部



GNW-001 ガンダムスローネア・ BACK ソレスタルビーイングのセカンドチー ム、トリニティが使用するガンダムス ローネの1号機。アインの特徴は、GN





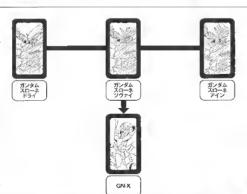


粒子を用いた強力な長距離射撃能力。 単体でも使用可能だが、他のスローネ と接続することでGNメガランチャー (3機連結時はGNハイメガランチャー) を使用可能。一撃ではなく、持続して 照射することが可能であり、要塞攻略 などで大きなポテンシャルを発揮する。

MOBILE

ガンダムスローネ 系統図

他のガンダムとはまった く異なるラインで開発さ れたスローネたち。能力 の違う3機のように見え るが、実質は装備が異な るだけでベース機は共通。 こうした措置は量産化へ 向けた性能テストのほか、 生産性も考慮していたと 考えられる。その後、ス ローネのコンボーネント を利用して、GN-Xが誕 生することになる。



SPEC

●頭頂高: 18.6m ●本体重量: 67.1t●パイロット: ヨハン・トリニティ●武装: GNランチャー、GNビームライフル、G Nビームサーベル、GNシールド

> GUNDAM THRONE EINS

MECHANIC HIEW

UNION

共通の密体を使うスローネだが、頭部形 状は各株で異なる。

2 GNビームサーベル

肩に装備される格闘戦用武器。スローネ 全搬共通の装備となっている。

3 クラビカルアンテナ

GN粒子の制御に用いられる特殊なアンデ ナ。ガンダムの特徴的な装備のひとつ。

4 ハードポイント

各種装備用のアタッチメント。おもにGN ハンドガンが装備される。

5 GNドライヴスターター

停止した疑似太陽炉を始動する。大規模 な基地で整備できないスローネには必須。

機体は3機共通のスローネだが、頭部形 機体はる複数通り入口ーイだが、誤認が 状のみは異なる。これは各武装に対応し た頻節が採用されたためだろう。アイン の場合、特徴は巨大なプレードアンテナ。 の場合、特徴は巨人なフレートアンテナ。 これはおそらく、指揮官機としての役割 をもたされているため、通信能力が強化 されているのだろう。また、砲撃時にド ライとの綿密なデータリンクを行うとい う側面での強化であったのかもしれない。

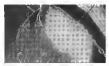
ガンダムスロー ーネ系の



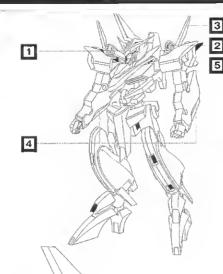
▲アインに対し、ツヴァイ、ド はGN粒子供給を行える設計だ。 ドライ

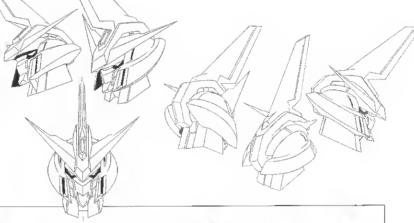


ムの切り込み役のツヴァイ。 戦況を問わないオールラウンダー



▲ジャミングや崇敵に特化したドラ イは今までにないタイプのガンダム。





ンド構造を採用。また機体各部 フレームの一部としたダイヤモ ためGNドライヴ本体をメイン えているのも特徴だろう。 へGN粒子の移送を行うのはコ 機体構造も特異で、 軽量化の

視野に入れた機体構造将来的な量産化を

ものの、 あり、 ばエネルギー GN粒子変換炉で ライヴは停止してしまう。 それゆえ電力供給が途切れると、 機関ではなく、電力供給によっ 呼ばれるタイプ。これは半永久 赤い粒子を放出するT(タウ)と まず搭載するGNドライヴは 徴はエクシアら他の4機とは根 幹としての技術に共通性はある そのため、 オリジナルとは異なり、 本的に異なる開発ラインである。 スター GN粒子を発生させるもの。 Nドライヴや装甲材質、 それが疑似GNドライヴ ター れる所以となっている。 ガンダムスローネの特 GNドライヴ本体に (始動用装置) G N F を備 スローネは共通のベース機に ダムは個々に異なる設計だが、 だろう。 をもつ点も特筆すべきポイント 武装と装備を変更することでそ とはまた異なった方向性だ。 れぞれの特色を表している。

して行動することが前提で、 の機能に特化したエクシアら

単

その装備も3機が1チームと

のため、 あると感じずにはいられない。 の特色から導き出されたもので 汎用性をみると、 テストしていたのではないだろ がらそれぞれ異なる装備をトラ GN-Xのベース機でもある。 理由にあるだろう。スローネは なる量産型に求められるのかを このような仕様となった背景 完成したGN・Xの優れた どのような性能が後継と おそらく後継機の開発が 共通する素体を用いな スローネ各機

用した。 体の中に直接流し込む方式を採 ド式ではなく フレー

そ

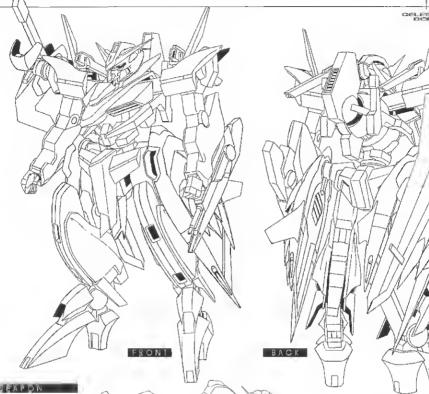
7

3機とも共通の素体

エクシアら4機のガン







GNファング

無線式追線武器。高速で移動しつつ、先端から放つビームで多方向から攻撃する。 打突攻撃も可能。全8機搭載されているが、 通常の戦闘では6機を使用。



頭部

頭部は他の2機と比較すると特色はなく、 汎用性の高い形状となっている。

ガンダムスローネ2号機。トリニティ の中では前衛的ポジションを務める。 GNバスターソードは、高密度のGN粒 子を注入した、実体剣とビームサーベ ルの利点を両立した武器。さらにGN粒 子の重量軽減効果で、斬撃の瞬間に最 大荷重をかけ、威力を増幅できる。また、 ガンダムとしては初採用の遠隔武器GN ファングを用いることで、単機でも多 勢を相手に優れた戦闘能力を発揮する。

SPEC

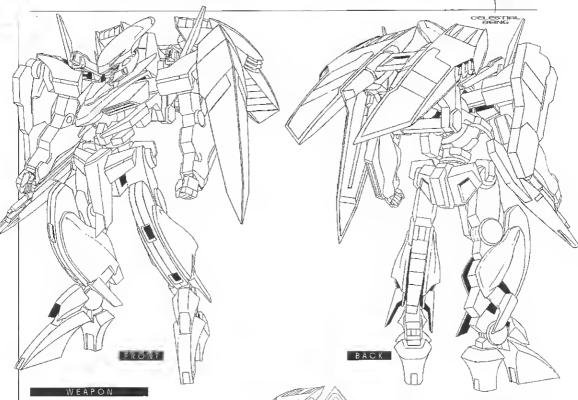
- ●頭頂高:18.6m ●本体単量:67.1t ●パイロット:ミハエル・トリニティ、アリー・アル・ サーシェス ●武装:GNファング、GNハンドカン、 GNバスターソード、GNビームサーベル

GUNDAM THRONE

人類革新連盟 CELESTIAL BEING

GNW-003 ガンダムスローネドラ





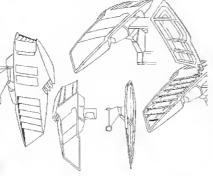
バックパック

GN粒子を大量放出することで、広範囲の レーダー機能を妨害する。GN粒子の妨害 機能はガンダム共通の性能だが、ドライ はこれをさらに強化した能力をもつ。



頭部

情報処理能力を高めるためか、頭部形状 は大型化。収集した膨大なデータはネー ナのみが処理できる量ではないため、補 助としてハロが搭載されているのだろう。

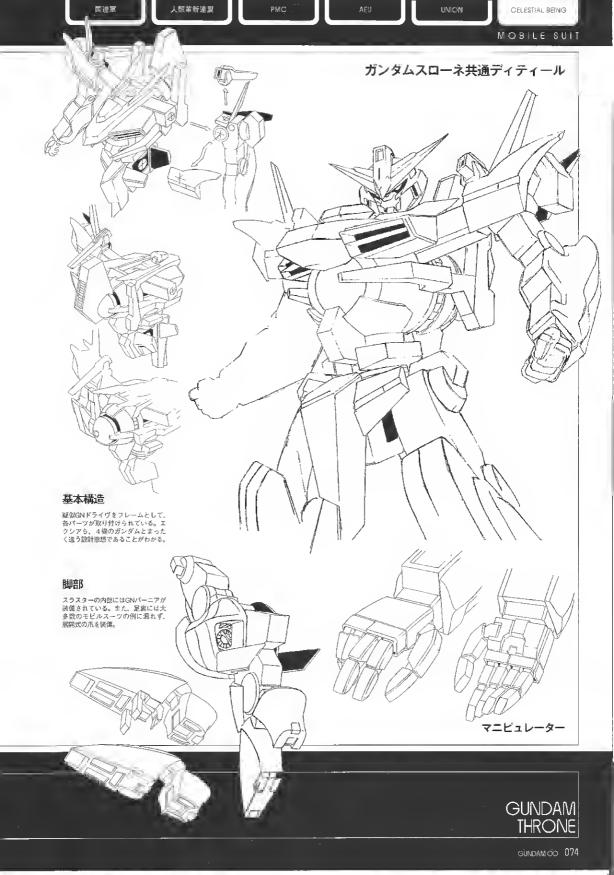


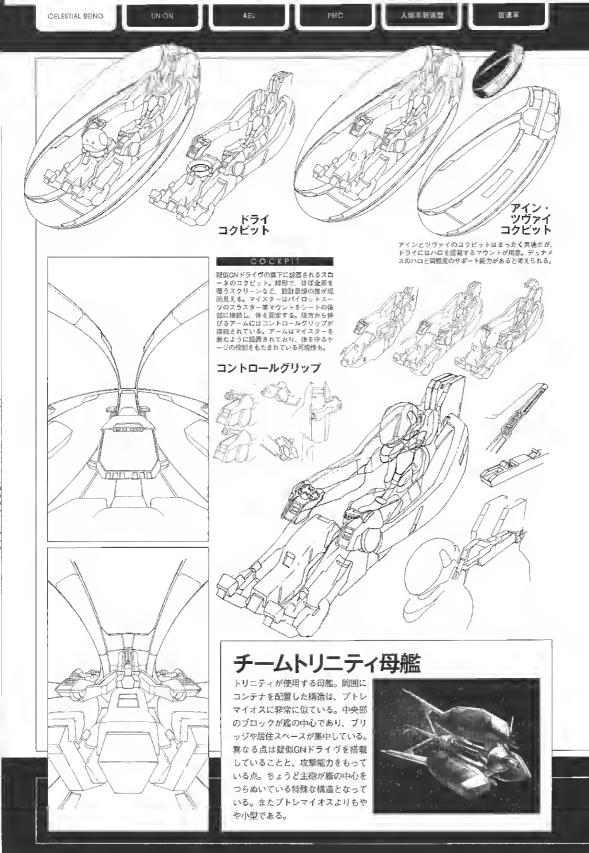
ガンダムスローネ3号機。索敵やかく 乱などに特化したサポート型で、スロ ーネアインへのエネルギー供給など、 様々な役割を担う。背面には巨大なGN 粒子発生装置を備え、GNステルスフィ ールドを展開、これまでにない広範囲 のジャミングを可能にした。最低限の 攻撃能力は確保されており、スローネ 共通のGNビームサーベル、ツヴァイと 共通のGNハンドガンを装備する。

SPEC

- ●譲頂高: 19.4m ●本体重量: 67.7t ●パイロット: ネーナ・トリニティ ●武装: GNステルスフィールド、GNハンドガン. GNビームサーベル、GNシールドポッド、GNシ

GUNDAM THRONE DREI

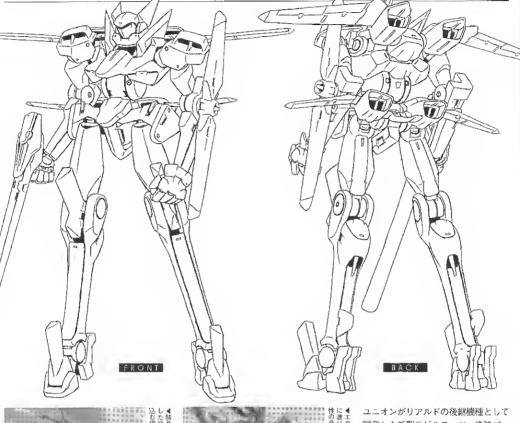




人類革新達盟









懐に飛び

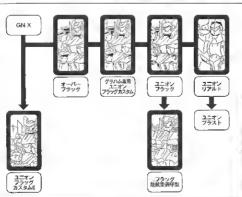


() ほりあうなど、機体の素

開発した新型モビルスーツ。換装パー ツなしで飛行タイプへの変形を実現し たほか、4基の水素プラズマジェット エンジンを搭載し、高い空戦能力とモ ビルスーツ性能を実現した。燃料であ る水素はカーボン製のフレームの炭素 分子結合体内に分子レベルで注入され ており、爆発などの危険性はなく、さ らに燃料タンクを装備する必要もない。

ユニオン モビルスーツ系統図

リアルドの純粋な後継機 であるブラストを破って 採用されたフラッグ。ロ ールアウトして間もない が、ガンダムの出現もあ って、短期間で強化改良 型のオーバーフラッグへ の移行が決定された。 元々局地専用のバリエー ションは少ないようだが、 一部には対ティエレン対 策か陸戦型もある。



SPEC

- ●預頂高/17.9m ●本体重量/67.11 ●パイロット/グラハム・エーカー ●武鉉/リニアライフル、ソニックラレイド(プラ ズマソード)、ディフェンスロッド

UNION FLAG

MECHANIC VIEW

UNION

1 センサー素子

超小型センサー素子がフェイスを構成。 様々なパターンを発光させることも可能。

2 ハードボイント兼コネクタ

財、脚部分に設けられており、デイフェンスロッドなどのオプションを装備する。

③ コクビット

中央のドラム部分にコクピットを内蔵。 腰部にはサブコクピットを備える。

4 20mm機銃

威力は弱くミサイルの迎撃や、対人、対 車両用攻撃などに用いられる。

5 下方センサー

機体各所のセンサーで収集した情報は コクビット内のモニターに集約される。

⑥ ミサイルラック

空力を意識してミサイルは内蔵式に。ミ サイルは翼下や脚部の間に増設可能。

7 脚部スラスター

脚部に設けられた補助推進装置。グラハム、マニューバーでの逆制動にも使用。

B チャフ・フレア・ディスペンサー

円形状の部分から、レーダーや赤外線誘 導をかく乱する物質を散布する。

9 ソール部

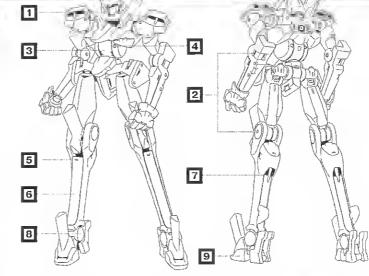
胸部の底面は硬質メタルラバー製。

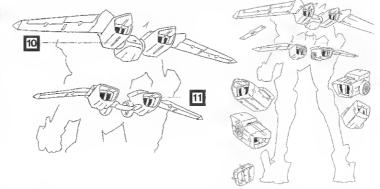
1個 フライトユニット

メインとなる水業プラズマジェットエン ジン。アタッチメント式で取り外し可能。

11 サブプライトユニット

腰部に装備される水素プラズマジェット エンジン。背面のエンジンよりやや小型。





フラッグ系の運用



▲ガンダムさえ除けば、この時代で 最先端の機体であった。



▲ガンダムへの対抗措置として、 らなる機動性の向上が図られる。



▲最終的には全フラッグのオーバ-ッグ化が検討されていた。

スーツ運用面での充実も、 りやすいエピソードだろう。 での活動を指し示すものだろう。 中輸送機や航空母艦などモビル 対する素早い対応なども、こう したユニオンの姿勢を表すわ アザディスタンの内戦危機に

シャルの高さがうかがえる。

が融合した意味

統合は、

すでにユニオンでは、

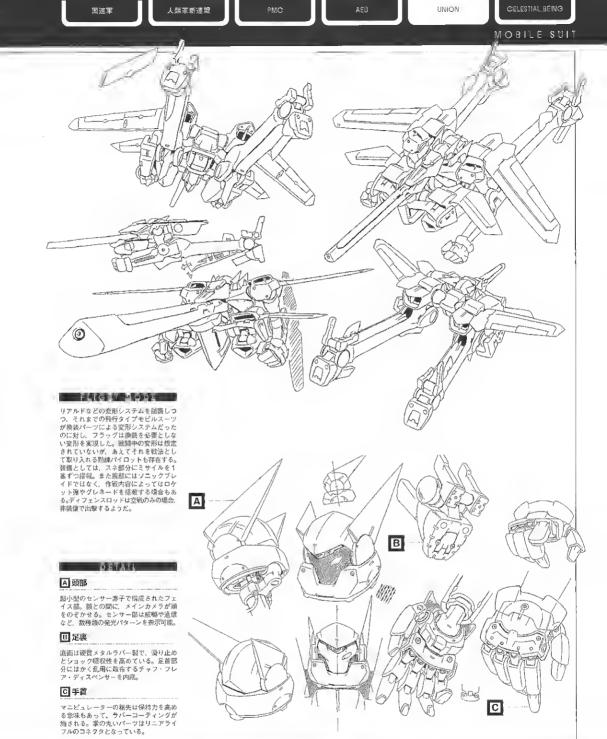
フラッグが戦力の中心 兵種の統合という側 航空機とモビルスー

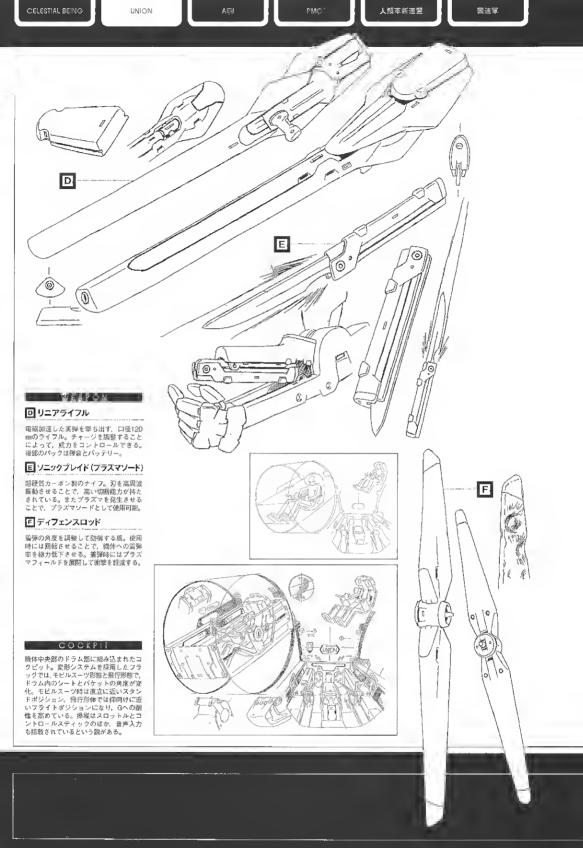
になっていたと考えられる。

勢力の成長につながっていたの 明だが、微妙なバランスに保た 目標を早期に達成していた。 初めにそれを反映した機体であ までの開発コンセプトとなった。 モビルスーツと航空機の融合を かもしれない。 れた世界ゆえ、 この世界でどれほど重要かは不 性も捨てきれない。 どの名目による海外派兵の可能 防衛目的もあるが、 コンセプトを抱いた背景には ニオンが当初から飛行型という るリアルドは換装型だったが 目指しており、 ユニオンは他陣営に先んじて それがフラッグ 加盟国の増加は 領土拡大が 治安維持な

もあり、 ラッグも、 向性と考えられる。最大のメリ としては正しいものだろう。 が自然だ。それは陸戦型に歩み フラッグは対ティエレンを視野 本来の空戦力で旧型機にすら劣 に入れて開発されたと考えるの 面をもつが、 その トである機動性を失っては 後に投入されたオーバーフ より機動性を高めた方 方で陸戦強化型タイプ フラッグがもつポテン 急造のためか扱い難 将来的な方向性

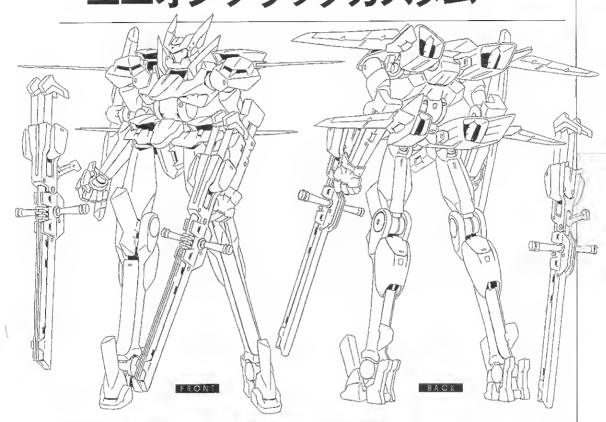
をつきつめればいいが、ユニオ 必要な強度との両立は難し 相手が飛行タイプなら、 敗型のティエレンが含まれる。 が想定する敵機には当然 おそらく投入された時代から 必然的にモビルスーツに 軽量な航空機であるこ





SVMS-01E グラハム専用 ユニオンフラッグカスタム









フラッグの開発者、レイフ・エイフマ ン教授の手で、グラハム専用機として 強化が図られたカスタム機。常識から 逸脱した改修を行い、通常のフラッグ に比べ戦闘時の巡航速度は2倍。だが その代償として全速旋回時には12Gと いう負荷がかかるため、一般のバイロ ットでは扱うことはできない。

ユニオンフラッグからの変更点

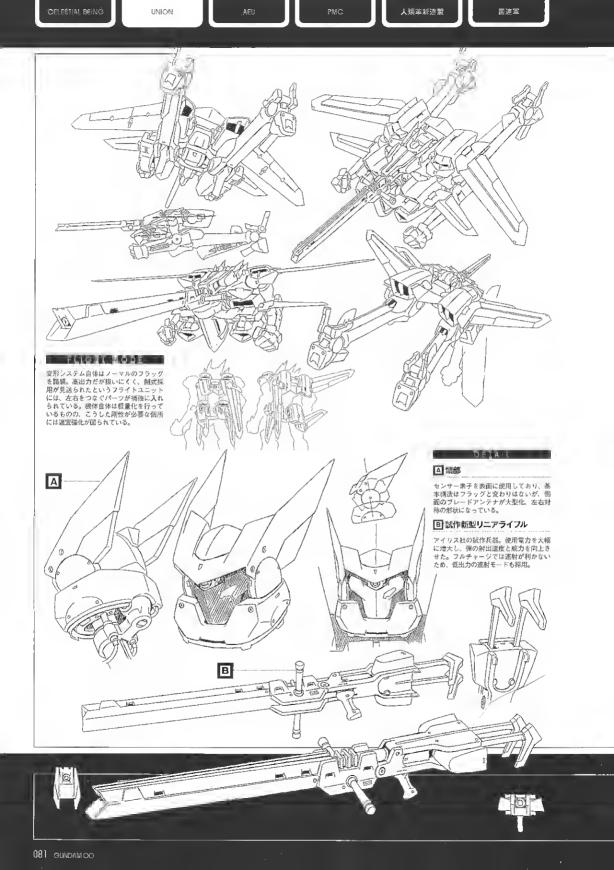
試作ライフル、ガンダム戦を意識し た対ビームコーティング、制式採用 から外れた高出力フライトユニット を採用。機体の水素吸蔵率を下げつ つ、装甲材込みの軽量化も行われた。



SPEC

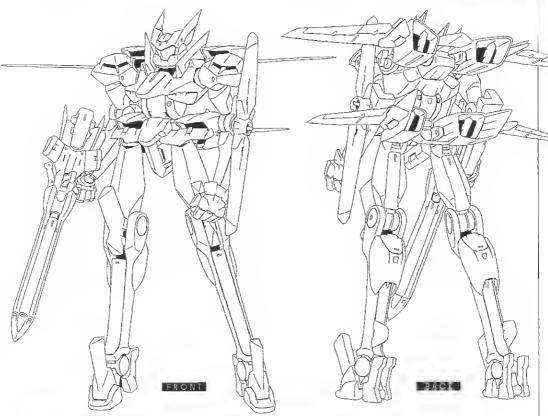
- ●顕頂高/ 17.9m ●本体重量/ 66.6t ●パイロット/グラハム・エーカー ●武装/試作新型リニアライフル、ソニックブレイ ド (プラズマソード)、ディフェンスロッド

GRAHAM'S UNION FLAG CUSTOM

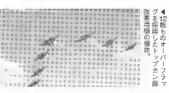


オーバーフラッグ











対ガンダム調査隊を母体に発足した 第8独立航空戦術飛行隊、オーバーフ ラッグス。同部隊にはユニオン各部隊 のトップガンが集結。機体にはパーソ ナルエンブレムが彩られている。







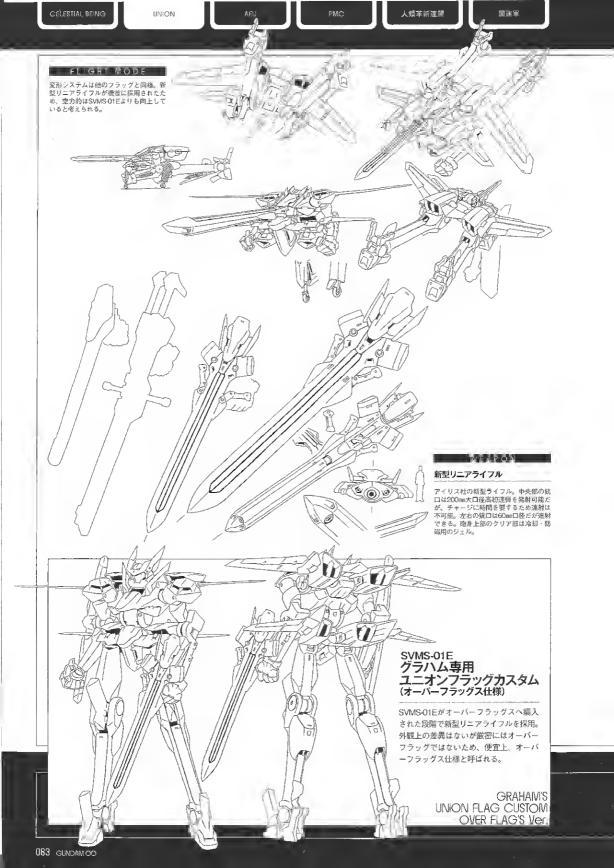
ジョシュア概

スチュアート機

ランディ探

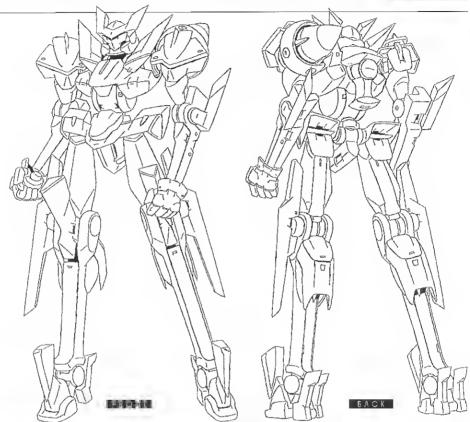
SVMS-01Eをベースとしたカスタム機。 高出力型のフライトユニットの採用、 耐ビームコーティング塗装、新型リニ アライフルの採用、装甲材質も含めた 軽量化など、変更点はSVMS-01Eに準 じている。パイロットへの負担は軽減 されたカスタム機で、オーバーフラッ グス隊へ支給されている。

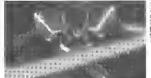
- ●頭頂高/17.9m ●本体重量/69.7t ●パイロット/パワード・メイスン、ダリル・ダッジほか ●武装/新型リニアライフル、ソニックブレイド(プラズマソード)、ディフェンスロッド



SVMS-01X ユニオンフラッグカスタムⅡ







こく僅かな時間しか耐えら▼機体性能は向上したが、



フラッグにGNドライヴ[T]を搭載した カスタム機。ユニオン用に提供された GN-Xのうち、1機を解体して製作され た。本来、フラッグはGNドライヴの搭 載を想定していないため、機体バラン スは狂ったが、ガンダムに匹敵する性 能を得た。武装はガンダムスローネア インから奪ったビームサーベル。

A ディフェンスロッド

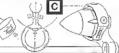
動きを妨げないためか小型化。 腕部と脚部にも装備されている。

B GNビームサーベル

肩部にGNドライヴをダイレクトに接続して使用する。

CGNドライヴ (T)

通常は背中に装備され、サーベ ル使用時は肩に移動される。

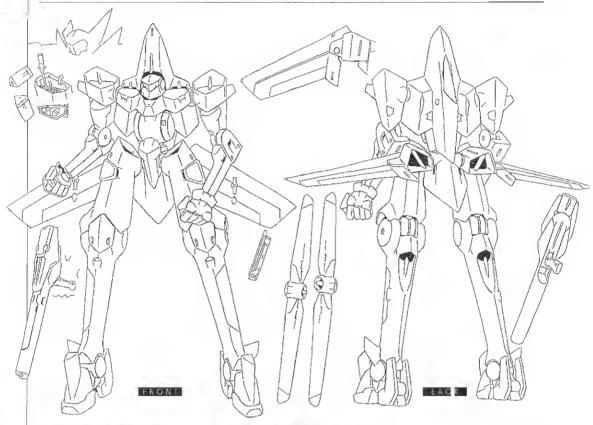


- ●頭頂高/ 17.9m ●本体重量/ 74.2t ●パイロット/グラハム、エーカー ●武族/ GNビームサーベル

UNION FLAG, CUSTOM II

ユニオンリアルド









フラッグ以前 こ主力であったユニオン の量産型モビルスーツ。ユニオン参加 国などにも配備されており、国によっ てカラーリングが異なっている。上半 身と下半身は分離式で、機体そのもの を質量弾として使用するケースもあっ た。すでに旧式となっているが、バリ エーションに陸戦型などがある。

FLIGHT MODE

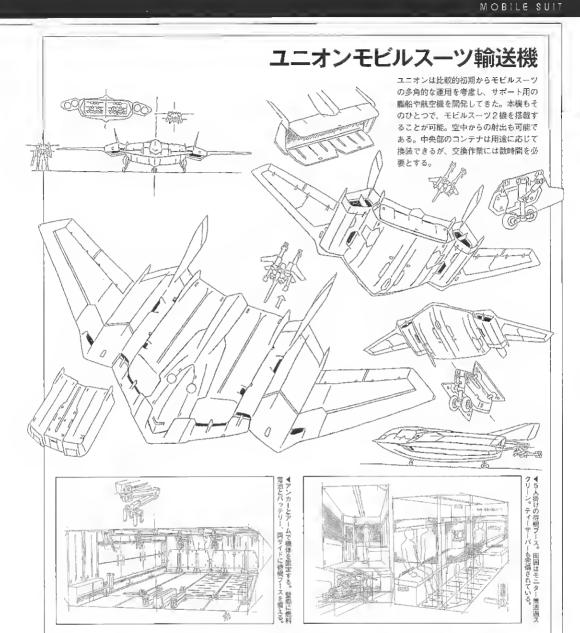
変形機構はフラッグに 継承されるシステム。 だがフラッグとは異な り換装パーツが必要で。 事前に換装作業を行う ことが必要である。

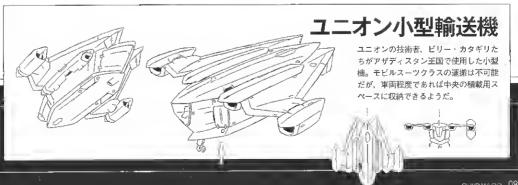
SPEC

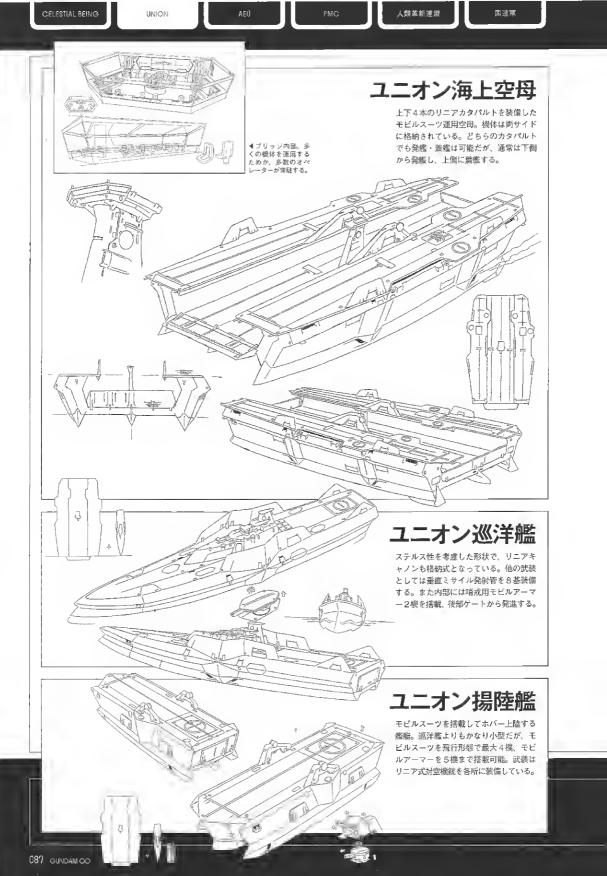
- ●頭頂高/15.3m(全高17.7m) ●本体筆量/60.0t ●武装/リニアライフル、ソニックブレイド、ディ フェンスロッド

UNION REALDO

085 GUNDAM OO

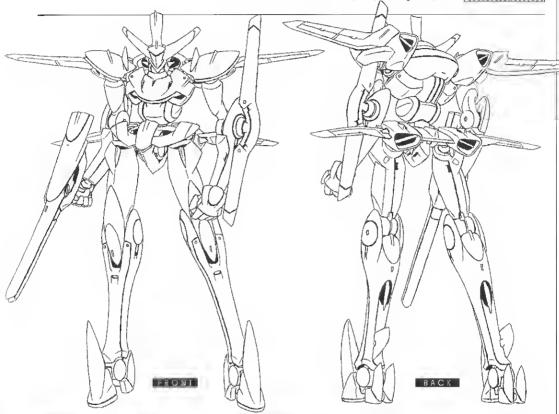






AEU-09









◆運式量産型はデモ機 ングを採用した

軌道エレベーター開発に立ち遅れた AEUが、その技術力を誇示するために 開発した新型機。ユニオンのビリー・ カタギリが指摘したように、フラッグ に酷似した設計である。だが軌道エレ ベーターから電力を受信できる太陽光 発電対応型である点はフラッグと同じ ながら、勢力内の受信連携体制を整備。 これにより、AEU領内であれば理論上 は無制限の稼働時間を獲得した。

AEU モビルスーツ系統図

長年主力を務めてきたへ リオンの後継機種として 開発されたイナクトが. 西暦2307年にロールアウ ト。その設計にはフラッ グの影響が強いが、どの ような交流があったのか、 もしくは技術が漏えいし たのかは定かではない。 モビルスーツの輸出に積 極的なAEUらしく、PMC トラストなどにも機体が 提供されている。



SPEC

●関資高/17.9m ●本体重量/66.8t ●パイロット/パトリック、ユーラサワーほか ●武装/リニアライフル、ディフェンスロッド、ソ ニックブレイド(プラズマソード、脚部ミサイル

AEU ENACT

MECHANIC VIEW

1 センサー素子

超小型センサー素子と光学カメラの組み 合わせ。機能はフラッグと同様。

2 サブセンサー

首パーツに装備したセンサー。このほか 機体の各所にセンサーは設置されている。

3 電力受信アンテナ

頭部のアンテナと肩の突起状のパーツで、 軌道エレベーターからの電力を受信。

4 ハードボイント

肘、脚部に設けられているオプションラッチ。デイフェンスロッドなどを装備。

国 コクピット

コクピットは機体を接続する中央部のド ラムの内部に備える。

6 20mm機銃

小口径の実弾兵器。ミサイルの迎撃や、モ ビルスーツの対人、対車両用攻撃に使用。

7 下方センサー

サブセンサーと同様、集約した情報はコ クピット内のモニターに集約される。

国 ミサイルラック

左右のすね部分にそれぞれミサイルを搭載。用途によって搭載物の変更が可能。

9 チャフ・フレア・ディスペンサー

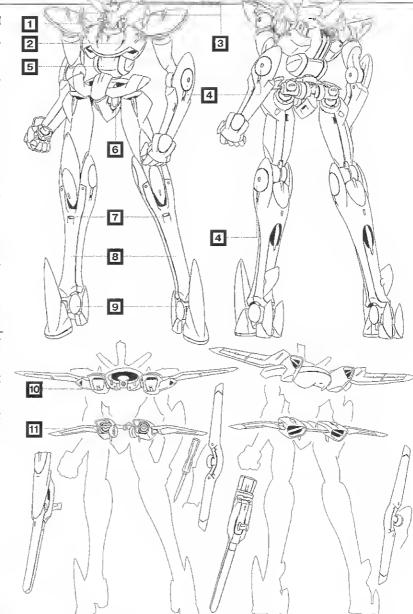
足首の円形状パーツから、レーダーや赤 外線誘導をかく乱する物質を散布する。

1回 フライトユニット

メインの推進機となる2基の水素プラス マジェット。取り外すことも可能。

田 サブフライトユニット

メインよりもやや小型の水素プラズマジェットエンジン。腰部に2基装備される。



イナクト系の運用



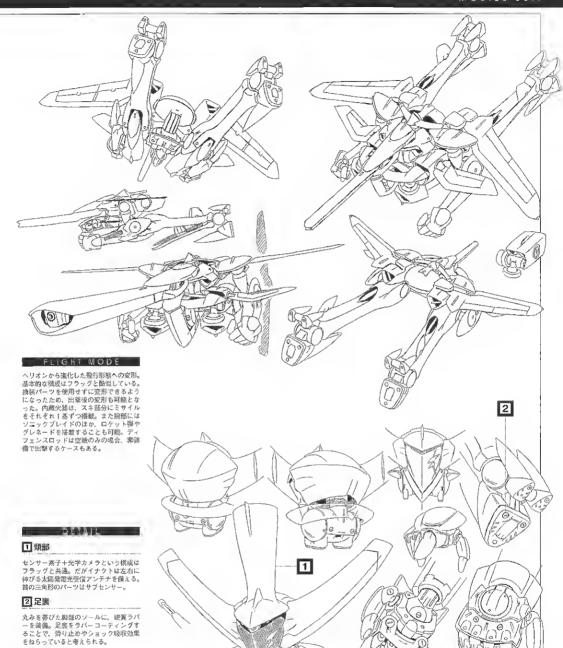
▲ガンダムとGNドライヴの登場が なければ、他のイナクトバリエーシ ョンが開発された可能性もある。

されていたかもしれない。 なバリエーション、運用も想定 将来的にはこうしたヘリオン的 アウトしたばかりだったが イナクトは新型機として口 性が見えてくる。

刀機として運用されていた可 たけではなく、兵種を超えた主 機とモビルスーツの融合という

推し進めていたのかもしれない の目的があったと推測されるが、 開発されたものだろう。 モビルスーツ運用AEUの多角的な ろう。その一方で、 統合戦闘攻撃機と言えるものだ なそのバリエーションはまさに AEUではさらにその考え方を の統合」というユニオンと同様 れている。 「撃、偵察などヘリオンの豊富 その背景のひとつには 単純に航空

空戦型を統合した機体だと言わ ウトしたヘリオンは、陸戦型と 発体制からユニオンの影響は濃 いと思われ、リアルドを参考に 西暦2290年代にロー おそらくAEUの開

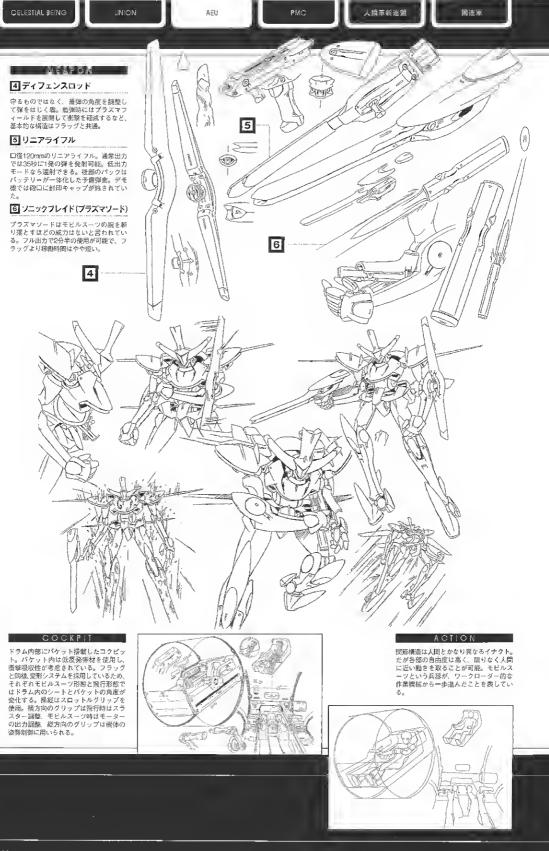


3

③ 手首

マニピュレーターの先端部は、滑り止め と保持力を高めるため、足裏と同様のラ バーコーティング処理。手の平の丸いパ ーツはリニアライフルのコネクタだ。

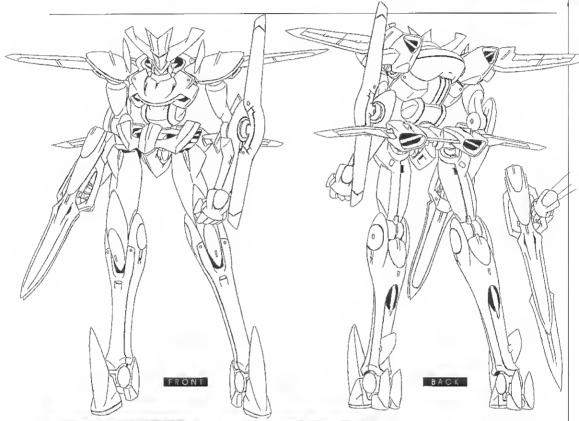
AEU ENACT



MOBILE SUIT

AEU-09 Y812 サーシェス専用 AEUイナクトカスタム











PMCトラストで改良され、サーシェス に提供されたカスタム機。そのため型 式番号も変更になっており、試作機を 示すYという表記のほか、以降の数字 はカテゴリー81機種目の2番目の機体 であることを表している。サーシェス の希望で、機動性を向上するための軽 量化や、内蔵火器の変更が行われた。

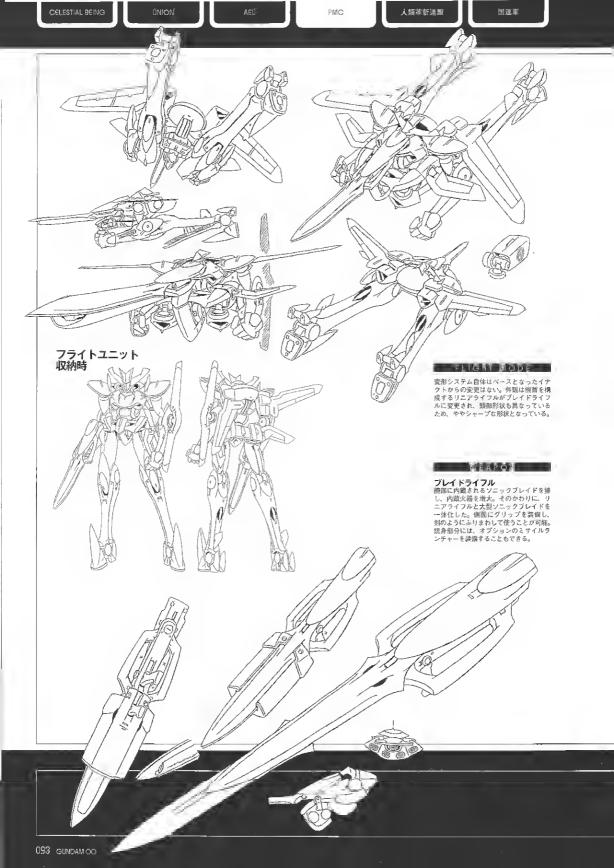
AEUイナクトからの変更点

腰部装甲も異なっている。また肩と 頭部の太陽光発電対応受信アンテナ が大型化し、パワー供給量が増大した。 その理由は将来的にビーム兵器の搭 載を目指していたからだという。



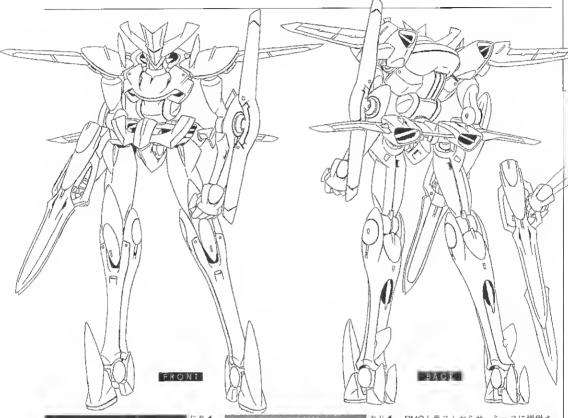
- ●頭頂高/ 17.6m ●本体型量/ 66.2t

SAACHEZ'S AEU ENACT



AEU-09 Y812/A サーシェス専用 AEUイナクトカスタム アグリッサ型







与え、エクシアを捕獲寸前



PMCトラストからサーシェスに提供さ れたイナクトのカスタム機。装甲を犠 牲にして運動性の向上を図るなど、独 自のチューニングが施されている。モ ラリアでの合同演習では濃紺の機体色 だったが、アグリッサのコアユニット として使用するため、プラズマフィー ルド対応の特殊塗装に変更された。

11 ブレイドライフル

ソニックブレイドを排除したため、リニ アライフルにカーボンブレイドを装備。

② ミサイルランチャー

ライフルに装着可能。内蔵する4発のミサイルは、14発の子弾に分散する。

1

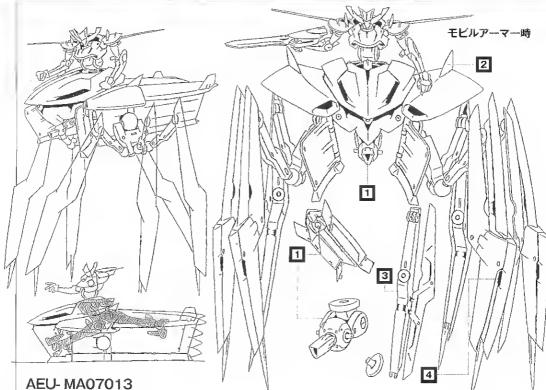
SPEC

- ●頭頂高/17.6m ●本体重量/66.2t
- ●パイロット/アリー・アル・サーシェス ●試験: ブレイドライフル、ミサイルランチャー、ディフェンスロッド、ソニックブレイド (プラズマソード)、湖醅ミサイル、グレネード、カーボンダガー



2

SAACHEZ'S AEU ENACT CUSTOM



AEU- MA07013 アグリッサ

MECHANIC VIEW

1 ブラズマキャノン

機首に装備された宛。モビルスーツサイ ズでは不可能な攻撃力を実現している。

2 電力受信アンテナ

機能はイナクトの電力受信アンテナと共 通。膨大な電力消費を支えている。

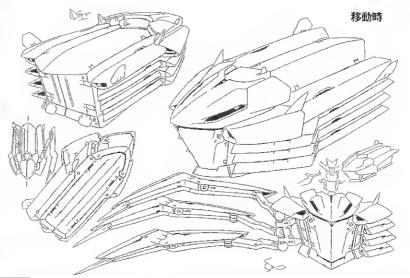
③ プラズマフィールド発生装置

脚部の円状のパーツが発生装置。8本の 脚で敵機体を取り囲んで展開する。

4 リニアリフレクター

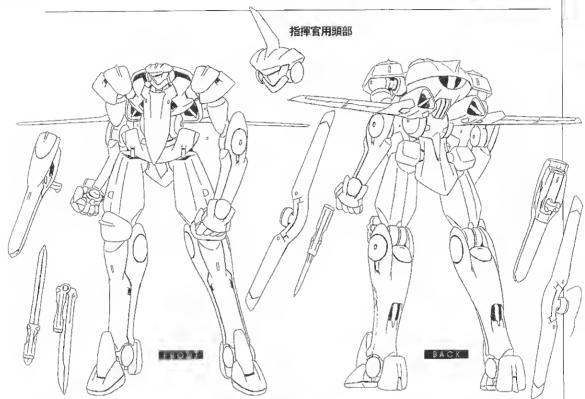
脚部側面に装備される。磁性化誘導物質 を放出し、敵継体の動きを封じる。

第5次太陽光紛争で活躍したモビルアーマーで、パイロットに 多大なダメージを与えるプラズ マフィールドを装備。イナクト を搭載することで、現在でも通 じる性能を獲得した。



AEU-05 ヘリオン







ミサイル

コンテナ





もヘリオンの特徴。

●リニアシールド装備型な

AEUの可変型モビルスーツ。西暦2292 年に初期型がロールアウトし、以後10 年以上も主力機として活躍してきた。 その設計思想はユニオンリアルドに酷 似しており、イナクトと同様の手法で 開発されたと考えられる。イナクトが 開発されたために一線から退きつつあ るが、他国ではいまだ現役で活躍。ま た様々な派生型は、特定の作戦では第 一線で活躍している。

国外へ輸出される ヘリオン

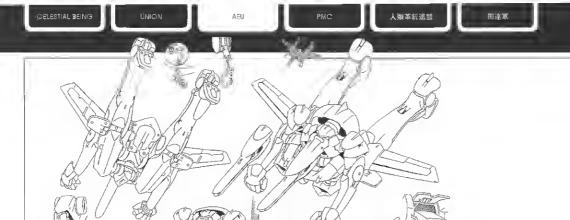
生産年数が長いため、多 くのマイナーチェンジと バリエーション機を生み 出したヘリオン。いくつ かのバージョンは、AEU 参加国家や、PMCトラス トなどAEUと関わりの深 い民間軍事会社へ納入さ れ、西暦2307年時でも 多数の機体が配備されて いる。イナクトの配備が 遅れているため、主力機 として活躍していた。

SPEC

- ●頭頂高/ 15.4m ●本体重量/ 58.2t ●武装/リニアライフル、ディフェンスロッド、ソ ニックブレイド、脚部ミサイル

い塗装が特徴。

AEU HELLION



FLIGHT MODE

飛行モードへの変形はシンプルな構造のために信頼性が高く、目立ったデメリックトにも採用された。主翼は小型で1枚のみ、ブラズマジェットエンジンの数もかなく、や心もとない構成だが、空戦ではいまだに高い性能を見せる。 着陸脚は設と脚路に収納。また脚路のウェボンベイにはナサイルのは、カージャイズのソニックブレイドも搭載できる。

DETAIL & WEAPON

1頭部&足裹

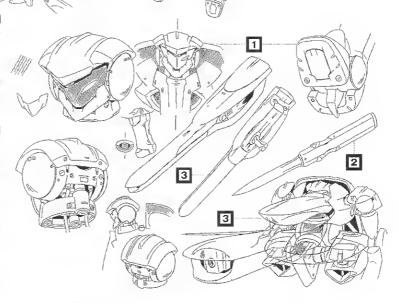
顕部にセンサー素子を全面に使用する構造はユニオン、AEU共通の手法。指揮官機には顕部にツノが装備されている。足裏は他のAEU機と同様、硬質ラバー製。

② ソニックブレイド

超硬質のカーボン製の剣。刃を高周波振動させることで、すぐれた切断能力を発揮する。イナクトと異なり、まだプラズマソード機能は搭載されていない。

3 リニアライフル

弾頭を電磁加速させて打ち出す武器。口 後はイナクトと同じ120mmだが、形状は ショートバレル。バッテリーの消耗度な どで、新型に分があるのかもしれない。



ヘリオン テロリスト仕様

積極的な輸出で生産数の多いヘリオンだが、その一方でテロリストの手に渡ることも珍しくはなかった。 執道エレベーター天柱の10周年記念パーティを襲ったのも、テロ組織ラ・イデンラが使用したのもヘリオンである。 入手しやすいからか、テロリスト 御用遠のモビルスーツといえば、アンフか 何リオンという状況だ。 特に天柱の襲撃には宇宙用のヘリオンが用いられており、所を問わずテロの危険にさらされる時代となっている。 これもモビルスーツが爆発的に普及した結果だろう。

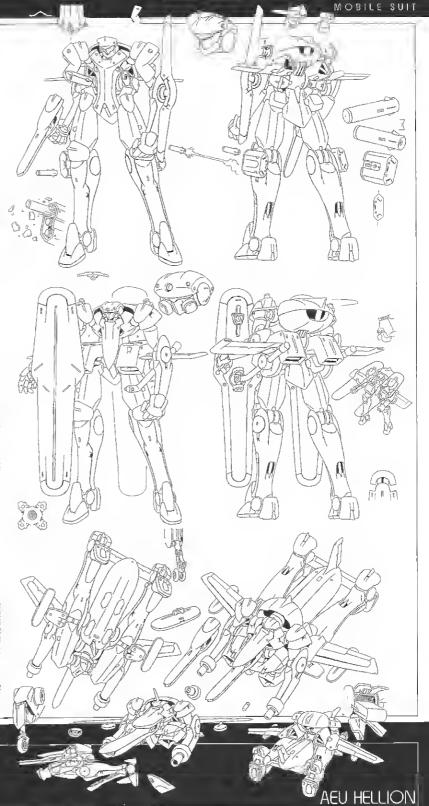
陸戦能力を整化したヘリオンのパ リエーション機。アタッチメント スの装甲を胸部や肩部に増設した ほか、解部には105mm 2 速リニア モーを装備している。また両っ 一を装備している。飛行能力は影識されている。飛行能力は影識されている。飛行能力は影識されている点も特別を ることはできないものの。滑空することは密能であり、滑空することはできないものの。滑空度の 緩動性は破保されているようだ。

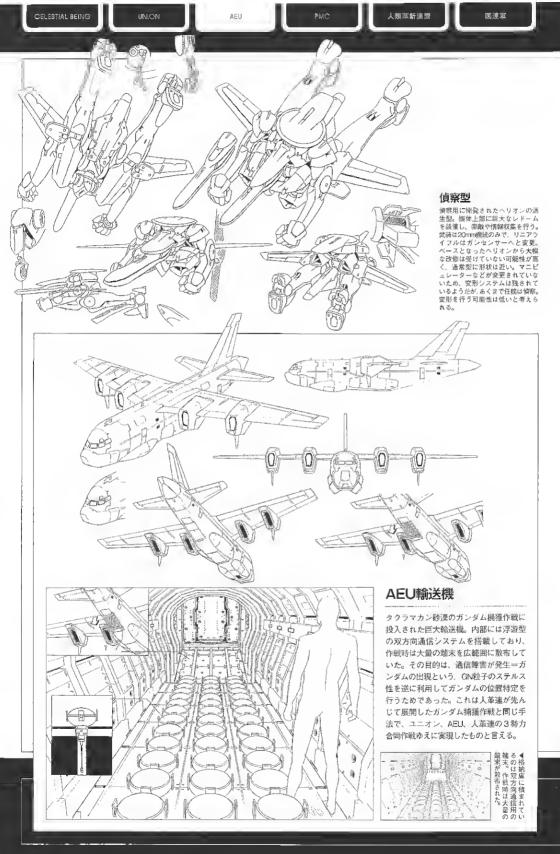
捕獲型

ガンダム補張に用いられたヘリオンの特殊仕様。磁性代化誘導物質を 放出する2対のリニアシールがドム 技能しており、四方からガンダと みた、巨大なリニアシールドが追ぶ みた、巨大なリニアシールドが追い よいため、メインスラスター は大型化が与られている。それた く、飛行時かはあくまで影手等目 部のアタッチメントにシールドを 固定して運発する。

爆擊型

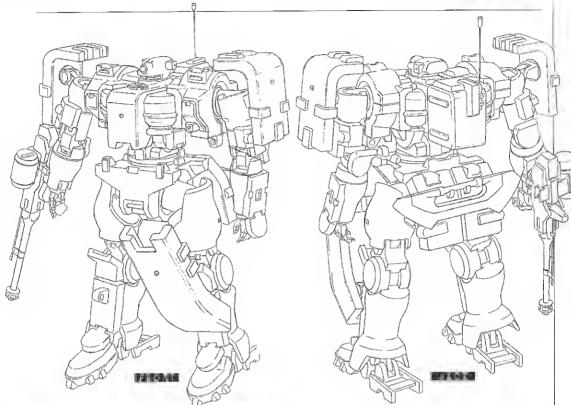
対象で乗り、 対象の整を重視した爆撃仕様のパ リエーション機。機体後部に爆撃 用のコンテナを搭載している。 両 謎にもコンテナ状のパーツを揺載 しているが、増加タンクが爆撃用 を増かは下駅。基本的に単行ス 一学に変形して戦闘を行うことは 者産されてないものと考えられ。 前部はマニピュレーターの代わり に内臓火器へ変更されている。 その内部は、右手が60mm機関機。左 手がロケットランチャーとなって いる。

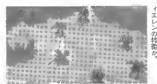




MSJ-06IIA ティエレン地」







派生型との綿密な連携がテ ▼個の性能というよりは

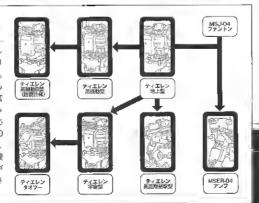


線

人革連の主力機。すでに開発より10年 が経過しているため、他国機に比べる と技術的に旧式な面も否定できない。 だが信頼性や整備性など運用面の優秀 性は特筆すべきものがある。120トン の本体重量は機動性を大きく阻害して いるが、その反面分厚いEカーボン装 甲の採用により、圧倒的な防御力を獲 得した。またベースの素性の良さもあり、 多数の派生型が開発されている。

人類革新連盟 モビルスーツ系統図

ファントンの後継機とし て、西暦2290年代より 主力となったティエレン。 開発母体としての性能も 高いため、人革連は豊富 なバリエーションを生み 出し、様々な戦況に対応 してきた。導入より10 年以上を経過したあとも、 タオツーのような後継機 を送りだせるのも機体が 持つポテンシャルの高さ を示している。



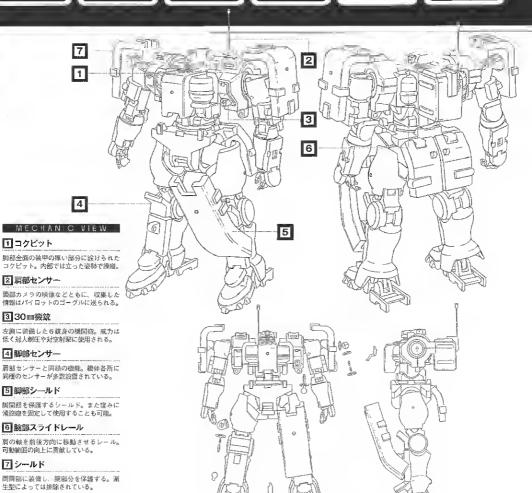
SPEC

●頭頂高/18.1m

●本体重量/ 121.3t

■武装/30mm機銃、200mm×25口径長滑腔砲、 カーボンブレード

TIEREN GROUND TYPE



ティエレン系の運用



▲宇宙では機動性の弱点も薄まり ダムを苦戦させるに至った。



▲機動力を意識した派生型は、他国の最新鋭機にも匹敵する性能だろう。



▲GN-Xが登場したことによって、 主力機の座からは降りつつある。

よりも、 ナンス性、バイロット育成にか 生産性の向上や効率的なメンテ 国の機体に比べ故障率は4割も ら見れば様々な恩恵を得られた かる期間など、総合的な視野 間も5分の1の短縮に成功した。 われている。例をあげると、 メリットを優先した結果だと言 また機体整備にかかる時 長期的運用で得られる

そうした背景もあって、人革

性は充分あっただろう。

人革連に与える影響他国の活発な開発が

07年の時点ですでに10年以上 使われていた。そしてティエ 暦2290年代でも主力として 化石燃料搭載型にも関わらず西 ルスーツであったファントンも、 考えられている。以前主力モビ 他国に比べると長期的スパンで 運用されている。 ンもその例に洩れず、 人革連のモビルス「ツ開発は 西暦23

めたことで、状況が変化する。

内情勢が若干の沈静化を見せ

上両対応機である点など、その 専用機であるものの、宇宙、地 ティエレンタオツーの開発では

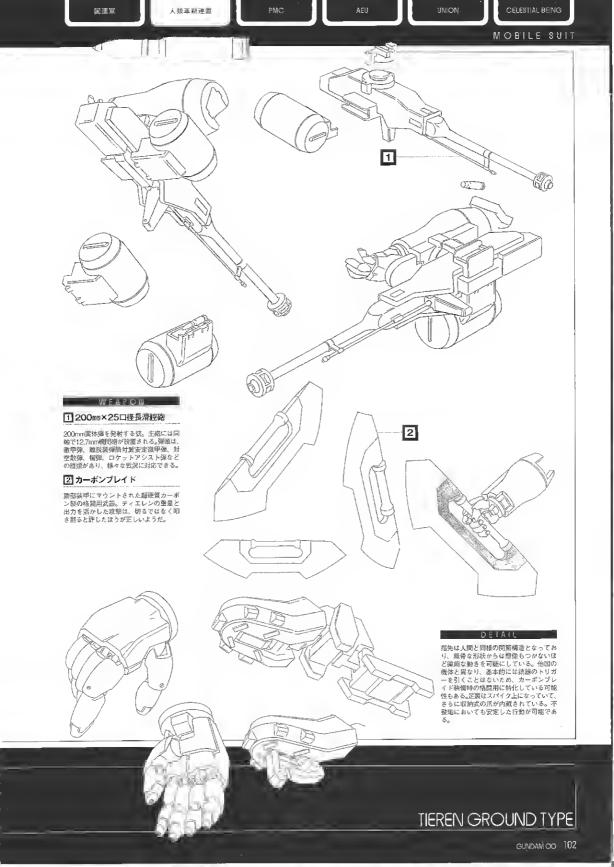
いわ

いだろうか。タオツーは超兵 具体的な例をあげるとすれば、

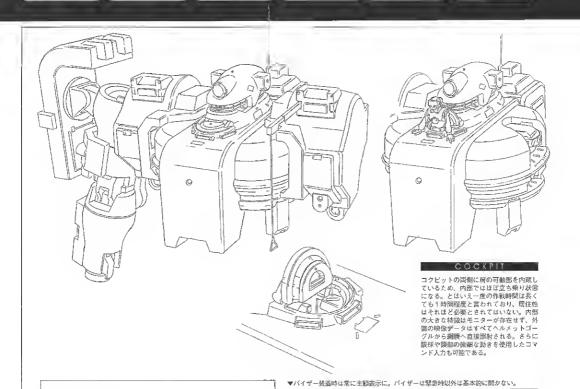
これは最新技術を閣雲に追う 動のバリエーション機の開発も ば次世代機開発ととらえること ボテンシャルはティエレンの れなくはない。 意識した戦略の一環とも考えら フラッグ、イナクトとの戦闘を ができるのかもしれない。 ルを一段階進めたもの。

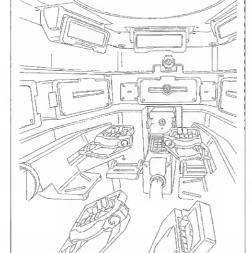
なら、 もし歴史がそのまま進んでいた 意識した新型機が登場した可能 スーツの特色は失われたが GN-Xの配備で国ごとのモビ 対フラッグ、 イナクトを

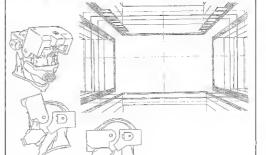
2307年頃になると、 高性能モビルスーツの出現や国 対応する傾向が強い。だが西暦 を利用したバリエーション機で 連は新規開発よりも既存の機体 他国の



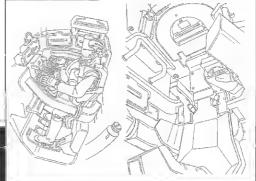








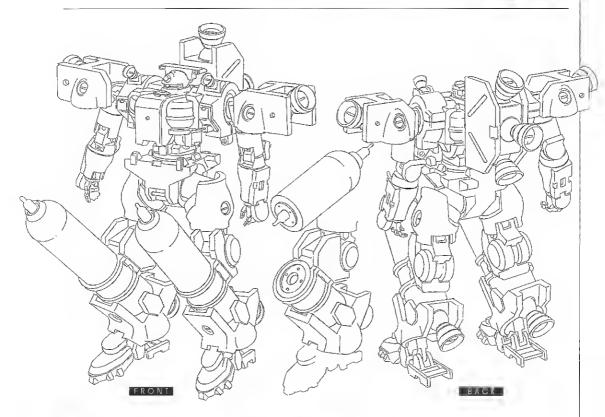




MOBILE SUIT

MSJ-06II-E ティエレン宇宙型











宇宙用小型モビルアーマー、シャオシ ョウに代わり、主力機として開発され たティエレンのバリエーション。全身 各所に宇宙用装備としてスラスターが 増設されたほか、脚部には推進剤用の 水を搭載したプロペラントを装備して いる。長距離移動に際しては、複数の タンクを連結して使用する場合もある。

ティエレン宇宙型の変更点

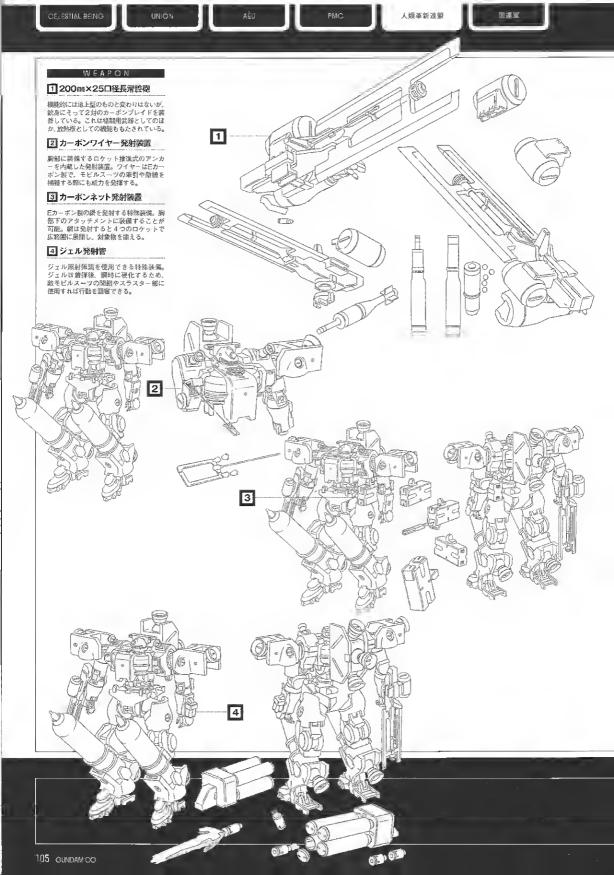
背面、肩、脚部などに9個のスラス ターを装備。脚部の膝から下は、プ ロベラントと大型スラスターを装備 した関係上、着陸脚程度の機能しか 持たされていないと言われている。



SPEC

- ●頭頂高/18.2m ●本体量量/127.5t ●武装/30mm機能、200mm×25口径長滑腔砲、 カーボンブレード

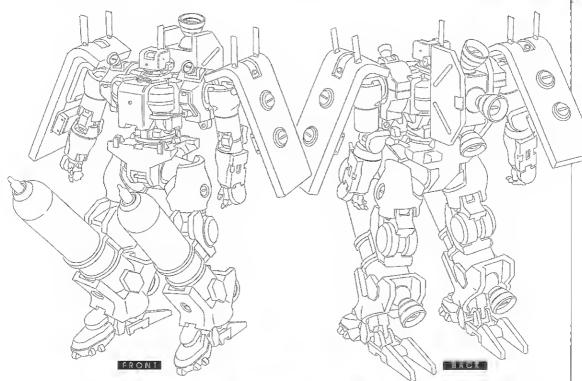
TIEREN SPACE TYPE

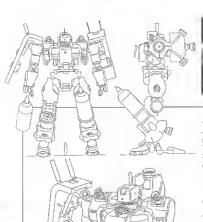


MOBILE SUIT

MSJ-06II-ET ティエレン宇宙指揮'









トロールするため、通信・
◀モビルスーツ部隊をコン

ティエレン宇宙指揮官型の変更点

頭部は通常型よりも、角型の形状に変化。中 央部にはセンサーが追加され、情報収集能力 の強化が図られている。肩部には通常型のス ラスターから可動式装甲に変更。装甲にはセ ンサーと通信用アンテナが追加され、防御力 の強化というよりも指揮官機としての機能向 上が図られている。



ティエレン宇宙型の指揮官仕様。通常 型と同様、全身に姿勢制御用のスラス ターを装備し、脚部にはシールドとし ても用いられる大型のプロペラントタ ンクを装備している。基本的な性能は 通常型と変わりないが、指揮官型らし く通信能力と情報処理能力の強化が図 られている。外観は肩部と頭部の形状 が異なる。セルゲイ・スミルノフ中佐 がガンダム捕獲作戦時などに使用した。

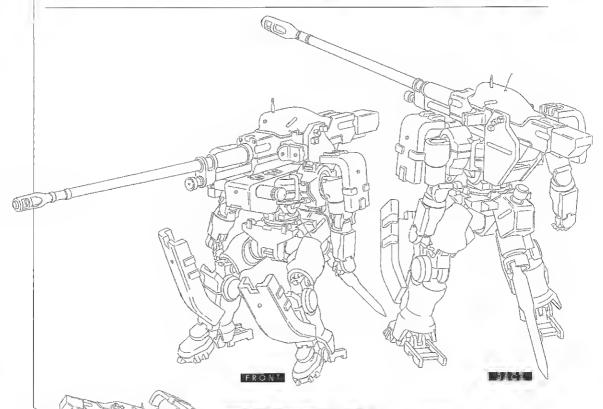
SPEC

- ●頭頂高: 18.3m ●本体重量: 131.6t ●パイロット: セルゲイ・スミルノフ
- ●武装:30mm機銃、200mm×25□径長滑腔砲、

TIEREN SPACE COMMANDER TYPE CELESTIAL BEING UNION AEU PMC 人類革新連盟 區

ティエレン長距離射撃型

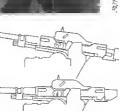












長距離砲撃能力に特化したティエレンの派生型。機体頭頂部に300mm×50口径長滑腔砲を装備したため、頭部にあったカメラアイは胸部の左右に装備されている。腰部には反動を抑えるためのアンカーが装備されていることも特徴。機動性は極めて低く、たえず護衛のモビルスーツを随伴する必要がある。そのため脚部のシールドは両脚に装備され、防御力が高められている。

SPEC

- ●頭頂高: 20.2 (砲撃姿勢頭頂高: 19.3m) m
- ●或明言: 20.2(紀字安芳頭明高): 15.310 ●本体重量: 142.0t
- ●武装:300mm×50口径長滑腔砲

TIEREN LONG-RANGE, CANNON TYPE

MSJ-06II-C ティエレン高機動型



飛行能力の獲得を目指して開発されたティエレンの派生型。腰部に装備した大型の展開式ウイングに12基、脚部に2基のジェットエンジンを搭載した。ホバリング時は時速300km/h、飛行時は時速900km/hを実現したと言われており、地上型からは想像もできない高い機動性を示した。

SPEC

- ●頒頁高: 18.3m ●本体重量: 101.1t
- ●パイロット:セルゲイ、スミルノフ
- ●武装:30mm機銃、200mm×25□径長滑腔砲、カーボン
- ブレード



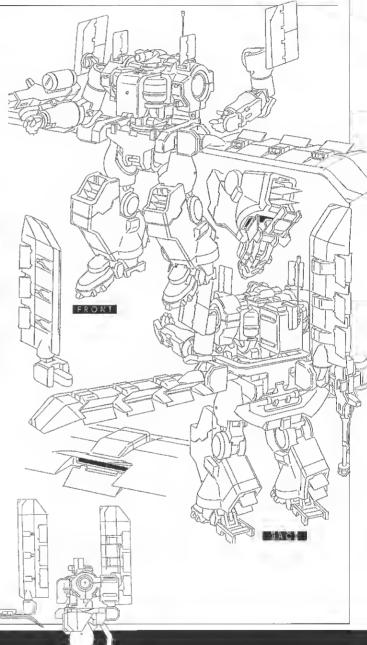
動型で出撃した。
▼エクシアの機動性に対抗

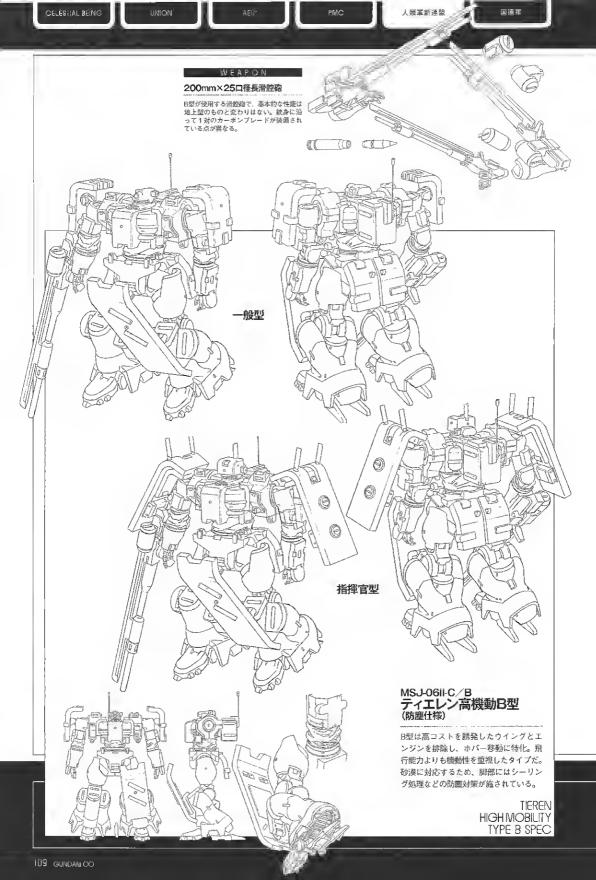


■している。
るなど、基本性の高さを示している。

展開式ウイングとジェットエンジン の装備のほか、肩部には左右2枚ず つ選端板のようなパーツが追加され ている。肩と脚のシールドは軽量化 のために排除されたと思われる。

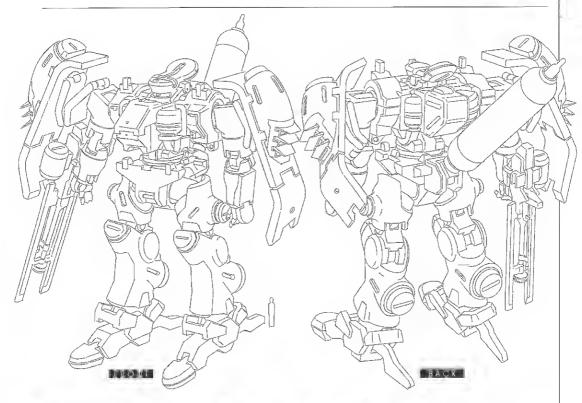
ティエレン高機動型の変更点





MSJ-06II-SP ティエレンタオツ・







宇宙と地上両対応 連機とは

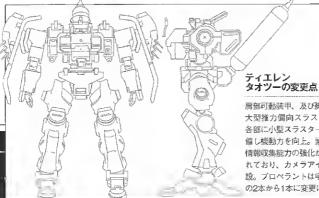


で接近戦へ持ち込む。
で接近戦へ持ち込む。

人革連の主力モビルスーツ、ティエレ ンを超兵用にカスタマイズした新型機。 人革連の機体としては珍しく、宇宙・ 地上両用の機体である。強化のポイン トは機動性の向上と情報処理能力の強 化。特に機動性の強化は目覚ましく、 状況によってはガンダムを凌駕するほ どのポテンシャルを示した。それゆえ パイロットは強化された超兵でないと、 機体性能に耐えることはできない。

SPEC

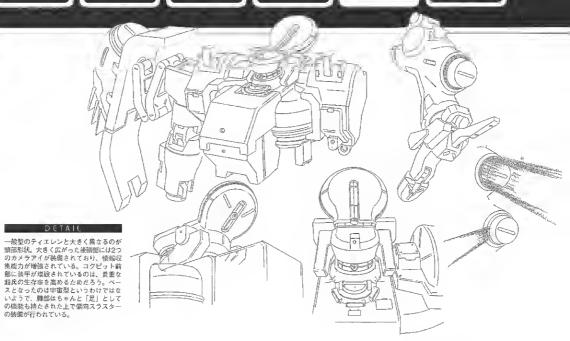
- ●頭原高:18.7m ●本体重量:112.1t ●/*/ロット:ソーマ・ピーリス ●武族:30mm機銃,200mm×25口径長滑腔砲、カーボンブレード

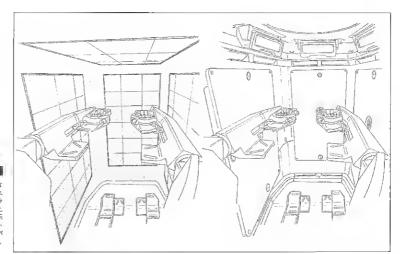


肩部可動装甲、及び脚部に 大型推力偏向スラスター、 各部に小型スラスターを装 備し機動力を向上。頭部は 情報収集能力の強化が行わ れており、カメラアイを増 設。プロベラントは宇宙型 の2本から1本に変更に。

TIEREN TAOZI

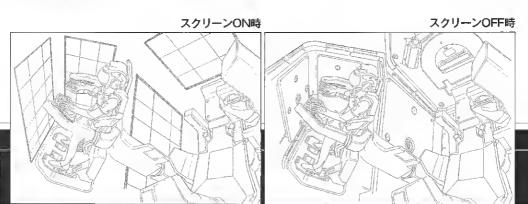






COCKPLL

通常のティエレンのコクピットとは異なり、ヘッドディスプレイ方式は採用され り、ヘッドディスプレイ方式は採用され ていない。それにかわり、頭筋のカメラ アイ、機体各部のセンサーから得られた 情報を迷信した、全角フォログラフ表示 を実現している。より正瞭にパイロット へ情報伝達が可能となったが、一般のパ イロットでは精験処理能力が違いつかず、 現在では認氏のみが対応可能である。





▲地域によっては、人革運のティエレンと戦闘を行うケースも存在する。



FRONT



人革連の主力モビルスーツだったファ ントンの輸出仕様。動力源には化石燃 料のエンジンが用いられている。西暦 2290年代までは主力機として使用され ていた。一方で最新鋭モビルスーツを 導入できない中東諸国やテロリストに とっては、いまだ現役の主力機となっ ている。



人革連の伝統なのか、コクピット内部は 人 英選の伝統なのか、コクピット内館は かなり窮屈で、居住性はあまり考慮され でいない。実際の作戦時間はそれほど表 くはなく、特に問題はないようだ。搭乗 時は極端な前傾姿勢で、モニターを覗き 込むようにコントロールする。コク特や の下部に減減を備えていることが特徴 ファントンの155mm×50口径長滑腔 砲から30mm機関砲へと変更されている。

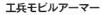
た機体たちである。

●頭頂高/17.3m ●本体重量/134.9t ●武装/30mm機號/200mm×25口径長滑腔砲



戦車型(有人) MAJ-V34 ジャーチョー

人革連の車両型モビルアーマー。無人AI 接鞭型も存在し、通常は有人型1,無人型2の3機編成の小隊で連用。ティエレン 1 機に1 小隊が随伴する。武装は85mm ×50口径長 滑腔砲、20mm機銃。



土木分野でモビルスーツの運用をサポ ートする車両。その目的は敵陣地の破 遠や道路の建設。自然の障害を切り開 くなど、様々な役割がもたされている。



戦車型(AI) MAJ-V34AI ジャーチョ

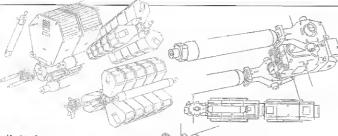
MAJ-03 シュウェザァイ

人革達がかつて生産していた旧型モビル アーマー。西暦2307年においてはラ、イ デンラなとテロ組織が戦力として用いる。 水中という特殊な環境では、時にガンダ ムを上回る性能も見せた。



HIMION

à£11



ラオホウ艦首部

ソレスタルビーイングの壊滅とガンダム の鹵獲を目的に結成された特務部隊・I頁 武。その母艦となったのがラオホゥだ。 ベースとなる輸送船に3つのコンテナブ ロックを搭載する構成を取る。

拘束パーツ

カンダムの鹵獲が計画に入っていたため、 あらかじめ拘束用のコンテナを搭載してい た。内部にはモビルス・ツの固定用アックの国産用ア・ 中電磁カッターを搭弧。また機体をスキャ ンする減症装置も接続しているなど、研究 型レベルの参雑を持ついるようだ。





小型探査装置

ソレスタルビーイングの母船の位置を 突き止めるため、宇宙空間に数十万単 位で放出した探査装置。先端部のパー ツは受信用の親機。後部のコンテナに は子機が搭載されている。



コンテナ内

モビルスーツ輸送用コンテナの内部。コンテナは5つの部屋にわかれ、先頭の1つは、サイルなどを搭短し、残り4つにテエレンをそれぞれ格納する。ラオホゥには3つのコンテナが装備でき、全12機のティエレンを搭載する。



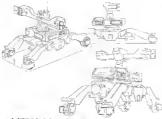
ブリッジ

ブリッジは4人乗り。人革連の船らし く内部はかなり狭くなっている。座る ようなシートはなく、あくまで体を固 定する器具があるのみ。



MSキャリア

ティエレンの輸送に用いられる車両。輸送時には機 体全体を覆うカバーがかぶせられる。側面にはフロートも装飾しており、渡河や海面浮上時に使用され るもので、通常は収納されている。



射擊管制用車両

射撃を行うモヒルスーツが、正確に目標を攻撃できるように対象の現在位置や距離、移動方向などを満定する任務につく。おもにティエレン長距離射撃型のサポートを行っているようだ。



モビルスーツは単体で運用されるわけで はない。 搬送や指揮系統、 サポートなど があって初めて本来の能力を発揮できる。 ここではティエレンの行動をサポートす る人革連の車両を紹介しよう。





O TO LOO



司令塔車両

作戦の移動司令室となる車両。中央に 備えているのはレーダーだろうか。す べての情報が集約され、作戦をコント ロールする任務にあたる。



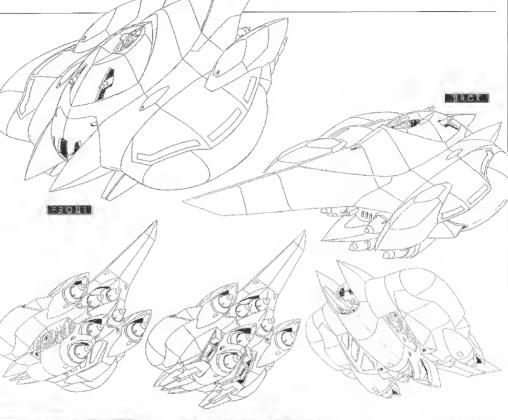
偵察任務や小規模の兵員輸送に用いられる車両。6輪で後部の荷台が広く取られており、シートも用意されている。動力は電気式。



人革達の大型車両は、ベース車両の上部に目的に応 じたオプションを搭載する方式。司令塔車両もMSキャリアもすべてトレーラーベースを使用している。



GNMA-XCVII アトーレ アルヴァト



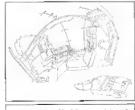


▼強固なGNフィー が要求される。



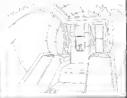
アレハンドロ・コーナーがガンダム掃 討作戦「FALLEN ANGELS」に投入し た巨大モビルアーマー。西暦2308年時 点で、もっとも攻撃力の高い機体と考 えられる。GNドライヴ[T]を7基搭 載するという恐るべき機体であり、そ の膨大なエネルギーを利用して、強力 なビーム砲の使用やGNフィールドを形 成できる。実はモビルスーツ、アルヴ ァアロン強化パーツであった。

コントロールアームはシ コントロールアー央とリントではなンソールとした。 一とはなンソールとした。 型になっている。 4 本リック がはなり手になっている。 4 本リック スイトブル な操作系。中央のターゲ ット用スクリーンは、コ ンソール上に投影される 形となっている。





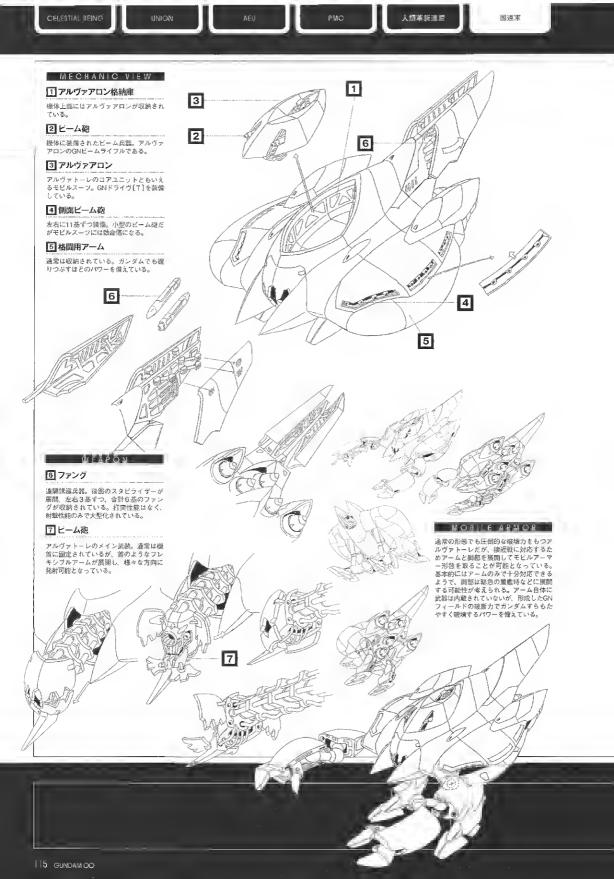




SPEC

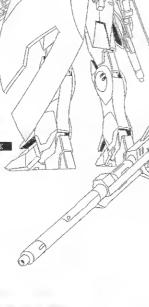
- ●全長/56.1m ●全幅/37.9m ●全高/42.6m
- ●パイロット/アレハンドロ、コーナー●武装/ビーム砲、大型ファング、側面ビーム砲

ALVATORE



GNMS-XCVII アルヴァアロン

MOBILE SUIT





イフルを装備した状態。 ▼アルヴァトーレからの離



中攻撃を受けて破壊される。 Nピームサーベルなどの集 Vエクシアに接近され、G

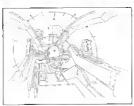


▼GNフィールドを形成し、ヴェクシアの攻撃を防ぐ。ヴェクシアの攻撃を防ぐ。ヴェクション・ロールドを形成し、

アルウァトーレに格納されているモビルスーツ。アルヴァトーレは強化パーツで、いわばこのアルヴァアロンが本体である。メイン武装はモビルアーマー時の砲塔にもなっていたGNビームライフルで、両手に装備。搭載されるGNドライヴ[T]は1基のみだが、ヴァーチェのようなGNフィールドを展開でき、その威力はトランザム状態のエクシアの攻撃をはじくほどであった。背面のウイングは大型のビーム砲にもなる。

FRONT

COCKPIT



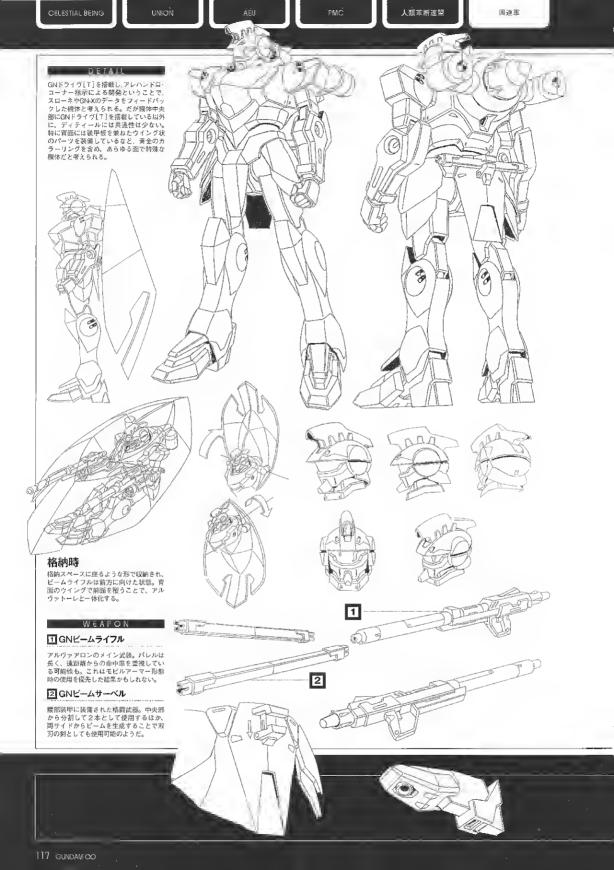


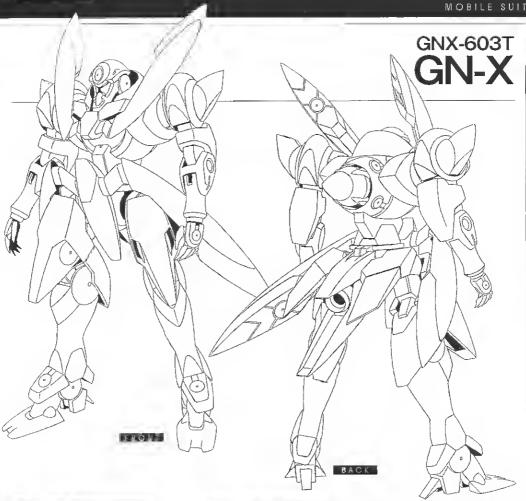


SPEC

- ●頭頂高/17.6m ●本体重量/69.2t
- ●パイロット/アレハンドロ、コーナー ●武装/ GNビームライフル、GNビームサーベル

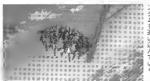
ALVAARON







に、ガンダムの装甲やGN ▼GNビームライフルゆえ ルドすらも買く

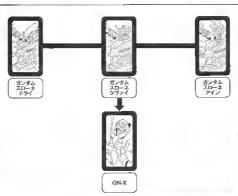


レダムを追い込んでいく。 し、フォーメーションでガ 数で勝るメリットを生か

アレハンドロ・コーナーが極秘裏に開 発した疑似太陽炉搭載型モビルスーツ。 30基のGNドライヴ[T]とともに、3 勢 力に提供された。武装はタイプの異な るGNビームライフル2種とGNビーム サーベル、GNバルカンを備える。ほぼ ガンダムと同等のスペックだが、汎用 型のため特定の戦況では一歩譲る。特 徴的なX形状のバーツはGN粒子発生装 置で、スラスターの役割を果たす。

GN-X 系統図

ただGNドライヴ[T]を搭 載しているという共通性 だけではなく、GN-Xは 実質的なガンダムスロー ネの後継機種となってい る。ガンダムスローネは 3機異なる方向性の機体 だが、GN-Xの汎用性を 高めたコンセプトを見る と、方向性を模索するた めに、あえて個々に特化 した性能をもたされてい たと考えるべきだろう。



SPEC

- ●頭頂高: 19.0m ●本体重量: 70.4t
- ●別付品・「SOOIII ●44向単単・70.94 ●パイロット:国連軍パイロット ●武装: GNビームライフル、GNロングライフル 、 GNビームサーベル、GNバルカン、GNシールド、

GN-X

UNION

MECHANIC VIEW

1 頭部

顧部にサブコントロールシステムが搭載 されている(このためGN-Xには2つの顔 があるように見える)。

②GNドライヴ[T]

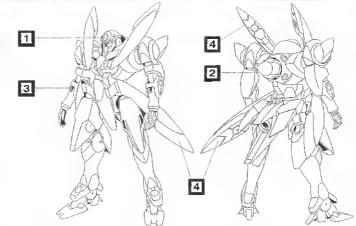
機体中央部にGNドライヴ[T]を備えている。

3 ハードポイント

GNシールドや各種武装を装備するために 設けられたハードポイント。

4 GN粒子発生装置

X形状の独特のGN粒子発生装置を装備。 スラスター的役割を持つと思われる。



B CYA

スローネをベースとしながらも、外観からGNXとの開産性を読み取ることは難しい。GNXは4つのカメラアイ、クローを内蔵したマニピュレーター、そしてGNXの特徴的なシルエットを描くX字状のGN 社手発でいるためだ。そうしたデザインの万向性は、コーナーが本機とスローネの関連性を疑われないために偽装した可能性も考えられるだろう。



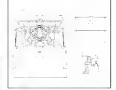


り マニピュレーター

頭部



GN-Xの運用



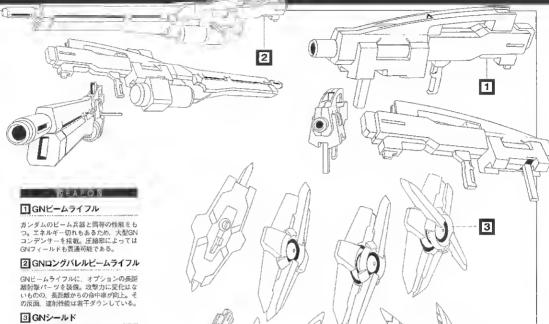
▲輸送時のGN-X。スローネのよう にGNドライヴ[T]にスターターが装 備されておらず、シンプルな形状た。 一方、デメリットとしては汎用性を突き詰めたゆえに、局地はガンダムの性能に及ばない点はガンダムの性能に及ばない点だろう。こうした点を考慮してか、だろう。こうした点を考慮してか、だろう。こうした点を考慮していた。 日本 で 京歌して 臨んでいる。 G N・X 部隊では、 陣形と 連携 る G N・X 部隊では、 陣形と 連携 る G N・X 部隊では、 両地に 及ばない点 地 で アメリット を 補う 見事な 運用 の デメリット を 補う 見事な 運用 と言えるざろう。

向性の一環ではないだろうか。

厳選された武装も、そうした方 を育成する期間がないため、 フーネ を育成する期間がないため、 であった。GN・Xは極力個性を排除った。GN・Xは極力個性を排除った。GN・文は極力個性を排除った。 大、性能の平均化が図られている。 し、性能の平均化が図られている。 であせ、個々の弱点を補う機体であせ、個々の弱点を補う機体であせ、ガンダムマイスターのような特化したパイロスターのような特化したパイロスターのような特化しただめだと考えられる。

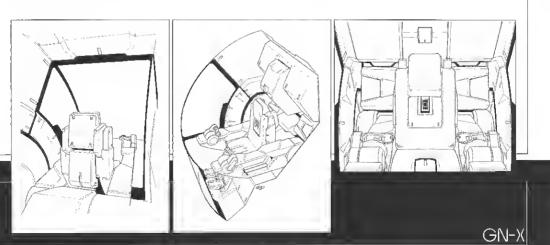
ガンダムに対抗する汎用性をつきつめ





Eカーボンの表面にGN粒子のフィールド を形成した盾。中央には、ユニオン、 AEUのパイロットの搭乗を考慮し、ディ フェンスロッドを装備している。

コクピットは腰の前パーツに設置される。 ベースとなったスローネと比較すると、 ペースとなったスローネと比較すると、 なり簡単にはれた印象を受ける。機体 の先進性に比べるとシンプルだが、3勢 カのパイロットが指頭することを考慮し た仕様であるのかもしれない。ティエレ ンほどではないが内部はそれほど広くは なく、モニターとシートのクリアランス はほとんどない。



装備状態